

## 第IV章. 総 括

### 第1節 遺物の特徴

#### (1) かわらけ

##### ①分類

かわらけは遺跡内からもっとも多く出土する遺物で、これまでの研究で年代的な指標としても用いられてきた。多くの検討がなされてきており、簡単な研究史は第II章で記した。ここでは柳之御所遺跡堀内部の出土資料から、遺構変遷を把握する上で必要な土器の変遷を確認しておきたい。なお、当時の平泉の土器群については異なる名称を付す研究もあるが、本報告書ではこれまでの平泉関係の報告書と同様に12世紀代の素焼きの土器群を一括して「かわらけ」と呼称する。なお、術語としてどのような名称を用いるかといった点や、当時の土器名称については当該期を対象にしても多くの研究史がある（中井2010など）。

かわらけは製作時の成形及び整形の差異から、ロクロを使用するものとロクロを使用せず手づくねによるものがある。ここまでの文中でも記したように、それぞれを「ロクロかわらけ」、「手づくねかわらけ」と記す。器形的な差異ではロクロと手づくねのかわらけそれぞれに大小の器形があり、ここではこれまでの研究と同様に「大皿」と「小皿」に分けて記載する。そのうち、特にロクロかわらけに対応するが、器高の高い椀状の器形などは椀型、器高の低い皿状の器形などは皿形などと記す場合がある。

既往の研究成果をふまえ、1) ロクロと手づくねの種別による組成とその比率、2) ロクロかわらけ大皿の口径・底径・器高などの法量値、3) 手づくねかわらけ大皿の口径・器高などの法量値、4) 器種構成、5) それぞれの種別の器形的特徴 などの属性から下記のとおり分類する。

#### I ロクロかわらけのみを基本に構成される土器群

a **【土器群の特徴】** ロクロかわらけ大皿は底径が小さく、器高が5 cm程の高い器形である。口径と底径の差はやや小さいが、底部から湾曲して立ち上がる。52SE10出土例では、口径11.8~14.4cm程で平均13.4cm程、底径4.8~6.6cm程で平均5.6cm程、器高4.4~5.3cm程で平均5.0cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径と底径の差が小さい。いずれも赤みがかかった色調で、胎土に石粒などの夾雑物を多く含む。器種構成に柱状高台を含むほか、大型の柱状高台が含まれる。ロクロかわらけ大皿に比して小皿の比率が高い。大型の柱状高台は52SE10出土土器群のみで確認されている器種のため、当時の器種構成において普遍的な器種として把握可能かは今後の資料の追加や他事例もふまえた検討が必要であろう。

**【遺構例】** 52SE10

b **【土器群の特徴】** ロクロかわらけ大皿は底径が小さく器高が高い器形である。また器形的にこの段階に想定できるものでも埋土中に手づくね細片を少量含む土器群がある。口径と底径の差は、I aとした土器群と比べてやや小さい。器高もやや低い器形が含まれる。底部からの立ち上がりは直線的なもの、湾曲して立ち上がる器形の両者がある。55SE1出土例では口径12.4~14.2cm

程で平均13.5cm程、底径4.8～6.0cm程で平均5.7cm程、器高4.1～5.2cm程で平均4.8cm程である。ロクロかわらけ小皿は底径が大きい器形も散見されるが、多くは底径が小さく口縁部への立ち上がりが外反し、器厚が薄い器形が多い。底径が小さく外反の度合いが強い器形は特徴的である。ロクロかわらけ大皿に比して小皿の比率が高い。器種構成に柱状高台を含む。

ロクロかわらけが大部分を占め手づくねかわらけを少量含むのみで、この群として捉えている、52SE7出土土器群では器高が低い資料を含む。いくつかの事例では先行研究においてもこの段階に想定されている土器群に極めて少量の手づくねかわらけ片が含まれる。52SE7出土例では口径12.3～15.4cm程で平均14.1cm程、底径5.0～7.8cm程で平均6.5cm程、器高2.4～4.6cm程で平均3.7cm程である。これはより後出と捉えた土器群の器形と類似する。手づくねかわらけの導入による影響とみた場合には、時期差になる可能性もあり、細分の想定可能性がある。52SE7出土土器群では小皿に対して大皿の比率が高くなることも、土器群の変化を示す特徴と捉えうる。

【遺構例】 55SE1、52SE7、28SE12、31SE2、31SE4

## II ロクロかわらけと手づくねかわらけの両方で構成される土器群

a 【土器群の特徴】 ロクロかわらけ大皿は器高が低い器形が多くなる。口径と器高の比率も大きくなり皿形の器形を呈するものが多い。52SE9出土例では口径14.0～15.9cm程で平均15.1cm程、底径6.7～8.4cm程で平均7.2cm程、器高3.5～4.4cm程で平均3.9cm程である。I群とした土器群に類似する器高が高い器形も含むものの、組成の中では主体を占めるものではない。ロクロかわらけ小皿は口径に比して底径が大きい資料が増える。器形は皿型を呈する。手づくねかわらけ大皿は出土量が少ないものの、口径が大きく器高もやや高い大型の器形が多い。手づくねかわらけ小皿は大型の資料を含む。器種構成に小形の柱状高台を含む。なお、口径が大きく、ナデ調整が2段に入るなどの精緻な作りの手づくねかわらけを導入期の資料と見なした場合（先行研究で志羅山遺跡35次調査例が挙げられることが多い）、同様の特徴をもつ資料が本遺跡内でも散見される。手づくねかわらけの本格的な導入期は出土量自体がロクロが多く、手づくねがまだ比較的少ないこともあり一括事例は多くないものの、個体の資料ではIIaとした群及びIIbとした群内に含まれる。ここでは一括事例として68SK35を挙げておく。68SK35出土例では口径13.9～16.2cm程で平均15.1cm程、器高2.7～3.7cm程で平均3.1cm程である。

【遺構例】 52SE9、68SK35、70SE1、28SE9、28SE5、31SE5

b 【土器群の特徴】 ロクロかわらけ大皿は器高が低い器形が多くなる。口径と器高の比率も大きくなり皿形の器形を呈するものが多い。50SE3出土例では口径13.8～15.2cm程で平均14.3cm程、底径6.2～9.0cm程で平均6.9cm程、器高2.4～3.8cm程で平均3.3cm程である。I群とした土器群と類似する器高が高い器形も散見されるものの、組成の中ではきわめて少ない。ロクロかわらけ小皿は口径に比して底径が大きい資料が増える。器形は皿型を呈する。手づくねかわらけ大皿は、口径がIIaとした土器群より小さくなるものの、大型の器形が多い。50SE3出土例では、口径11.7～15.5cm程で平均14.3cm程、器高2.6～3.4cm程で平均3.0cm程である。手づくねかわらけ小皿は口径が小さくなる。器種構成に内折れと呼称されるコースター型の器種を含む。

なお、IIaとIIbの区分は、着目する器種によっても差異が生じる事例がある。例えば、28SE16出土土器では手づくねかわらけは口径が大きく、より古相と捉えられる特徴を示す資料が多いのに対し、ロクロかわらけはこの段階の資料との類似性が強い。微細な遺構の時期差と捉

えうる可能性があるが、個別の土器変化としては識別が難しい。

【遺構例】 50SE3、52SE1、21SE1、21SE2、28SE2、28SE16

### Ⅲ ロクロかわらけと手づくねかわらけの両者で構成され、組成比において手づくねかわらけが主体となる土器群

a 【土器群の特徴】 ロクロかわらけ大皿は口径が大きく器高の低い皿形の器形を呈する。55SX2出土例では口径12.0～16.0cm程で平均13.8cm程、底径5.2～9.0cm程で平均7.1cm程、器高2.5～4.4cm程で平均3.4cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。手づくねかわらけ大皿はⅡ群とした土器群より口径が小さい器形が多くなる。55SX2出土例では、口径11.6～16.0cm程で平均13.8cm程、器高2.1～4.3cm程で平均3.1cm程である。手づくねかわらけ小皿もⅡ群と比して口径が縮小する。

【遺構例】 55SX2、55SK44、70SE3、21SE3、28SE4、28SE15

b 【土器群の特徴】 ロクロかわらけと手づくねかわらけのうち、手づくねかわらけの比率がより高い。ロクロかわらけ大皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。52SE8出土例では、口径13.2～14.2cm程で平均13.7cm、底径6.2～6.8cm程で平均6.6cm程、器高2.9～3.3cm程で平均3.1cm程である。ロクロかわらけ小皿は口径が大きく器高の低い器形を呈する。手づくねかわらけ大皿は口径が小さい器形が多くなる。52SE8出土例では口径11.8～15.2cm程で平均13.4cm程、器高1.8～3.8cm程で平均2.7cm程である。口径13cm以下の小型の器形が多数を占める。手づくねかわらけ小皿は口径が縮小する。手づくねかわらけが多くを占める。77SK1出土例では器種の構成比からはこの段階と想定できるが、Ⅲbとした土器群との器形的な変化は小さい。

なお、52SE8におけるロクロかわらけの寡少さは、他の資料と比しても大きな偏差を示し、普遍的な事例として扱うことが妥当か他事例も含めた吟味が必要である。ただし、後述する52SE8及びこの土器群の年代的な位置づけは、これまでもなされてきた検討内容から十分な妥当性をもつと判断している。また、52SE8出土土器群にはロクロかわらけに通常用いられる胎土で作成された手づくねかわらけを含む。

【遺構例】 52SE8、28SE3、28SE11、28SE17、31SE6、31SE7

## ②変遷と位置づけ

### ○相対的な変遷

上記で取り上げた遺構例は、資料の一括性がある程度担保される可能性が高い、井戸跡などの遺構からの一部自然堆積を含むが人為層などを中心にした出土遺物である。

遺構の新旧関係から遺物の変遷を検討した場合、井戸跡などは直接的な重複関係をもつ遺構は少ない。井戸同士での重複関係は確認されておらず、井戸跡とその他の遺構では井戸跡と掘立柱建物や土坑での重複関係が確認されているものの、一括資料の変遷を把握しうる遺物変遷の検討に有用な情報は少ない。なお、掘立柱建物の重複関係は後述する。

これまでの研究史をふまえると、細部には異見が生じているものの、形態的な変化では多くの研究で一致する部分が多い。ロクロかわらけ大皿は経時的に器高が縮小する。このほか、口径と底径の比率などが時系列的な変化に一定程度対応するものの、口径や底径のそれぞれの数値は径時的な変化を捉えがたい部分も生じる。器形的には、器高が低くなり、口径や底径も広い皿形の器形へと変遷が把

握できる。手づくねかわらけ大皿は口径が縮小することや、器高も低くなることなどが指摘されてきた。なお、体部の調整などではいわゆる2段ナデとされるものから1段ナデが主になる。口縁部の面取り等も含め、手数の多い精緻な作りから手数が少ない作りへと変化が捉えられるものの、漸移的な変化を辿るもので各土器群に多様な種別を含む場合が多い。定量的な検討が不十分なため、その比率等を時系列的に提示しえていないが傾向の把握としては妥当であろう。

これらを勘案し、上記の分類について概ね以下の変遷を想定する（表64・図291）。

I (I a → I b) → II (II a (≒/→) II b) → III (III a (≒/→) III b)

各群のうちa・bとした細分は遺構単位の変化としては把握可能と考えるが、個別の土器について一個体の土器など単体での時期把握や評価は各群内での偏差もあり難しい部分が多い。したがって、遺構での出土状況では着目する属性によっても細部の年代的な位置づけは変化し得る。大きく分けた3段階の時期区分は大方の了解が得られていると思われる。

ロクロかわらけと手づくねかわらけの器形変遷は、それぞれが漸移的に変化しており、各遺構ごとで抽出した土器群においては、近似した複数の時期の資料を含む。またロクロかわらけの変化と手づくねかわらけの変化は細かい時間幅においては、同一の時期や時間幅で対応するものでもない。遺構の時期を想定する場合には、それぞれの事例において個別の土器を検討した上で総体として把握する必要がある。なお、研究史上の相違点はこの部分に起因する内容も多いように思われる。

### ○年代的な位置づけ

遺跡内から出土した資料での科学分析による年代測定は年輪年代と炭素年代測定が行われてきた。このうち土器類が出土する遺構出土で土器類の年代とも関連する資料が多い年輪年代の分析結果は表65のとおりである。このうち、土器群や遺構について注目できる事例を挙げておく。

- 1) 52SE8では刃材をもつ資料で1186年の分析結果が得られている。土器群の相対的な変遷でも後出の特徴をもつことや、被熱した資料が多いとの所見とも整合的である。
- 2) 31SE2では刃材をもつ資料で1136年の分析結果が得られている。ロクロかわらけを主体に構成される土器群で、相対的に古相の様相を示す。
- 3) 28SE16では刃材をもつ資料で、1138年と1158年の分析結果が得られている。

また、炭素年代測定の結果は表66のとおりである。ただし分析事例は堀などの遺構が多く、また細かい実年代の検討には分析の性質上適さない。このほか、柳之御所遺跡に係る実年代を想定しうる事象を下記のとおり挙げておく。

- 1) 11世紀末から12世紀初頭に使用開始される。嘉保年間（1094～96）もしくは康和年間（1099～1104）に藤原清衡が江刺郡豊田館から平泉に移り宿館をなすことが記される（『吾妻鏡』文治5年9月23日条）。ただし、「為宿館」との記載が、宿館造営のどの段階を指すのかは確定できない。つまり、造営開始や造営終了、主要施設の整備などのいずれの時期を指すのか、またそもそも施設造営を指すのかは特定できない。また、嘉保年間と康和年間のいずれを採用するかは、周辺の歴史状況への理解などによっても左右される。康和年間がより安定した状況と把握され無理が少ないものの、1090年前後から（『後二条師通記』寛治5年11月15日条など）藤原清衡が一定の動きを見せる始めることも注目しておきたい。ここではやや幅を広く、11世紀末から12世紀初頭とのみ捉える。
- 2) 柳之御所遺跡の使用は文治5（1189）年頃に一端停止する。平泉館の焼亡など（文治5年8月





21日条) の後にも、人為的な営為があったことは想定できるものの、基本的な使用はこの時期で概ね停止される。鎌倉方を主とした平泉周辺での活動は文献に記されるところだが、本遺跡においては、遺物等の状況からそれまでと同様の利用は為されていないと判断でき、ここでは遺跡の機能の停止年代を文治5 (1189) 年頃と捉えておく。

3) 手づくねかわらけの導入は、平泉における儀礼の様相などにも重要な変化である。手づくねかわらけの本格的な導入の時期には複数の説が提示されているが、12世紀中葉に置くことでは一致している。年紀資料などがないため、特定する材料はないが、ここでは1140年頃から12世紀中葉とやや幅をもって捉えておく。

なお、手づくねかわらけの導入には、技術流入の具体的なあり方や一過性の技術導入であるかなど、課題を残していると思われる。

これらの分析結果や研究史の成果を参照し、実年代を想定した (表64)。各年代を想定する材料は少なく、いずれの時期を前後に幅をもつ可能性がある。

1100~1125 ㊦1  
1126~1150 ㊦2  
1151~1175 ㊦3  
1176~1200 ㊦4

表64 遺構ごとの時期区分

1140  
1150  
1160

時期区分と想定される年代		遺構例		(整備検討の土器分類)
I 段階 12世紀前半 (1100前後~1140年代) 40年 ㊦1 ㊦2 ㊦4	a	52SE10		(1群)
	b	55SE1 52SE7	28SE7 28SE12 31SE2 (1136) 31SE4	
II 段階 12世紀中葉 (1140年代~1160年代) ㊦3 ㊦4 ㊦5 1169	a	68SK35 52SE9 70SE1	28SE5 28SE9 31SE5	(2群)
	b	50SE3 70SE3 52SE1	21SE1 21SE2 28SE2 (1130・1141) 28SE16 (1138・1158)	(3群)
III 段階 12世紀後半 (第3四半期後半1170年前後~1189年頃) ㊦3 ㊦4 ㊦5 ㊦6 ㊦7	a	55SX2 55SK44	21SE3 28SE4 (1123) 28SE15	(4群)
	b	37SE2 52SE8 (1186)	28SE3 (1175) 28SE11 (1180) 28SE17 31SE6 (1164) 21SE4 31SE3 31SE7	(5群)

※整備検討の土器分類 (柳之御所遺跡調査事務所2007・2008) との対応は個別の遺構での対応を意図したものではなく、厳密な対応ではないが概ね対応するとみている。

表65 遺跡内の年輪年代測定結果一覧

資料	出土遺構	樹種	年輪数	年輪年代	t値	辺材 (cm)
	21SD1	スギ	93	990	5.4	-
埋-652	21SD1	スギ	97	1173	7.6	4.5
埋-745	21SD1	スギ	119	1169	4.9	3.5
折敷	21SE1	スギ	87	945	5.4	-
埋-2080	28SE2	スギ	95	1051	6.2	-
埋-2081	28SE2	スギ	99 (+1層)	1141	5.6	5.2
埋-2084	28SE2	スギ	260	1130	6.7	2.7
埋-2131	28SE3	スギ	174	1175	6.8	5.0
埋-2363	28SE4	スギ	66	1123	6.1	3.2

資料	出土遺構	樹種	年輪数	年輪年代	t値	辺材 (cm)
埋-2509	28SE11	ヒバ	173 (+1層)	1180	5.8	不明
折敷	28SE11	スギ	142	1050	4.5	4.5
埋-2511	28SE11	スギ	91	1119	10.3	1.9
	28SE11	スギ	100	1104	8.2	-
埋-2774	28SE16	スギ	262 (+1層)	1158	7.3	4.0
埋-2772	28SE16	スギ	209 (+1層)	1138	8.2	2.6
埋-2822	31SE1	スギ	94	1105	5.9	4.0
埋-2867	31SE2	ヒバ	323	1136	7.2	1.1
埋-2996	31SE6	スギ	207	1164	8.4	3.2
52-5018	52SE8	スギ	183	-	-	3.2 (完存)
52-5010	52SE8	スギ	168	1186	8.0	3.3 (完存)
52-5044	52SE8	スギ	83	-	-	5.5 (完存)
52-4022	56SD39	ヒバ	120	-	-	-
52-4109	56SD39	スギ	157	1084	6.6	-
28RW188		スギ	167	1159	8.2	-
28RW216		スギ	147	1155	11.4	-
31RW348		スギ	94	1097	5.1	-

※光谷拓実2006「柳之御所遺跡出土木製品の年輪年代測定結果」『柳之御所遺跡-第59次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第121集 より作成

表66 柳之御所遺跡堀内部地区出土資料の炭素年代測定

	資料	出土遺構	層位	14C年代	資料の種類	$\delta^{13}C$ (AMS) (‰)	文献
1	1 (200242)	28SB4 柱穴	炭層	950±40	炭化物	-25.0	岩文121集
2	2 (200243)	植物遺体		1140±40	木片	-22.5	岩文121集
3	1 (241429)	Cトレンチ	7層	880±40	炭化物	-25.0	岩文127集
4	2 (241430)	Cトレンチ	4層	1070±40	炭化物	-25.7	岩文127集
5	3 (2414131)	68SK35		1080±40	炭化物	-26.2	岩文127集
6	1 YG69-C1 木材	21SD1 (Aトレンチ)	9層	1030±40	木製品付着	-25.5	岩文130集
7	2 YG69-C2 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	910±40	橋部材No.1付着	-23.8	岩文130集
8	3 YG69-C3 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	920±40	橋部材No.2付着	-24.6	岩文130集
9	4 YG69-C4 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	1080±40	橋部材No.4付着	-26.5	岩文130集
10	5 YG69-C5 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	950±40	橋部材No.7付着	-27.2	岩文130集
11	6 YG69-C6 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	990±40	橋部材No.8付着	-26.3	岩文130集
12	7 YG69-C7 木材	21SD2 (Aトレンチ)	9層	940±40	橋部材No.19付着	-25.7	岩文130集
13	774	21SD2		910±30	炭化材 (カエデ属)	-29.57±0.65	岩文133集
14	761	72SD1 (Cトレンチ)	29層直下	930±20	炭化物	-28.01±0.55	岩文135集
15	797	72SD2 (Aトレンチ)	最下層	1090±20	炭化物	-27.52±0.50	岩文135集
16	798	P47 (柱穴)	底面付近	960±20	炭化物	-24.74±0.58	岩文135集
17		SX1 B3区東トレンチ	26層	900±20	炭化材 (コナラ属 コナラ節)	-23.48±0.47	岩文137集
18	1	72SD1 (41SD2-B)	1a層	910±20	炭化物	-20.98±0.43	岩文140集
19	2	72SD1 (41SD2-B)	2a-2層	1070±20	炭化物	-19.78±0.42	岩文140集
20	3	72SD1 (41SD2-B)	4a-1層	880±20	炭化物	-21.54±0.45	岩文140集
21	4	72SD1 (41SD2-B)	4a-2層	910±20	炭化物	-21.51±0.30	岩文140集
22	5	72SD1 (41SD2-B)	4a-2層	930±20	炭化物	-21.84±0.37	岩文140集
23	6	72SD1 (41SD2-B)	1層	1020±20	炭化物	-21.28±0.30	岩文140集
24	7	72SD1 (41SD2-B)	4a層	1070±20	炭化物	-29.30±0.32	岩文140集
25	8	72SD1 (41SD2-B)	4m層	920±20	炭化物	-21.91±0.34	岩文140集
26	9	72SD1 (41SD2-B)	16層	920±20	炭化物	-23.33±0.37	岩文140集
27	10	72SD1 (41SD2-B)	18層	1080±20	炭化物	-19.47±0.35	岩文140集
28	11	72SD1 (41SD2-B)	19層	850±20	炭化物	-21.64±0.28	岩文140集
29	12	72SD1 (41SD2-B)	23層	930±20	炭化物	-23.99±0.34	岩文140集
30	13	72SD1 (41SD2-B)	27層	1140±20	炭化物	-24.03±0.30	岩文140集
31	14	72SD1 (41SD2-B)	29層	1030±20	炭化物	-23.32±0.29	岩文140集
32	15	72SD1 (41SD2-B)	39層	1010±20	炭化物	-27.11±0.39	岩文140集
33		72SD1 (82-105)	C1	930±30	炭化材	-25.16±0.56	岩文147集
34		72SD1 (82-105)	C3	970±20	炭化材	-24.97±0.69	岩文147集
35		72SD1 (82-105・106)	C5	1000±20	炭化材	-23.66±0.35	岩文147集
36		72SD1 (82-105・106)	C6	910±20	炭化材	-21.80±0.54	岩文147集



	資料	出土遺構	層位	14C年代	資料の種類	$\delta^{13}\text{C}$ (AMS) (‰)	文献
37		72SD1 (82-105・106)	C8	970±20	炭化材	-25.69±0.37	岩文147集
38		72SD2	11層	950±20	炭化材	-24.48±0.49	岩文147集
39		21SD2	T5-c6	960±20	炭化物	-25.35±0.27	岩文153集
40		21SD2	T5-c5	1260±20	炭化物	-26.93±0.27	岩文153集
41		21SD1	T2-c3	950±20	炭化物	-26.96±0.27	岩文153集
42		21SD1	T2-c4	970±20	炭化物	-25.97±0.28	岩文153集

※測定はいずれも AMS 法による。測定は1～5は古環境研究所、6～12はベータアナリティック、13～17・33～38はパリノサーヴェイ、18～32・39～42は加速器分析研究所による。

なお、炭素年代測定については、特に暦年較正年代や測定の詳細は既往の概報に掲載されている。また、国立歴史民俗博物館のデータベースにも掲載されている。

## (2) 文字資料

### ①資料の概要

堀内部出土の文字資料は表67のとおりである。なお、出土遺構の概要は第Ⅲ章で記している。

#### 記載資料の種類

- 1) 木製品では、i) 折敷片、ii) 木片（折敷片を多く含む）、iii) 木簡（付札状、題籤軸など）、iv) 将棋駒、v) 笹塔婆・呪符、vi) 削屑などがある。折敷片は折敷の片面もしくは表裏両面に記され、棧を取り外した上で記載されたものなどがある。木片は用途不明の板材などに記され、ちゅう木なども含む。板材に記したのものもあるが、再加工された墨書折敷がを多く含む。木簡は題籤軸や付札である。用途がある程度判明する木簡類はきわめて少ない。笹塔婆、呪符は記載内容と形態からそれと判明するものである。削屑は墨書折敷などの板材等の削屑である。
- 2) 土器では、i) かわらけ、ii) 白磁などがある。かわらけは内外面の片面もしくは両面に文字が記載される。白磁は白磁壺類の底面に墨書が記されるものがある。
- 3) その他の資料として印章（銅印）がある。

記載方法 記載方法は、1) 墨書、2) 刻書、3) 針書がある。墨書が多く、ヘラ等で記されたとみられる刻書や細い針などで記された針書は少ない。

文字種別 記載には1) ひらがな、2) カタカナ、3) 漢字、4) 戯画がある。ひらがなやカタカナが多いが積読できる資料は少ない。また、漢字とカタカナなどが混じる資料も含む。

表67 柳之御所遺跡堀内部地区出土の文字資料

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要		
			文字種別		内容
埋-7	21SD1	かわらけ	墨書	カタカナ	「□□□□□」
埋-11	21SD1	かわらけ	墨書	-	-
埋-12	21SD1	かわらけ	刻書	漢字	「大カ」
埋-110	21SD1	かわらけ	墨書	-	-
埋-182	21SD1	かわらけ	墨書	-	-
埋-499	21SD1	白磁壺	墨書	漢字	底部外面
埋-690	21SD1	笹塔婆	針書	漢字	「南无□□□」
埋-742	21SD1	板	墨書	ひらがな	
埋-743	21SD1	板	墨書	漢字	
埋-1211	41SD2	笹塔婆	墨書	漢字	「南无大般若」
埋-1533	23SG1	将棋駒	墨書	漢字・ひらがな	「歩兵」「と」
埋-1534	23SG1	将棋駒	墨書	-	
埋-1659	21SE2	板	墨書	漢字	「如」
埋-1660	21SE2	板	墨書	ひらがな	「□お」

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要		
			文字種別		内容
埋-1661	21SE2	板	墨書	—	
埋-1662	21SE2	板	墨書	漢字	「如法」 □□
埋-1823	21SE3	かわらけ	墨書	漢字	
埋-1880	21SE3	かわらけ	墨書	—	—
埋-1881	21SE3	かわらけ	墨書	—	—
埋-1882	21SE3	かわらけ	墨書	—	—
埋-1885	21SE3	かわらけ	墨書	漢字	「視」
埋-1886	21SE3	かわらけ	墨書	—	
埋-1887	21SE3	かわらけ	墨書	—	
埋-1888	21SE3	かわらけ	刻書	—	
埋-1987	21SE4	白磁壺	墨書	花押	底部外面
埋-2060	28SE2	かわらけ	墨書	—	
埋-2061	28SE2	かわらけ	墨書	—	
埋-2074	28SE2	折敷	墨書	ひらがな	
埋-2075	28SE2	板	墨書	—	
埋-2076	28SE2	板	墨書	—	
埋-2077	28SE2	板	墨書	—	
埋-2078	28SE2	折敷	墨書	—	
埋-2079	28SE2	笹塔婆	針書	漢字	「南无阿
埋-2080	28SE2	折敷	墨画	—	「寝殿造建物」墨画
埋-2081	28SE2	折敷	墨書	ひらがな	複数行のひらがな墨書
埋-2167	28SE4	かわらけ	墨書	—	
埋-2249	28SE4	かわらけ	墨画	—	人面墨書かわらけ
埋-2250	28SE4	かわらけ	墨書	漢字	
埋-2344	28SE4	削屑	墨書	漢字	
埋-2345	28SE4	削屑	墨書	漢字	
埋-2346	28SE4	削屑	墨書	—	
埋-2347	28SE4	板	墨書	—	
埋-2377	28SE5	かわらけ	墨書	—	
埋-2402	28SE5	板	墨書	—	
埋-2506	28SE11	削屑	墨書	—	
埋-2525	28SE12	板	墨書	—	
埋-2742	28SE16	呪符	墨書	漢字	
埋-2743	28SE16	呪符	墨書	漢字	
埋-2744	28SE16	削屑	墨書	—	
埋-2772	28SE16	折敷	墨書	漢字	「人々給絹日記」。詳細は後述。
埋-2773	28SE16	折敷	墨書	カタカナ	複数行のカタカナ墨書
埋-2774	28SE16	折敷	墨書	ひらがな	
埋-2806	28SE17	板	墨書	—	
埋-2864	31SE2	板	墨書	ひらがな	
埋-3263	31SE7	荷札状	墨書	—	
埋-3347	41SE4	呪符	墨書	漢字	
埋-3422	21SK28	かわらけ	刻書	記号	
埋-3515	21SK55	板	墨書	梵字	
埋-3672	23SK72	かわらけ	墨書	—	
埋-3733	28K16	かわらけ	墨書	—	
埋-3775	28SK18	かわらけ	墨書	ひらがな	
埋-3900	31SK80	板	墨書	—	
埋-3901	31SK80	折敷	墨書	カタカナ	
埋-3965	31SK80	折敷	墨書	—	
埋-3999	41SK7	板	墨書	—	
49-142	49SE1	かわらけ	刻画	—	羽状の刻画
49-475	49SE1	荷札状	墨書	漢字	詳細は後述。
50-33	50SE3	かわらけ	墨書	—	
50-4041	50SE3	板	墨書	—	
50-4042	50SE3	板	墨書	—	
50-4043	50SE3	曲物	墨書	カタカナ	
50-4044	50SE3	板	墨書	—	

遺物番号	遺構	資料種別	内容の概要		
			文字種別	内容	
50-4045	50SE3	板	墨書	—	
50-4046	50SE3	板	墨書	—	
50-4047	50SE3	板	墨書	—	
50-4048	50SE3	板	墨書	—	
50-4049	50SE3	板	墨書	—	
50-4050	50SE3	折敷	墨書	ひらがな	
50-5013	50SE3	銅印	铸造	漢字	「磐前村印」。詳細は後述。
52-5001	52SE8	折敷	墨書	—	
52-5002	52SE8	木簡	墨書	カタカナ	読みは後述。
52-5003	52SE8	板	墨書	—	
52-5004	52SE8	木片	墨書	—	
52-5005	52SE8	木簡	刻書	カタカナ	読みは後述。
52-6029	52SE8	かわらけ	墨書	カタカナ	
52-6030	52SE8	かわらけ	墨書	—	
55-4007	55SE1	木片	墨書	—	
55-4067	55SK29	木片	墨書	—	
55-4068	55SK29	木片	墨書	—	
55-4085	55SK43	木片	墨書	—	
55-1108	55SB11	渾美甕	刻書	漢字	「上」
56-4085	56SD39	木片	墨書	—	
69-157	21SD2	かわらけ	墨書	—	
69-239	69SX3	木片	墨書	カタカナ・漢字	「タラウタユニ丈」。詳細は後述。
69-240	21SD2	木片	墨書	—	
70-360	70SK22	折敷	墨書	—	
70-361	70SK22	木片	墨書	—	
70-366	70SK22	木片	墨書	—	
70-380	70SK22	木片	墨書	—	
70-381・382	70SK22	木片	墨書	ひらがな	2片が接合。 「このちめうハラの□□□こめ」
70-383	70SK22	木片	墨書	ひらがなカ	
70-396	70SK22	木片	墨書	—	
70-428	70SK22	木片	墨書	—	
70-444	70SK22	木片	墨書	—	
70-469	70SK22	木片	墨書	—	
74-192	72SD1	かわらけ	刻書	漢字	「南□（无カ）」
74-234	72SD1	かわらけ	墨書	—	
74-960	72SD1	折敷	墨書	カタカナ・戯画	カエル戯画。詳細は後述。
74-1020	72SD1	折敷	墨書	ひらがな	
74-1049	72SD2	木片	針書	ひらがな	
75-1	72SD1	かわらけ	墨書	—	
75-501	72SD1	題籤軸	墨書	漢字	「馬」、「日記」。詳細は後述。
77-125	21SD1	かわらけ	刻書	カタカナ	
78-5	21SD1	かわらけ	墨書	—	
78-122	21SD1	かわらけ	墨書	—	
78-123	21SD1	かわらけ	墨書	—	
78-311	21SD1	かわらけ	墨書	ひらがな	
78-529	21SD1	木片	墨書	—	
78-560	21SD1	将棋駒	墨書	漢字	「歩兵」 「 」

これらの種別の対応は表68のとおりである。木製品では板片が多いが、既述のとおり折敷片を加工した残材とみられる資料を多く含む。実際の墨書資料の多くが折敷や、折敷の再利用時の墨書と考えられる。削屑などもあるほか、付札などの木簡類も少量ながら利用されたことが推察される。ただし、古代の官衙遺跡などで多数知られる文書木簡や付札などの木簡類等の出土は少ない。用途が推察できる資料は、題籤軸が1点、付札状の資料が2点確認されているのみである。

折敷などにひらがなやカタカナで複数行の記載がある文字数の多い資料もあるが積読できておら

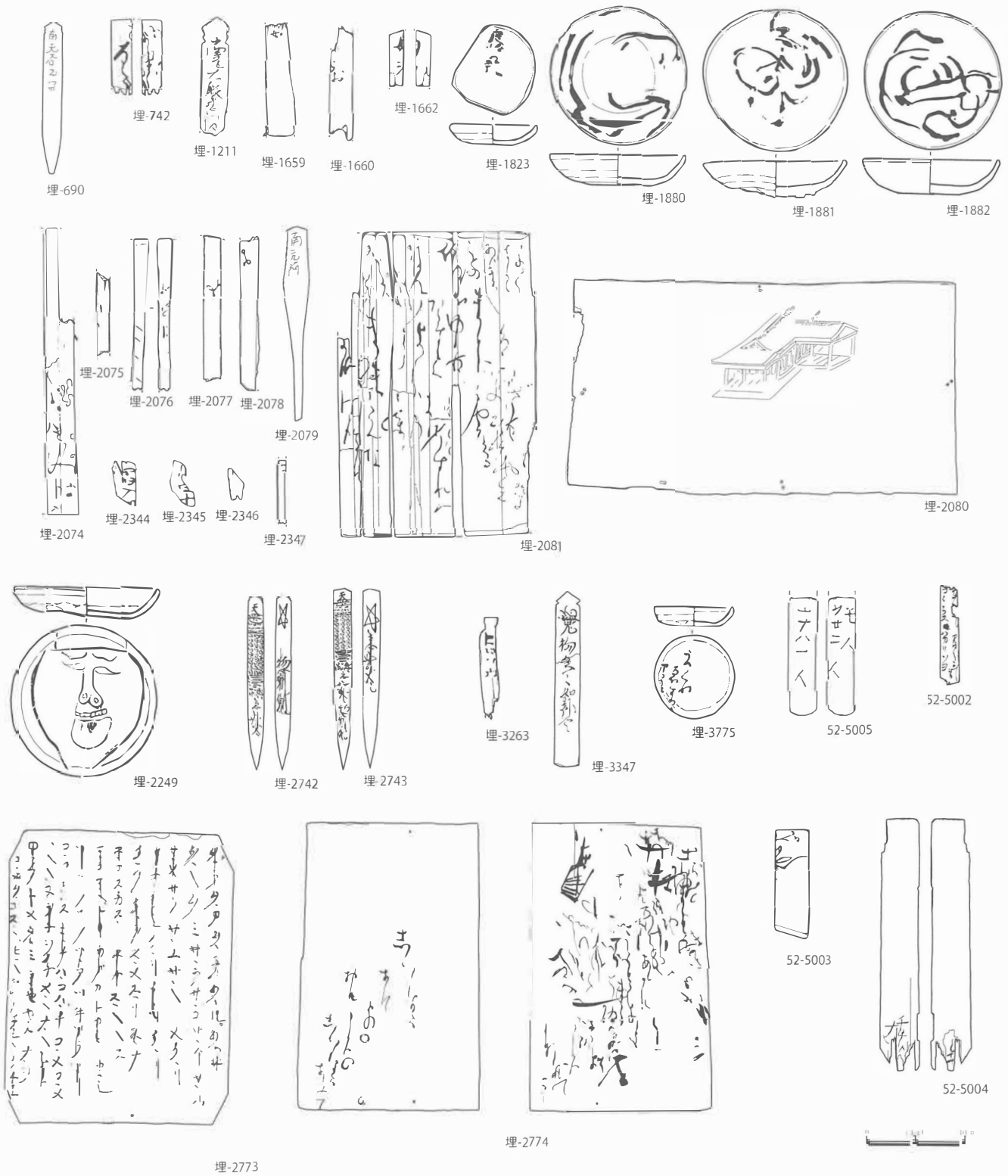


図292 文字資料 (1/6)

表68 墨書資料の種別

		墨書					刻書・針書				
		ひ	カ	漢	画	不明	ひ	カ	漢	画	不明
木製品	折敷	5	3	1	2	4					
	板片	4	2	4		36	1				
	木筒類		1	2		1		1			
	笹塔婆・呪符			5					1		
	将棋駒	1		2		2					
土器	削屑			2		3					
	かわらけ	2	2	3	1	23		1	2	1	1
	国産陶器								1		
その他	輸入陶磁器			1		1					
	銅印			1							

ず、内容は判然としない資料が多い。折敷片などへの記載の多くは、宴会儀礼等での墨書の情景が知られているように（入間田1990）、様々な場面での墨書が想定される。

土器類ではかわらけへの墨書が確認できるものの、内容が判明するものは少ない。人面墨書も1点出土している。また、輸入陶磁器類への墨書も少量ながら確認できる。既に指摘されているように、輸送の際の記載とみられる。

なお、記載資料の種別に限らず積読できる資料が極めて少ないことは、柳之御所遺跡の出土文字資料の特徴として挙げられる。これは資料の多くが折敷片などへの記載であることと対応しよう。現状では積読できる資料が少ないが遺跡理解のためにも重要な資料であり、今後も継続的に積読等の検討に取り組む必要がある。

## ②特徴的な資料

これらの文字資料のうち、遺跡の機能・性格を把握する上で重要な内容をもつと考えられる資料を抜粋して確認しておきたい。これら以外の資料も豊富な内容をもつものであるが、ここでは一部の図の掲載に留める（図292）。なお、図の一部は作成し直しているが、赤外線等で判別した文字などでも図としての表現ができていない線がある。

### ○埋-2272（図293）

【出土遺構】28SE16井戸跡

【出土状況の概要】多くの木製品とともに3層から出土している。土器類はロクロかわらけと手づくねかわらけの両者が含まれる。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.4cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.7cm程である。ロクロかわらけ大皿は椀型の器形と皿形の器形のいずれもが含まれる。手づくねかわらけ大皿は口径平均15.2cm程、器高平均3.3cm程である。手づくねかわらけ大皿は口径が大きく器高も高い、大型の器形が多い。木製品では、糸巻が多く出土している。折敷や刀子の柄・鞘、刷毛、物差などの木製品も含まれる。文字資料では折敷片のほか、呪符も含まれる。本資料は1138年の年輪年代測定の結果が得られているが、1158年の年代測定結果が得られている資料も出土している。

【法量】301×226×5（mm）

【内容】「人々給絹日記」として知られる資料で、表裏両面に墨書がある。表面は折敷の長軸を横にして、漢字及びカタカナで墨書される。裏面は折敷の長軸を縦にして漢字で墨書される。表面は人名や染め物の色、衣装名が記載される。裏面は布の品質と単位が記される。記載の背景には複数説が提示



されているが、記された人名の比定やそこから奥州藤原氏の支配領域などへの検討が行われてきた資料である。

資料は完形の折敷で、端部には棧を止めた釘穴が観察できる。本来は棧をもつ形態だったことがわかる。また墨書は棧があった位置にも及ぶ。折敷のお盆としての利用から、棧の取り外しを経て墨書が記されるという経過が理解できる。このことは記載時の様相を想定する際には重要である。

(表)

人々給絹日記	一ヒトエ		
	大夫小大夫殿紺大目結	□ (目カ)	□ (結カ)
石川三郎殿	赤根一カサネ	セトエ	
	夫夫四郎殿紺夫目	□ (結カ)	
石川太郎殿	紺大目結一		
信寿太郎殿	赤根染青	カサネタリ	
	綾	サカ	
小次郎殿	赤根染白	カサネタリ	カリキヌハカマ
四郎太郎殿	赤根染白	カサネタリ	カリキヌ
橘藤四郎	赤根染白	□ (カ) サネタリ	アラハカマ
橘□ (藤カ) 五	赤根染ウヘ一	シタキハ夫	□ (目カ) □ (結カ)
		カリキヌハカマ	
瀬川次郎	赤根染綾一		
		カリキヌハカマ	
海道四郎殿	赤根染綾一		
		水干袴	
石崎次郎殿	赤根染綾一		

(裏)

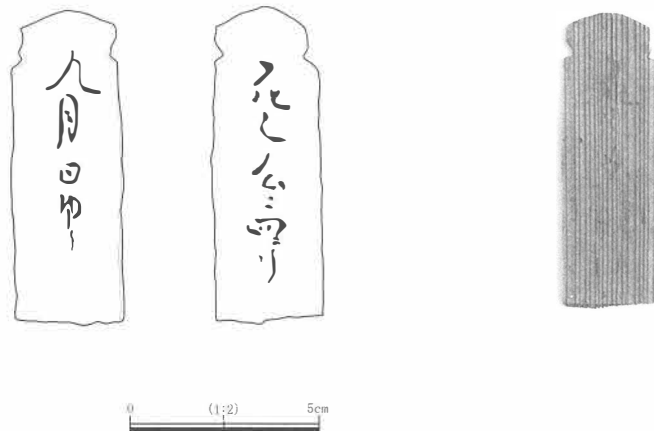
中上	六疋		
	十五疋	十五疋	
	五尺廿四疋	四尺八寸十六疋	四尺三寸六疋
	四尺七寸十疋	已上四十六疋	入物一合
	四疋 六疋		
中	□□	四疋 (尺カ)	
	十疋		
	五尺十疋	四尺八寸十疋	四尺二疋
下	四尺八寸五丈三切	六丈一切	
	四尺一疋	四尺八寸九疋	

○49-475 (図294)

【出土遺構】 49SE1

【出土状況の概要】 多くのかわらけや木製品とともに出土している。かわらけはロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.5cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.6cm程である。手づくねかわらけ大皿は口径平均14.5cm程、器高平均2.9cm程である。ロクロか

わらけ大皿は皿形の器形で、手づくねかわらけ大皿は口径の小さい資料が多い。口縁部が打ち欠きのロクロかわらけ小皿や、羽状の刻画がある手づくねかわらけが含まれる。木製品では折敷片や形代、刷毛が出土している。そのほか、付札状の墨書資料や木偶が含まれる。刀子が出土している。



【法量】82×28×2 (mm)

図294 49-475

【内容】上端の左右に切

り込みがある付札状の資料である。下端は折りにより破損している。墨書は薄いですが、表裏両面に記される。表面は物品名、裏面は日付かとみられるものの、残存も不良で確言できない。ここでは岡らとの共同研究での成果をあげておく（岡ほか2012）。

（表）花之色

二徒（落）

（裏）九月日納了

○50-5003 (図295)

【出土遺構】50SE3

【出土状況の概要】人為的に埋め戻されたとみられる土器類など多くの遺物が出土している。3層から出土し、白磁四耳壺が3a層から、銅印は3d層から出土している。これより上層も遺物の混入は少ないが人為的に埋め戻されたとみている。かわらけはロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿は口径平均14.3cm程、底径平均6.9cm程、器高平均3.3cm程である。器高が低い皿形の器形を呈する資料が多数を占める。手づくねかわらけ大皿は口径平均14.3cm程、器高平均3.0cm程である。口径14cm以上の資料が多く、15cm前後の大型の器形が多数を占める。体部のナデ調整も2段にわたるものが多い。完形の白磁四耳壺（図180-30）は頸部から体部上半及び底面付近に漆が染みこんだ麻布が付着する。福建省産とみられる。このほか木製品も3層から多く出土している。連歯下駄や杓子、漆塗りの部材や鋸歯縁状の木製品、宝塔、笹塔婆も含む。箸や折敷も出土し、折敷は棧の破片や完形に近い資料、再加工品と多く出土している。

【法量】4.7cm程の印面で、持ち手を含めた高さは3.7cmである。

【内容】隅丸に近い方形の印面をもつ銅印である。陽刻で「磐前村印」と記される。持ち手には陰刻で「上」と記される。印面は中央がやや高く周縁部が低く反る。「磐前村」の読みと比定には複数の見解が示されてきたが、当地において「村」の行政単位があることを示す。また、その村名を記す印章が遺跡内から出土したことは、文書行政の存在と本遺跡の「磐前村」への関与を示し、遺跡の性格



を示唆する内容である。

井戸跡からの出土のため、利用の位置や廃棄時の様相の確定は難しいが、遺跡内の文書など行政機能やそれを担当する機構の位置を推察しうる資料である。



図295 50-5003

○69-239 (図296)

【出土遺構】69SX3

【出土状況の概要】堀の廃絶に伴う、人為的に埋め戻された土坑状の掘り込みで69SX3から、土器や多くの木製品とともに出土した。土器類はロクロかわらけと手づくねかわらけの両者を含む。ロクロかわらけ大皿では口径平均13.1cm程、底径平均7.4cm程、器高平均3.4cm程である。体部下端で大きく屈曲する器形が多く、器形の低い皿形を呈するものが大半を占める。手づくねかわらけ大皿では平均13.4cm程、器高平均2.9cm程である。口径が14cm程を超えるやや大型の器形を含むものの、多くは口径13cm前後以下の小型の器形を呈する資料が多い。その他、糸巻などの紡織具や折敷片、形代など多くの種類が含まれる。漆製品も出土している。また、橋の部材が出土している。

【法量】135×21×2 (mm)

【内容】下端は折れて欠損しているが、上端及び左右両側面は完形で切りによる成形である。板片にカタカナと漢字で「タラウタユ二丈」と記される。カタカナの「タラウタユ」と漢字の「二丈」では墨痕が異なり、異筆とみられる。「タラウタユ」は人

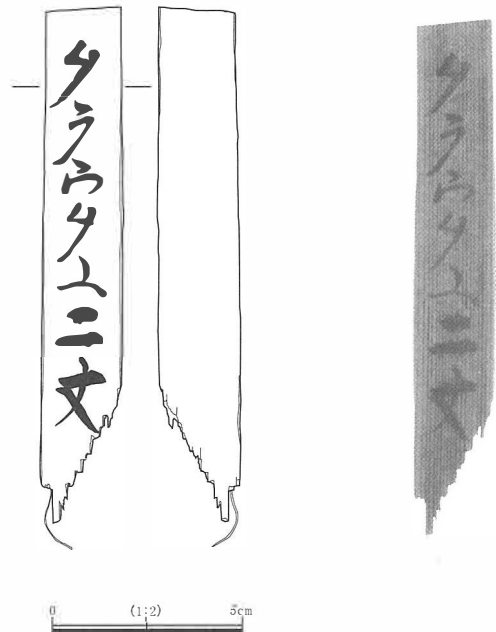


図296 69-239

名で「太郎大夫」、「二丈」は物品の数量もしくは普請の際の区間の単位と考えられる。鎌倉市北条小町邸跡での出土例や（鎌倉市教委1996）、堀跡の廃絶時の雑多な廃棄土坑と捉えうる遺構からの出土は普請の割当といった内容の後者を想起させるが、資料の法量が小さい点で若干の疑問が残る。また、鎌倉での出土例とは人名と単位の記載が逆になる。柳之御所遺跡出土の他の文字資料と比して、整った書風と観察できる。

○74-960 (図297)

【出土遺構】 72SD1

【出土状況の概要】 内側の堀の北端部から、多くの木製品とともに出土している。下層から中層にかけて漆製品や折敷などの木製品が多く出土した。この層は遺跡廃絶後の自然堆積層だが遺物は12世紀代の資料に限られ、12世紀後半の年代が考えられる。多くの木製品とともに下層から出土した。底部内面に「南□（无カ）」の刻書があるロクロかわらけなどを含む。

【法量】 55×146×6 (mm)

【内容】 折敷に再加工が行われたものとみられ、左側面を除き、上下端及び右両側面は切りによる再加工が行われる。表面は一部が薄いケズリにより平滑に仕上げられている。折敷を転用したとみられる板片に、擬人化されたカエルの戯画とカタカナが記される。墨画は板片の右側に、右手に扇とススキをもつ直立の擬人化されたカエルが描かれる。上部に複数の波状の線が確認できるが、背景等は描画されない。墨書は左側端部に二行確認でき、カタカナで一七字分記載される。判読できる文字も含まれるが、墨痕が薄い部分が多く全体の積読はできない。左側面端部は再加工の痕跡がなく、本来の墨書も二行分と考えられる。

アマリニモ□□イウ□

□□□□□□□□

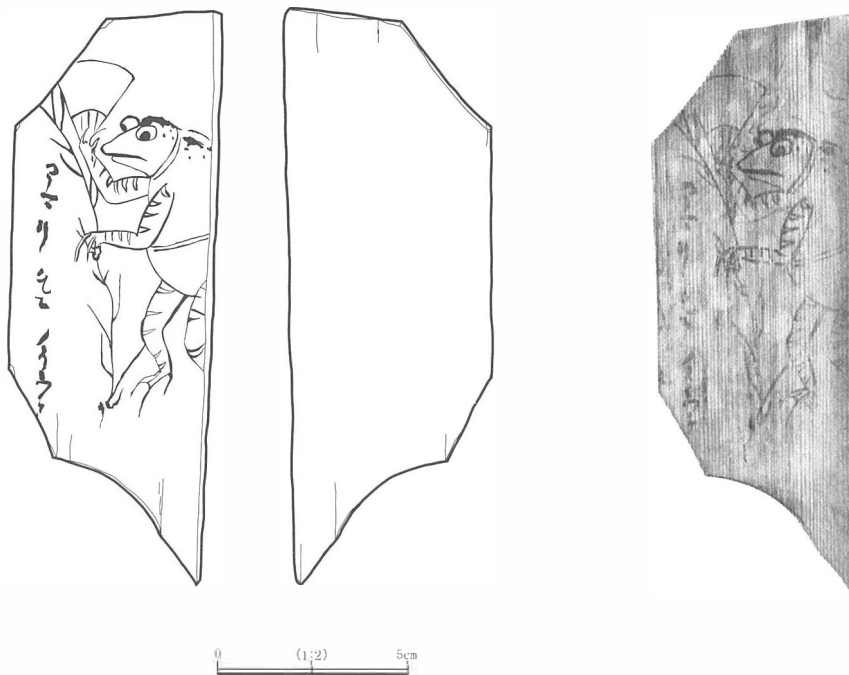


図297 74-960

## ○75-501 (図298)

【出土遺構】72SD1

【出土状況の概要】堀跡の下層にあたる自然堆積層から漆製品や下駄などの木製品が出土し、本資料もこれらとともに出土している。

【法量】129×13×3 (mm)

【内容】題籤軸で、表裏両面に墨書がある。題籤部の左半および軸部の下部が欠損するが、その他は残存する。題籤部の長さは2.9cm、軸部の幅は0.8cm、厚さは全体が0.3cmほどである。題籤部の平面形は先端がやや尖る五角形に近い形状、軸部の断面形は方形である。表裏面はいずれも調整が行われ平滑な面となる。軸部の下端は切り込みが入り、人為的な折りによる欠損である。それぞれ、「馬」「日記」と記される。題籤部の大きさから本来の字数を保つと判断できる。「馬」の出納に係わる「日記」の内容をもつ文書に伴う題籤軸と想定できよう。

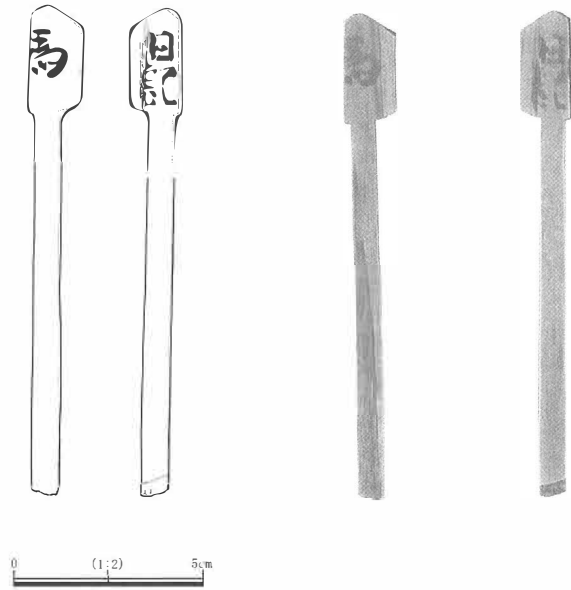


図298 75-501

堀の自然堆積土からの出土のため、本来の利用位置は確定が難しい。堆積土層の流入の様相からは、堀内部からの流入と把握でき、23SG1池跡の西側周囲との見方が自然であろう。文字の内容と題籤軸の性格から馬の出納に係わる文書が、遺跡内で保管されていたことを示す。出納管理などの行政機能との関係を示唆する。地名を弁別するような記載がないことも、本遺跡に関わる資料であることを補強すると思われる。奥州藤原氏が貢馬等により、都との関係を強めていたことを想起すればより興味深い資料である。なお、手慣れた筆記のようにも観察される。

## ③文字の釈読

文字の記載内容については埋文報告段階で「人々給絹日記」の釈読が示されているほか、近年行った共同研究での成果がある。ここでは、そこで示された内容を記しておく（岡ほか2012）。なお、共同研究は岩手県教育委員会と岡陽一郎、阿部勝則、小岩弘明、時田里志、七海雅人、平田光彦の各氏とで実資料等を用いながら検討会を開催した。成果の一部は既に公表している（岡ほか2012、岡ほか2013）。

これら以外にも多くの文字資料があるものの、見解を共通して示すには至らなかった資料が多い。先にも記したとおり、今後も継続して取り組む必要がある。

## ○埋-1823

廃（慶・度）燈カ籠カ

## ○埋-2273

タタ~~ヲ~~ タタ (チ・ヘ・ミ・ア・マ・フ) タタ (ウ・チ) タタル タタキ  
 タタキ ~~タタミ~~ ササラ ササコ ササケ ササユ  
 ササ (ヤ・メ) ササ (ヤ・メ) ササ (レ・エ) ササキ ククメ ~~タタ(ツ・リ)~~  
 クカオオ クカ々シ ククリ ~~タタツ~~ ククツ  
 ク々 (ア・ヘ) ~~タタ~~ ~~ス々~~ ス々リ ス々リ  
 スス (ヘ・ア・カ) (ネ・ス) 々カ ススキ ククケ ススキ キコハ  
 ママコ ママキ ~~□□□~~ ~~カカ(ス・シ・ヘ・ア)~~ カカト ~~カカ~~ ~~マ(カ)~~ 々シ  
~~□□□~~ □□□ □々 (ミ・マ・ク) ツツ (ミ・マ) (サ・ソ) 々キ ツツキ ~~ツツヲ~~ ツツヲ  
 ココ (マ・ミ・フ・ヘ・ア) キ (キカ) 々ス □々ナ ハハコ ~~ハハチ~~ ~~ヨヨ~~ ココ (ヤ・メ) □  
 □キ キキヌ ヲヲナ ヲヲチ メメキ ナ ナキ ~~シシ~~  
 ワワ (ノ・ク) □々メ タタミ ~~□□~~ ~~キ~~ ヤヤケ ナナヲ  
 ココ□ タタコ ススキ ヒヒキ コ□ウ (ム・チ) 々レ □□ク チ□□

※本資料には一部に抹消の墨書痕かとみられる線が確認できるものの、実測図及び釈文として確定には至っていない。

## ○埋-2774

しはしな (よ) る (ら)  
 ま (す・さ) して (は・け)  
 も (と) のは □カ  
 おも (む・し) し (こ) (ゝ) ろの (わ)  
 しはしな (よ) る (ら)  
 す□□て

## ○埋-3775

うへ (え) くれ  
 なか (い) すわう  
 やまふき

## ○埋-2344

四段 (呟) 入

## ○50-4050

みと (遅・し) 人 (乃) 乎求尔泉  
 ひら (と) 清 (尔) 泉  
 あはれは白 □  
 定 (箒・御) 物ひ (代) 事 (う)

## ○52-5002

カチ (ナ) ニ [アカキニ (々々) (ン)]  
 リ (サ) カ (テ)  
 マ イ ラ ス ハ カ リ ソ ヨ

## ○52-5005

(表) 七人  
 ウ (フ) 廿二人  
 (裏) 一一 (ナ・十) ハ (八) 一人

## 第2節 柳之御所遺跡堀内部地区の遺構変遷

## (1) 堀跡・橋跡の変遷

## ①堀の概要

柳之御所遺跡を区画する堀と溝に1)外側の堀跡、2)内側の堀跡、3)内溝、4)外側の溝がある。遺構の内容はⅢ章で記したが、改めて概要を確認しておく。

## ○位置ごとの概要

## 【南端部】

遺構の変遷 外側の溝 (21SX3) 構築→埋め戻し  
 外側の堀跡 (21SD2) 構築→掘り直し→69SX3・21SX4の改修・埋め戻し→自然堆積  
 内側の堀跡 (21SD1) 構築→自然堆積  
 遺構の重複 外側の堀跡 (21SD2) →21SX4→内側の堀跡 (21SD1)  
 外側の堀跡 (21SD2) →76SD3→内側の堀跡 (21SD1)

## 【猫間ヶ淵周辺・その他】

遺構の変遷 内溝 (56SD40) 構築→埋め戻し  
 外側の堀跡 (56SD39・72SD2) 構築→自然堆積  
 内側の堀跡 (56SD38・72SD1) 構築→自然堆積  
 遺構の重複 整地層 (75整地層1) →外側の堀跡 (56SD39・72SD2)  
 整地層 (56整地層2) →外側の堀跡 (56SD39・72SD2)・内側の堀跡 (56SD38・72SD1)

## 【北端部】

遺構の変遷 外側の堀跡 (72SD2) 構築→掘り直し→埋め戻し  
 内側の堀跡 (72SD1) 構築→自然堆積  
 遺構の重複 なし

## ○2条の堀跡(外側の堀跡、内側の堀跡)の概要

## 【外側の堀跡】

規模 幅5.5～8m、深さ1.8～2.5m。

断面形状 逆台形を呈する。大規模な改修が一度行われ、新期の堀跡は一部でV字に近い形状を呈する位置がある。

埋土の特徴 下層は自然堆積土で構成され、上層が人為堆積土で埋め戻される範囲が多い。南端部の21SX4の周囲など全体が埋め戻される位置や、地業痕跡とみられる部分がある。

その他 堀の掘削土は一部では外岸側の盛土に、一部は内岸側の整地に用いられたとみられる。

## 【内側の堀跡】

規模 幅11～14m、深さ2.4～3.6m。

断面形状 南端部で逆台形・北端部でV字を呈する。いずれの位置においても、掘り直し等の痕跡は明確ではない。

埋土の特徴 自然堆積土層。

その他 21SX4など外側の堀跡の上層の人為堆積土は、その由来を内側の堀の掘削土に求められる可

能性がある。

#### 【重複関係のまとめ】

柳之御所遺跡堀内部地区を区画する2条の堀跡は、これまでも指摘されてきたとおり、ほぼ全体にわたって平行して位置する。そのため、遺構の直接的な切り合いによって新旧が確認できる範囲は少ない。南端部においてのみ、外側の堀跡の最終の改修や地業と位置づけられる21SX4（及び77SX1などの一連の遺構）を介して、外側の堀跡（21SD2）→内側の堀跡（21SD1）の新旧関係が確認できる。また、遺構の性格は不明だが76SD3も、この溝を介して同様の新旧関係（外側の堀跡（21SD2）→内側の堀跡（21SD1））を示す。その他の猫間ヶ淵や北端部とした範囲では遺構の直接の重複関係による新旧の確認はできない。ただし、遺構の重複がない位置も含めて、外側の堀跡→内側の堀跡の遺構の重複から想定される構築時期の新旧関係が逆転する要素や同時構築などの併存を積極的に示す事象は、遺構の堆積土の様相や各地点の土器の特徴などからは確認されていない。

#### 【土層の特徴のまとめ】

2条の堀跡の堆積土の様相は大きく異なり、想定できる構築から埋没の諸過程もそれぞれの堀跡で異なる。外側の堀跡は浚渫と埋め戻しの様相が確認できる。外側の堀跡は全体での土層個々の時期的対応は長大な遺構のため確定できない部分も残るが、掘り直しと埋戻しとみられる痕跡が確認でき時間的に長期に及ぶ機能を果たしたとみられる。一方で、内側の堀跡は全体に自然堆積により埋没する。内側の堀は構築後に顕著な掘り直しなどは行われず自然堆積により埋没する。土層の状況からは比較的単純な埋没過程が想定できる。自然の埋没などに伴う堀の浚渫の痕跡が確認できないことから、遺構が機能した時間幅も12世紀代の中では短期間に留まると想定できる。

### ②堀跡・橋跡の変化と堀周辺の様相

#### ○概要と位置ごとの様相

これらの特徴と遺構の重複関係から想定できる、各範囲での構築から埋没に至る過程を模式的に示す。

#### 【南端部】

- i) 遺跡が位置する段丘面から低地である猫間ヶ淵に向かって下がる傾斜変換位置より、やや地形的に下る位置に外側の堀が構築される。そのため堀の構築位置は地形的に低地部分に入り、外側の肩は盛土によって形成される位置がある。i)の段階もしくは以前に外側の溝（21SX3）が位置づけられる可能性がある。
- ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。そのため、掘り直しなど改修が行われる。
- iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層で埋め戻される。上端まで精緻に埋め戻される位置と（南端部①）、一部や内岸側を主にした埋め戻しで、他の部位が窪みとして残存して自然堆積による埋没が進行する位置がある（南端部②）。
- iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

#### 【猫間ヶ淵周辺】

- i) 遺跡が位置する段丘面から猫間ヶ淵に向かって下がる傾斜変換位置より、やや地形的に下る位置に外側の堀が構築される。堀の平面は全体が低湿地である猫間ヶ淵に入るため、特に外側の肩は盛土によって形成される位置がある。
- ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。

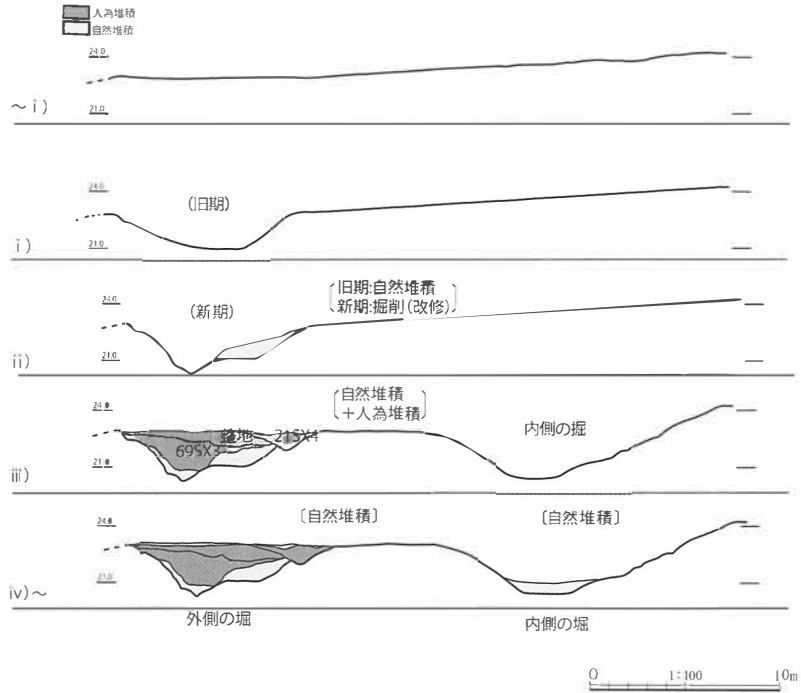


図299 堀の変遷模式図 (1)

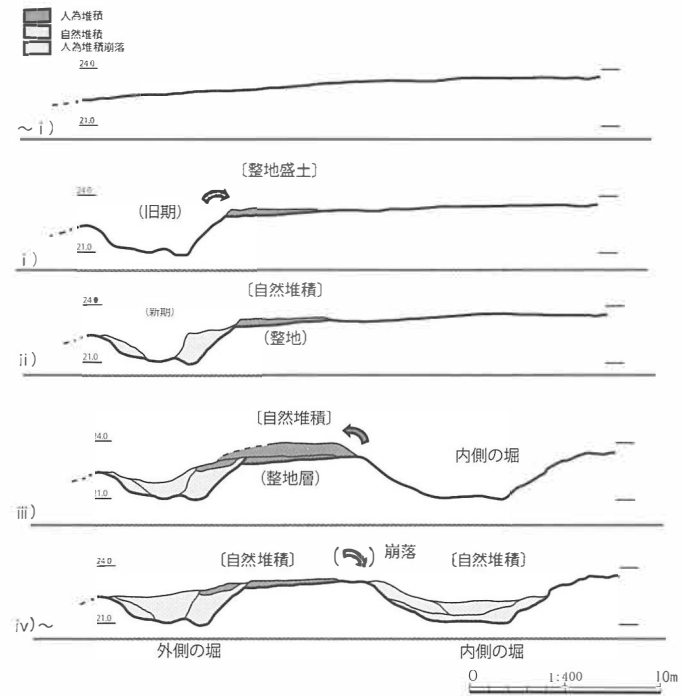


図300 堀の変遷模式図 (2)

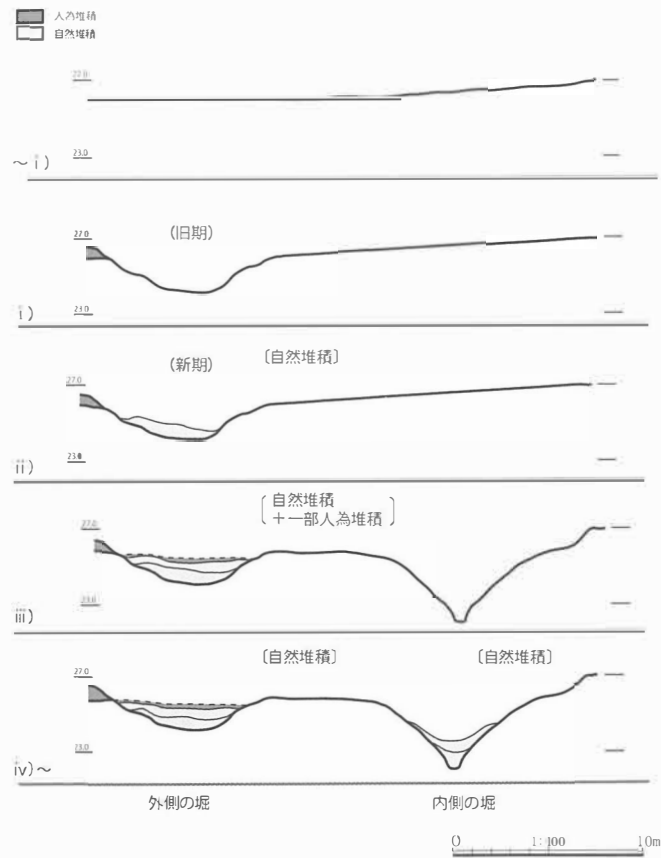


図301 堀の変遷模式図 (3)

iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層が確認できる位置もあるが、窪みとして残存する位置がある（南端部②に類似）。

iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

#### 【北端部】

i) 外側の堀が構築される。79SX1土橋が地山の掘り残しにより形成される。また、i)の段階もしくは以前に内溝（56SD40）が位置づけられる可能性があるが、外側の堀及び内側の堀と位置は異なる。

ii) 外側の堀は自然堆積によって埋没が進行する。そのため、掘り直しなど浚渫が行われる。

iii) 内側の堀が構築される。外側の堀は人為的な土層で埋め戻される。上端まで精緻に埋め戻される位置が、79SX1が機能した近接する周囲などに限定的に確認できるほか、窪みとして残存する位置とがある。

iv) 外側の堀、内側の堀のいずれも自然に埋没する。

#### ○堀跡周辺の様相

それ以外の堀に関連する要素をまとめておきたい。平泉の中心域では無量光院跡などで土塁が確認されていることや、平泉の前代にあたる秋田県大鳥井山遺跡など堀と土塁が確認されている事例があることから、柳之御所遺跡においても土塁の有無が議論となってきた。ここまで記したように柳之御



所遺跡では明確な土塁は検出されていない。ただし、堀跡周辺で確認された区画施設の有無と関連する調査成果として、堀跡周辺の整地や遺構の分布状況があり、ここではこれらについてまとめる。

【整地】

整地は遺跡の縁辺部で確認されている。南端部では21整地層や77整地層が、堀の周囲に平坦面を造成するように行われる。堀との位置関係にしたがって整理しておきたい。

外側の堀の外側 南端部では整地は確認されていない。猫間ヶ淵の周囲で整地が行われる（75整地層）。このほかに平面的には検出が難しいが、外側の堀では外側の肩を盛土によって成形している位置がある。北端部では堀外部の遺構分布域にあたり、低地にあたる他の範囲とは様相が異なる。堀外部の造成に伴う整地がある。

外側の堀と内側の堀の間 南端部では外側の堀と内側の堀の間が整地される（77整地層3）。また、75-99付近でも整地が確認されている。このほか、平面的には検出されていないが、Y=82付近で内側の堀跡への人為層の崩落が確認できる。猫間ヶ淵周辺では56-66付近で整地が確認されている。北端部ではその後の水田造成による削平もあるため判然としないが、整地層等は確認されていない。

内側の堀の内側 南端部では内側の堀の内側で整地が行われる（21整地層・77整地層1・77整地層2）。猫間ヶ淵の周辺では検出面からは旧地形も平坦面として想定でき、整地は確認されていない。北端部とした範囲の堀内部にあたる東側で確認された56整地層は他地点ほどの傾斜をもつ旧地形ではないと推察されるが、猫間ヶ淵への傾斜地とそこへの小規模な自然流路などを造成し平坦面を整備したとみられる。

このほか、堀との位置関係は不明だが、68整地層も平坦面の造成のため低地部分に行われた整地と

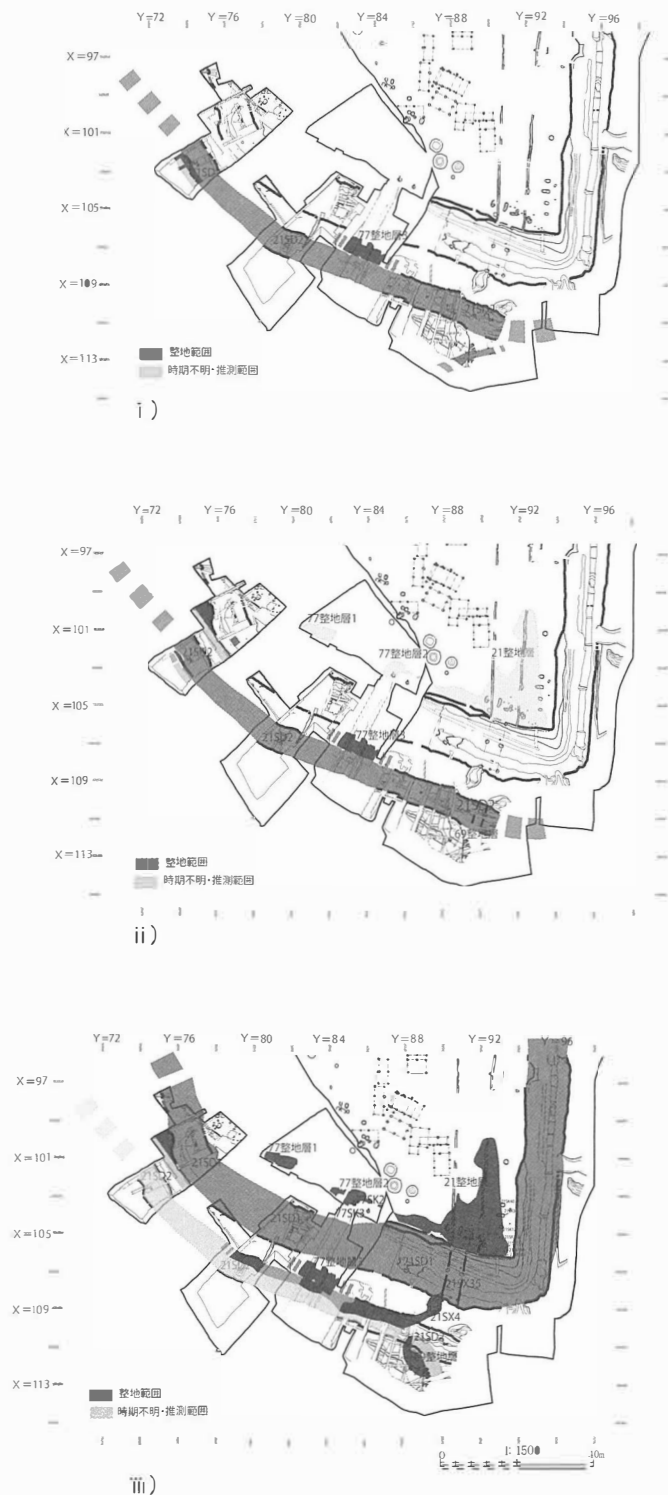


図302 南端部の堀と整地の変遷

捉えられる。

整地の様相 これらの整地の変化は南端部において把握可能である。前述の堀の変化と対応して図示した（図302）。

### 【遺構の分布状況】

遺構の分布状況についても堀との位置関係から整理しておきたい。

外側の堀の外側 南端部から北端部のいずれの位置でも明確な遺構は確認されていない。

外側の堀と内側の堀の間 南端部から北端部のいずれの位置でも明確な遺構は確認されていない。

内側の堀の内側 南端部では内側の堀の内側における遺構分布の散漫な範囲が目立ってきた。21SX36、21SX37といった土坑群や平面形態が類似する77SK2、77SK3が確認されている。猫間ヶ淵周辺で堀内部に入った位置には31SX1・31SX2が存在する。北端部では縁辺部に近い位置まで遺構が分布する。柱列などは少なく、北端の72柱列1・2が堀に沿うような位置関係にあるものの、延長が短く性格は判然としない。

### ③堀の変遷と年代的位置づけ

#### ○相対的な変遷

これらから想定できる、遺跡を画する溝と堀の変遷と各時期における堀周辺部の様相をまとめる。

なお、内側の堀跡の構築時期が外側の堀跡の機能時にかかる可能性など、両者が部分的に併存する可能性は完全には排除できないが、構築から主たる機能時までについて同時期とする根拠は得られておらず、ここまで記したように両者の様相には相違が顕著である。南端部で確認された遺構の重複や埋戻しなどの様相から想定される2条の堀の新旧関係は、特に埋没時の土層状況については顕著なように、外側の堀→内側の堀の新旧を想定できる。2条の堀がそれぞれ同一の遺構として認識できることから、地点ごとに浚渫の微細な時期や回数などに差はあり得るものの、2条の堀の新旧関係は遺跡全体に敷衍できる可能性が高いと考える。ここでは上記の遺構の変化から、Ⅰ～Ⅲの3時期を想定した（表69・図303）。

### 【堀Ⅰ】

#### 堀の様相

遺跡を区画する遺構に内溝（56SD40）が想定される。南端部では、時期を確定する遺物は得られていないが、外側の溝（21SX3）も遺跡の機能開始時期に遡りうる。また、外側の堀跡もこの段階での構築が想定できる。

内溝（56SD40）は遺跡の西北部を画する遺構である。構築後に人為的に埋め戻され廃絶し、周囲

表69 堀の変遷と関連遺構

期	外側の堀	内側の堀	内溝	外側の溝	その他
Ⅰ	21SD2・72SD2 79SX1		56SD40 56SX16	21SX3	
Ⅱ					
Ⅲ	(21SX4ほか・69SX3)	21SD1・72SD1 21SX35・23SX12 ・41SX2			75SX1

で確認されている遺構はこれより新しい。南北の両端部は途切れており、遺跡の位置する自然地形の端部との様相には調査状況からは延伸しないとみられるが、不明な点が残る。56SX16土橋により通過できる。

外側の溝（21SX3）は南端部でのみ確認されている遺構である。構築後に人為的に埋め戻される。直接重複する遺構はなく、新旧関係は不明である。遺跡の南端部でもっとも外側の遺構で、南端を画するとみられるものの部分的な検出にとどまり、全体の延長や走向方向には不明な点が残る。

外側の堀跡は遺跡の堀内部地区の全体を囲む。内溝との新旧や時間的な平行関係の有無は遺構の重複もなく判断できる要素がない。渡河地点として、北端部で79SX1土橋で堀内部と堀外部が接続する。南端部では69整地層を確認した周囲に橋脚をもつ橋の存在が推察できる。この段階とした遺構は出土遺物も少なく、直接的な事象から構築時期を確定することは難しい。ここでは全体を囲む堀が存在したと想定し、外側の堀が遺跡の機能が開始した当初まで遡ると想定した。

これらのうち外側の溝（21SX3）や内溝（56SD40）と外側の堀跡との新旧関係は遺構の重複などがなく確定できない。そのため、これらの遺構が先行し、内溝のみもしくは内溝と外側の溝のみの時期などを想定する余地が残る。その場合にはⅠ期はさらに細分できる可能性がある。

#### 周囲の状況

外側の堀が構築及び機能した段階の遺構として、外側の堀に関連する遺構を確認する。堀の外側には一部で盛土整地が行われる位置がある。ただし、これらの盛土整地は堀を構築する際に肩部分を成形したもので、低地部分でもあることから広範な造成やさらに高位へと構築する土塁等の想定は難しい。

また、外側の堀と内側の堀の間に整地が行われる。しかし、いずれの位置でも低地部や斜面地を平坦に造成したことがわかるものの、堀の堆積土からは崩落土が少ないことが観察できる。そのため、整地による造成面を当時の地表面と想定した場合に、より高位への構築物としては顕著な比高のある構造物は想定が難しい。この段階では大規模な土塁といった区画施設の想定は難しいと判断できる。整地層上面では明確な遺構は確認できておらず、平坦面の利用の有無や形態は判然としない。

### 【堀Ⅱ】

#### 堀の様相

遺跡を区画する遺構に外側の堀がある。外側の堀は構築当初の堀は自然堆積による埋没が進行し、掘り直しなど複数回の浚渫がある。浚渫の回数は位置によっても異なるが、遺構全体で広い範囲で、断面形状の変化を伴う掘り直し改修が確認できる。これを特に大きな変化と捉え、この改修時をⅡ期と想定する。ただし、この改修においても走向位置や方向は改修以前と同様のものを保つ。また、改修以前と同様に、北西側では79SX1土橋で堀外部と接続するほか、南端部では69整地層を確認した周囲に橋脚をもつ橋の存在が推察できる。

なお、外側の溝（21SX3）の併存可能性は排除できないものの、人為堆積による埋め戻しが行われるなどからこの段階では埋め戻されていたと想定した方が周囲の状況と整合的と判断している。

#### 周囲の状況

外側の堀が構築、機能した段階の遺構として、外側の堀に関連する遺構を確認する。堀の外側に、一部で盛土整地が行われる位置がある。ただし、これらの盛土整地は堀を構築する際に肩部分を成形したもので、低地部分でもあることから広範な造成や土塁等の想定は難しい。

また、前代の様相が継続し、外側の堀と内側の堀の間に整地がみられる。しかし、いずれの位置で

も低地部や斜面地を平坦に造成したことがわかるものの、堀の堆積土からは崩落土が少ない。そのため、整地による造成面を当時の地表面と想定した場合に、より高位への構築物としては顕著な構築物等はあまり想定できず、この段階でも大規模な土塁等の区画施設の想定は難しい。

### 【堀Ⅲ】

#### 堀の様相

遺跡を区画する遺構に内側の堀がある。内側の堀は構築後、自然堆積により徐々に埋没する。遺跡廃絶時にも埋没は堀底面から1 m弱程度にとどまり、大部分は堀としての形状が残る。遺跡の廃絶に至るまで、内側の堀によって遺跡が区画されていたと理解できる。

この段階では外側の堀は、南端部と堀外部と接する位置など限定的な範囲で全体的に埋め戻しが行われる。南端部では21SX4など的人為的に埋め戻される遺構がある。これらは内側の堀で橋が想定される位置の延長部でもあり、注目できる。橋などの関連施設には、南端側では21SX35橋跡があり遺跡外と接続する。この段階で外側の堀はこの周囲では上端まで埋め戻される。また、遺跡の南東側では23SX12橋跡があり、北上川方面へと向かう。北西部では外側の堀に架かる79SX1周辺では周囲を含めた整地が行われている。南端部の様相を勘案すると対応する位置に内側の堀に架かる橋が推察できるものの、確定できていない。この位置は水田等による後世の削平もあり、橋の存否の確定には堀跡の埋土堀削を伴う精査がやや広範に必要となり、困難な条件も多いと思われる。周囲の状況からはこの周囲に橋が想定される。堀外部の道路の調査などから、周囲の様相をふまえた検討が必要と考えられる。このほか、41SX2橋跡が猫間ヶ淵の低地方向へと下る位置で確認されているものの、性格は判然としない。

外側の堀は上述のように全体が埋め戻される位置がある一方で、その他の範囲では部分的に人為的な土層が確認できるものの堀の上端部までは至っていない。上端まで埋め戻されない位置では自然堆積により埋没しながら、浚渫等は行われず部分的に堀の痕跡が窪んだ形状として残るとみられる。低地帯に位置することから自然流路としても排水等に供したとみられる。

#### 周囲の状況

内側の堀が構築、機能した段階では内側の堀の両岸で整地土層が確認されている。

内側の堀の内側平坦部に分布する21整地層は、これらの位置で遺構が希薄なため土塁を想定する見方も提示されてきた。しかし、内側の堀の堆積土は内岸側から自然に流入した状況が確認でき、その土層は人為層に由来する土質は少ない。内側からの流入のあり方からは、21整地層が所在する範囲などの内側の堀の内側部分では遺跡廃絶時に、自然の土などの流入を妨げるような構築物がなかった可能性がより高いと判断している。

内側の堀の外側にあたる外側の堀と内側の堀の間では、南端部で整地が行われる。調査時には当該範囲は平坦に削平されており、本来の地形や遺構の有無は不明である。ここで注目されるのはY=82付近の断面で確認された人為層に由来する崩落土層である。この岸側からの堆積土ではY=84付近では円礫の転落もみられる。また、21SX4などの外側の堀の廃絶に際して確認される人為的に埋め戻される遺構も注目できる。これらは不整形な平面形状の掘り方が連続して溝状になる遺構として把握でき、底面付近での凹凸も顕著である。人為的な埋戻し土も精緻に行われる範囲が広く、整地と類似する土質での地業も想定可能である。分布位置や走向方向から、土塁等の施設に伴う基礎地業としての性格を想定したい。その場合、土塁を直接示す事象は得られていないものの、これらの土層の分布や関連遺構は高さをもつ構築物の存在を間接的に示す可能性がある。これらを勘案しても、これらの土

層が確認できるのは遺跡南端部に限られており、内側の堀が機能した段階では土塁状の高まりが存在した場合でも、現状では遺跡南端部の一部の範囲に限定されよう。

なお、いずれの位置においても大部分で旧表土等は削平を受けている。そのため整地層の上面において柱列や溝を伴う塀などの遺構については、存否を検討する材料がない。

ところで、ここまで述べた堀の理解からは、内側の堀に壊されるなどの内側の堀に明確に切られる遺構が確認されておらず、南端部においては幅15m程の範囲で整地を除いて顕著な遺構がみられない空地が存在する。この事象は猫間ヶ淵周辺の範囲についても同様である。北端部は縁辺部に近接して遺構が確認されており、内側の堀に壊された部分が推察できる。この南端部及び猫間ヶ淵周辺における当該範囲の遺構密度の薄さは低地帯に近いことや後述する遺構の時期変遷から、遺跡の機能開始時に近い段階では、縁辺部までの利用が特に南端部において限定的だったことに起因すると思われる。これは遺構分布や、遺物が確認されている様相とも矛盾しないものの、比較的広い範囲の様相と性格が不定なことは課題として残る。

#### ○各期の年代

これらの各期の年代的位置づけは、いずれの遺構についても実年代の確定は難しい。特に、構築の時期を決定する資料は少ない。

#### 【外側の堀】

**南端部** 旧期の堀跡と捉えられる古い段階の堆積土からの出土遺物は少ないものの、南端部で確認された遺物は12世紀中葉より古い特徴を示す（土器Ⅰ・Ⅱ）。新期の堀跡からも遺物は多くない。その後の埋め戻し等に伴う人為土層及びその直上の土層からは比較的多くの出土遺物があり、12世紀中葉から後半の特徴を示す（土器Ⅱ・Ⅲ）。特に12世紀後半の特徴を持つ資料が多い（土器Ⅲ、図304）。

**猫間ヶ淵周辺** 堀の堆積土からは出土遺物が少ない。

**北端部** 下層からは出土遺物が少ない。埋没時に近い上層の資料は12世紀後半の特徴をもつ（土器Ⅲ、図305）。

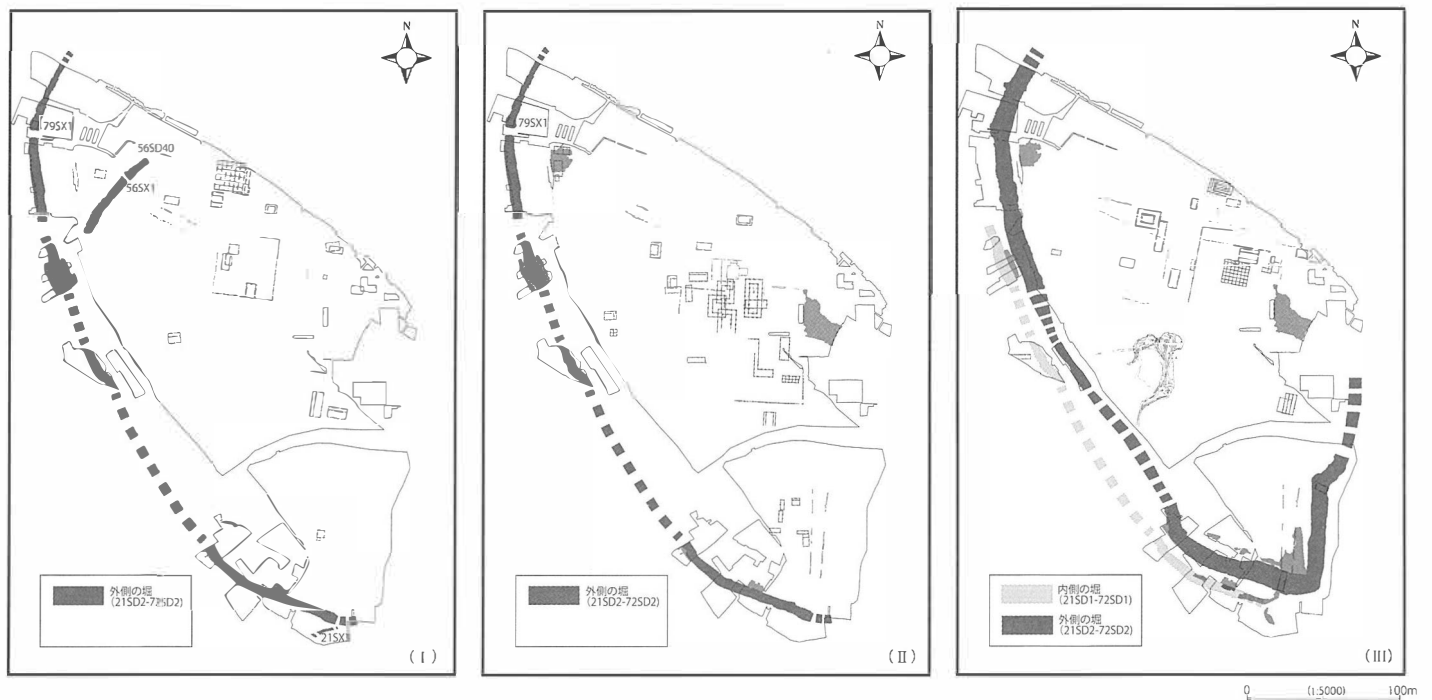


図303 堀の変遷

【内側の堀】

南端部 南端は最下層の出土資料でも12世紀後半の特徴をもつ（土器Ⅲ）。下層以上では12世紀末とみられる特徴を示す（土器Ⅲb）。

猫間ヶ淵周辺 堀の堆積土からは出土遺物が少ない。

北端部 北端部では猫間ヶ淵に近接する範囲で12世紀中葉～後半以降のやや幅をもった遺物が含まれる（土器Ⅱ～Ⅲ）。その他は12世紀後半の特徴をもつ遺物でまとまる（土器Ⅲ）。下層出土の資料でも、12世紀後半のうちでも後出の特徴をもつ遺物が多い（土器Ⅲb）。

【各期の年代】

堀Ⅰの段階は構築年代の確定は難しいが、土器類の出土が寡少なこと、少量の土器類がロクロかわらけに限定されること、器形の特徴が古相の様相を示すことが特徴としてあげられる。資料が少なく確定は難しいが、これらは12世紀前半代に遡る可能性のある土器群と捉えておきたい。

堀Ⅱの段階は外側の堀を埋め戻す21SX4の土器類に12世紀後半代の土器類を含むことから、下限を12世紀後半代におくことができる。上限の確定は資料が少ない。旧期の土層からの資料では12世紀中葉の特徴をもつ遺物がある。新期の堀跡では12世紀後半の遺物と12世紀中葉でも後半のやや古い特徴をもつ遺物が含まれる。

堀Ⅲの段階は内側の堀跡の堆積土出土の遺物に12世紀後半代の土器類を含むことから12世紀後半以降におくことができる。内側の堀の最下層の土器群は12世紀後半の遺物を多く含み、北西部を除いては12世紀後半の中でも後出の特徴を持つ資料が多い。

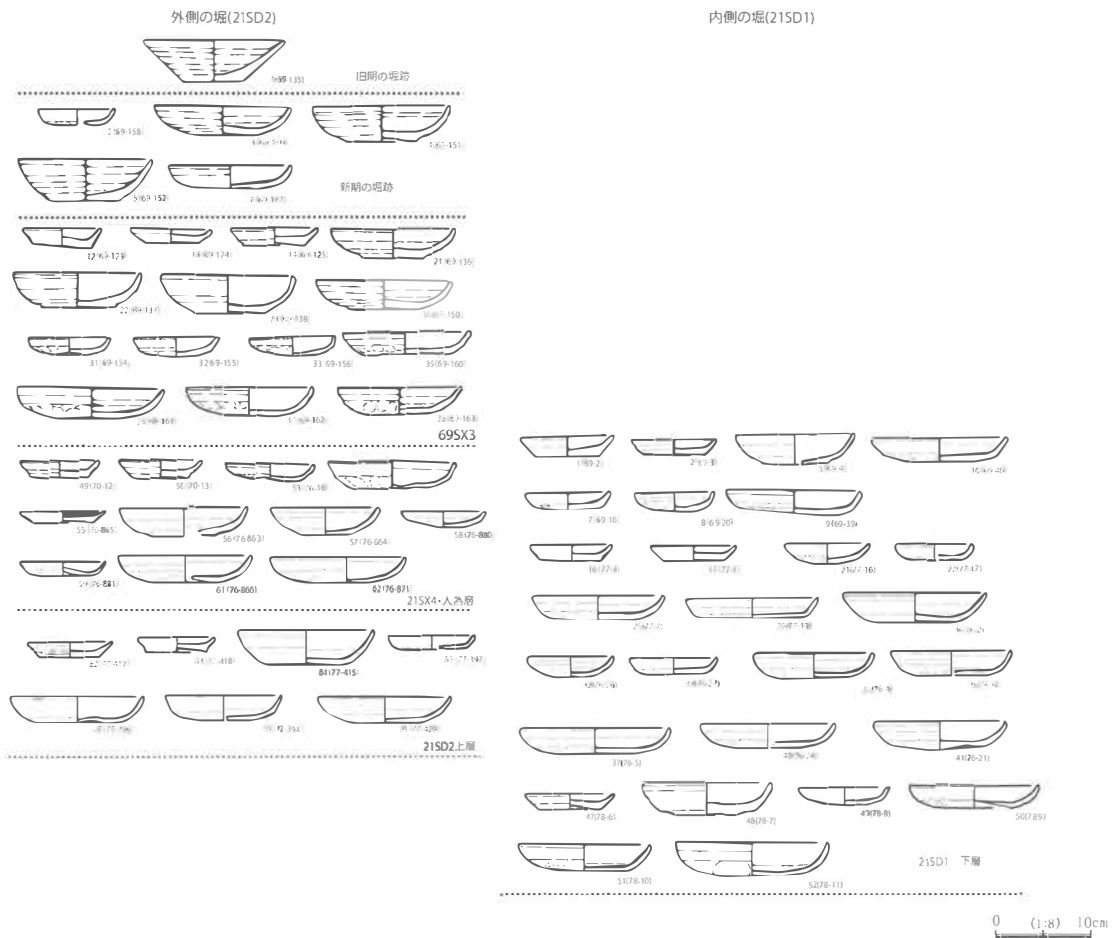


図304 堀跡出土の土器（南端部）

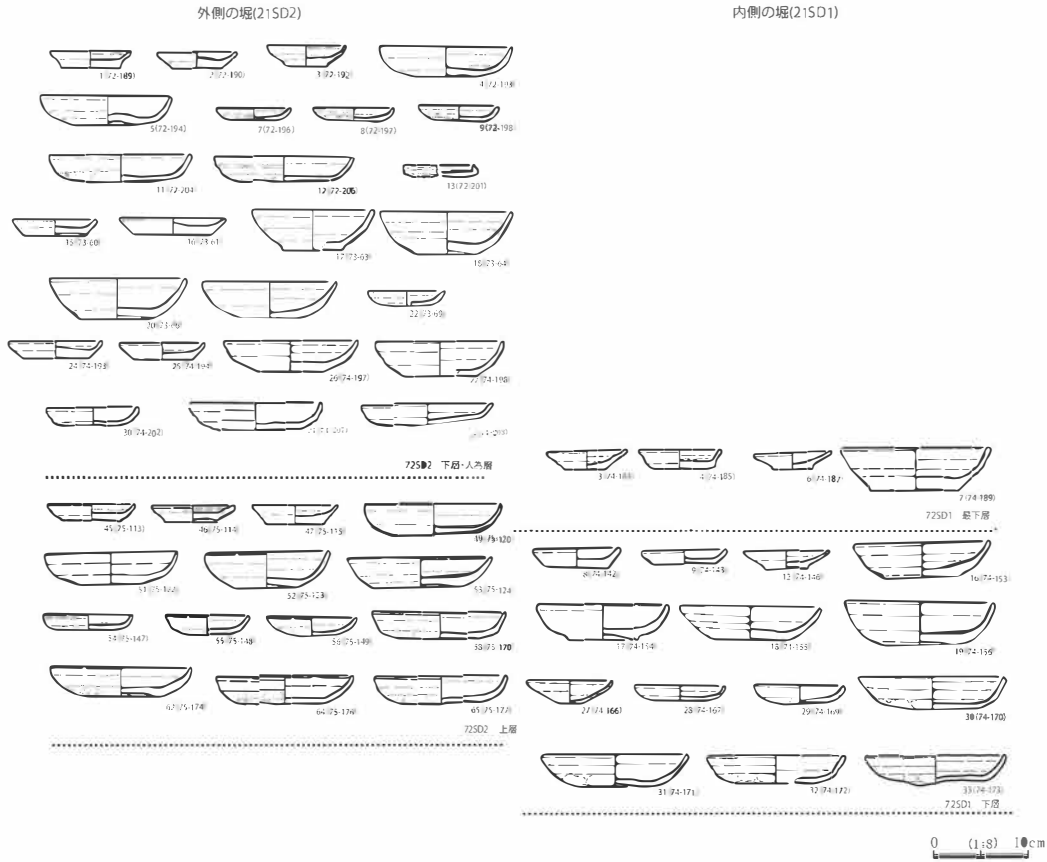


図305 堀跡出土の土器（北端部）

これらから、新しい段階から実年代を想定すると堀Ⅲの段階の年代は12世紀後半から末葉における。堀Ⅱの段階は12世紀中葉以降から12世紀後半と想定する。堀Ⅰの段階の年代は堀Ⅱの段階の想定年代を勘案し、12世紀中葉以前として12世紀前半から中葉を想定しておきたい。ただし、堀Ⅰの段階が細分可能であれば、外側の堀の構築がⅠ段階としたうちでやや後出する可能性がある。

(2) 遺構の変遷

① 史跡整備における検討の概要

遺跡内の建物などの変遷はこれまでも検討が行われており、簡単な研究史は第Ⅱ章に記した。これらの先行研究でも指摘されているように、遺構間での空間的な重複が多く、一方で遺構の直接的な重複関係の把握には事例の少なさも含めて多くの困難な事象がある。遺跡内は全体に大きく削平を受けており柱穴の残存状況が不良なことなどが挙げられる。そのため、遺構の変遷について、総合的に整理しきれない部分があることが指摘されてきた。一方で、多くの先行研究でも相対的な変化には共通した理解も多く、一定の方向性が示されてきたものと理解できよう。ここではこれらの先行研究で有意と認識できる属性から、変遷の想定と提示を行う。

遺跡内の建物は軸方位によって分類が可能である。整備にあたっての整理検討では軸方位と遺物の変遷を対応させて検討を行ってきた（柳之御所調査事務所2005～2008）。その際には堀内部地区全体での軸方位の傾向を示し、変遷を想定した（柳之御所調査事務所2008）。検討の経過は既報に譲るが、

そこでの検討内容を大まかに下記のとおりまとめることができる。

- ・建物軸方位は①0～5°、②6～9°、③10～13°、④15～25°に分類できる。
- ・軸方位による変化と土器の変化とを概ね対応した傾向を把握できる。
- ・軸方位②→①→③→④の変遷を想定した。

ただし、このうち軸方位③は方位の幅が広く計画性を想定できるかはやや留保される。また、軸方位③の建物群は、土器群との対応も他の群ほど明瞭な対応を示さないことが指摘されている。

これまでの整備等に際しての検討から、軸方位②6～9°→①0～5°（→④（15～25°）→③10～13°の変遷が理解できる。以下ではこれらの成果をふまえ、遺跡範囲全体で軸方位と重複関係の再整理を行う。軸方位による同時期性の設定や重複関係と出土遺物による時期の想定は、柱穴出土遺物が限定的であることや同一軸方位の建物を同時期に想定するなどの方法論上の課題は内包するものの、掘立柱建物を中心とした遺跡での検討のあり方として大方の支持を得て行われてきた一般的なものであろう。これは本遺跡に係る既往の研究においても、多くの論で軸方向が重視されてきたことでも窺える。

また、軸方位による変化と土器の変化とを概ね対応すると想定しているが、そこでは土器群を5群に分けて分類している（柳之御所遺跡調査事務所2007・2008）。本報告書で示した内容と概ね対応させることが可能と考えており、これを整理すると、軸方位②＝（1群≡本報告土器Ⅰ）、軸方位①＝（2・3群≡本報告土器Ⅱ）、軸方位④＝（4群≡本報告土器Ⅱ・Ⅲ）、軸方位③＝（5群≡本報告土器Ⅲ）の対応が可能と捉えられる。

一方で建物群は集中して分布する範囲が看取できる。そこで、集中域ごとの様相も合わせて確認する。

## ②調査状況の整理

### ○堀内部全体の軸方位での分類

堀内部全体で確認された掘立柱建物について、軸方位を基準に分類し、それぞれの遺構名と重複関係を表に示す（表70～73）。ここで対象とした遺構は掘立柱建物跡と堀跡である。また、この表中では軸方位14°と15°の建物を④とした軸方位の建物群に追加した。遺構数自体が少ないことと、後述する遺構の重複関係からの判断である。

**0～5°の建物群** 28棟の建物がこの群に分類できる。正方位に近い軸線を示す遺構で、28SB1・28SB2・28SB3・28SB4などの四面庇建物などがこの群にあたる。表中では正方位から西に1～2°傾く遺構もこの群に近似する軸方位として含めた。また、10条の堀跡がこの群に分類できる。23SA1、28SA1、55SA1などがこの群に入る。

**6～9°の建物群** 18棟の建物がこの群に分類できる。正方位から東にやや傾く遺構で、55SB5、55SB6などがこの群にあたる。また、5条の堀跡がこの群に分類できる。55柱列1などがこの群に入る。

**10～15°の建物群** 18棟の建物がこの群に分類できる。正方位から東に傾く遺構で、52SB25などの四面庇建物や50SB4がこの群にあたる。また、10条の堀跡がこの群に分類できる。50 SA1や55柱列2、23SA4などがこの群に入る。

**16～25°前後の建物群** 28棟の建物がこの群に分類できる。正方位から大きく東に傾く遺構で、軸方位のばらつきも大きい。また、8条の堀跡がこの群に分類できる。50SA2などがこの群に入る。



表70 0～5°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
31SB6	72-68	N-0°-E	31SB6→28SA1	52SB26
31SB7	75-66	N-0°-E		55SB20、55SB23、36SA2、31SK81
HSB23	89-100	N-0°-E		HSB18、HSB19
31SB8	65-74	N-1°-E		
52SB26	73-67	N-1°-E		31SB6
55SB25	80-67	N-1°-E	55SB25→55SX2	28SB6
HSB21	89-96	N-1°-E		
HSB22	86-100	N-1°-E		
23SB10	85-85	N-2°-E		
28SB1	79-68	N-2°-E	28SB6、28SX1、28SA1→28SB1→ 28SE2、28SE1	28SB2、28SK30、55柱列1、55柱列2
28SB2	77-69	N-2°-E	28SB2→28SE2、28SE6	28SB1・3・6、28SE7・8・9、28SK11、 55柱列2
28SB4	83-67	N-2°-E	28SB8→28SB4→28SE11、28SK14、 50SB4	
41SB1	64-72	N-2°-E		
HSB17	87-98	N-2°-E		
23SB1	83-75	N-3°-E	23SB1→23SB6	
23SB2	87-75	N-3°-E		
28SB3	80-71	N-3°-E	28SB3→28SE9、28SK11、28SK13、 28SK33、28SK34	28SB2、28SK15、28SE8、28SE10
28SB8	83-70	N-3°-E	28SB8→28SB4	
56SB4	57-49	N-3°-E		56SK93、56SK94、56SK95、56SK96
HSB20	87-96	N-3°-E		
23SB3	87-80	N-4°-E		23SB7、23SA3、23SK81
55SB8	82-58	N-4°-E	55SB8→55SK60	
55SB27	76-62	N-4°-E		55SB24
52SB18	70-63	N-5°-E	52SB18→52SK14	
28SB5	75-68	N-1°-W		28SA1、55柱列1、28SE4、28SK4
HSB19	90-100	N-1°-W		HSB23
56SB3	57-51	N-2°-W		56SB5、56SK99
56SB5	57-53	N-2°-W		56SB3
23SA1	85-83	N-0°-E	23SA3、23SA4、23SK60、23SK61、 23SK62、23SK83→23SA1	23SB4、23SK84、23SB7
23SA6	86-81	N-0°-E		
55SA1	78-64	N-0°-E	55柱列2→55SA1→55SB21、28SE3	55柱列1
55SA2	84-65	N-0°-E		
23SA3	87-83	N-2°-E	23SA3→23SA4→23SA1	23SB3
50SA5	89-65	N-3°-E	50SA6→50SA5だが、明確ではない	
50SA7	86-66	N-3°-E	50SA2、50SA8→50SA7→50SA6	50SB16
28SA1	73-69	N-4°-E	28SA1→28SX1→28SB1。 31SB6→28SA1	28SB5、55SB20、65SA2
36SA4	74-65	N-4°-E		36SA5、55SB23、31SK85
42SA21	95-67	N-5°-E		

表71 6～9°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
31SB3	69-74	N-6°-E		31SB4、31SE3、31SK57、31SK59
55SB5	78-52	N-6°-E	55SK42→55SB5→55SB6	55SB17、55SK40、55SK42
55SB24	77-62	N-6°-E		55SB27、55SB29
HSB18	89-100	N-6°-E		HSB23
28SB6	79-67	N-7°-E	28SB6→28SB1、55SX2	28SB2、28SE1、55SB25、55柱列1、 55柱列2
55SB17	79-54	N-7°-E	55SB17→55SK63	55SB5
56SB1	59-52	N-7°-E	56SB2→56SB1	
55SB29	77-63	N-7°-E		55SB19、55SB24
50SB21	91-62	N-8°-E		50SB23、50SB26

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
50SB25	94-68	N-8°-E		50SB9、50SB19、50SB24
55SB6	76-52	N-8°-E	55SB5→55SB6	55SK33、55SK34、55SK37
55SB18	75-55	N-8°-E	55SB18→55SK38	
55SB19	76-63	N-8°-E	36SA2→55SB19	55SB29
23SB4	89-81	N-9°-E	23SA1と重複するが、不明。	23SB7
23SB5	90-84	N-9°-E	23SK65→23SB5	23SB8、23SB9、23SK56、23SK64
50SB28	89-66	N-9°-E		50SB16、50SB17、50SA2
52SB27	69-56	N-9°-E		56SE2
55SB9	82-57	N-9°-E		
55柱列1	82-62	N-6°-E	55柱列1→28SA1	28SB1、28SB5、55SB20、55柱列2、 55SK64、28SB6
36SA3	75-65	N-7°-E		55SB23、31SK83、31SK84
23SA2	88-79	N-9°-E		
23SA4	87-83	N-9°-E	23SA3→23SA4→23SA1。	
50SA8	86-66	N-9°-E	50SA8→50SA7。	

表72 10～15°の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
41SB3	61-64	N-10°-E		
50SB3	86-64	N-10°-E	50SB6AB、50SA2→50SB3	50SB5
52SB25	73-59	N-10°-E	52SE7、52SD30 (52SC1) →52SB25→ 52SK21	52SK37、55SK15
55SB10	84-57	N-10°-E		
23SB8	92-83	N-11°-E	23SB8→23SB9、23SK66	23SB5、23SK68
50SB4	84-65	N-11°-E	28SB4→50SB4。	
23SB9	91-83	N-12°-E	23SB8→23SB9	23SB5、23SK66
50SB17	90-65	N-12°-E		50SB16、50SB28
50SB18	93-64	N-12°-E		
52SB21	70-65	N-12°-E		52SK28、52SK30、50SA1
55SB20	77-66	N-12°-E	55SB20→28SA1	31SB7、55柱列1
55SB21	79-65	N-12°-E	55SA1→55SB21	
50SB16	89-66	N-13°-E		50SB17、50SB28、50SA2
50SB27	90-65	N-13°-E		50SB10
55SB13	83-54	N-13°-E	55SB13→55SB14	55SB11、55SB12
55SB16	79-57	N-13°-E		
55SB12	82-54	N-14°-E		55SB11、55SB13、55SB14、55SK49、 55SK54、55SK56
55SB11	82-54	N-15°-E		55SB12、55SB13、55SB14
36SA2	75-65	N-10°-E	36SA2→55SB19。	31SB7
50SA12	90-65	N-10°-E		
50SA1	85-63	N-11°-E	50SA2、55柱列1、50SB6A、50SB22、 50SB8→50SA1。	50SB6B、50SB5、50SB8、50SB10
55柱列2	80-63	N-11°-E		28SB1、28SB2、55柱列1、28SB6
55SA3	82-59	N-11°-E		
55SA4	82-58	N-11°-E		
65SA2	69-69	N-11°-E		31SB5、28SA1
50SA13	90-62	N-14°-E		
50SA6	89-65	N-15°-E	50SA6→37SE2、50SA2、50SA7。 50SA6→50SA5だが、明確ではない。	
50SA10	89-67	N-15°-E	50SA10→68SK35。	

表73 16～25°前後の建物群

遺構名	位置	角度	直接重複	空間重複
50SB8	89-64	N-16°-E	50SB23→50SB8→50SA1	50SB7、50SB10、50SB20、50SB22、50SB27
50SB10	89-63	N-16°-E	50SB10→50SB7	50SB8、50SB20、50SB23、50SB27
50SB7	89-62	N-17°-E	50SB10→50SB7	50SB22、50SB23、50SB5、50SB6B、50SB8、50SB20、50SB26
50SB24	94-67	N-17°-E		50SB9、50SB19、50SB25
52SB19	64-56	N-17°-E		
72SB1	60-41	N-17°-E		72SA1、72SA2、72SK6
HSB15	88-98	N-17°-E		HSB13、HSB14
23SB7	89-81	N-18°-E		23SB3、23SB4、23SA1
50SB6A	87-61	N-18°-E	50SB6A→50SA1、50SB6B→50SA6A→50SB3	50SB5
50SB6B	87-61	N-18°-E	50SB6B→50SB6A→50SB3	50SB5、50SB7
50SB20	89-63	N-18°-E		50SB8、50SB10、50SB23、50SB7
HSB25		N-18°-E		
56SB2	59-51	N-19°-E	56SB2→56SB1	
50SB5	87-62	N-20°-E		50SB6AB、50SB7、50SB8、50SB22、50SB23、50SB3、50SB20
50SB9	94-67	N-20°-E		50SB19、50SB24、50SB25、68SK4、68SK5、68SK6、68SK7、68SK9
50SB19	95-66	N-20°-E		50SB9、50SB24、50SB25
50SB22	89-62	N-20°-E		50SB5、50SB7、50SB8、50SB23
55SB14	83-54	N-20°-E	55SB13→55SB14	55SB11、55SB12
55SB23	75-65	N-20°-E		31SB7、36SA3、36SA4、31SK83、31SK84
HSB24		N-20°-E		
23SB6	86-78	N-23°-E	23SB1→23SB6	23SK87、23SK89
31SB4	70-73	N-23°-E	31SE4、31SE5→31SB4→31SE3、65SD10	31SK58、31SB3
31SB5	71-70	N-23°-E	65SA2と重複	
HSB13	88-98	N-23°-E	HSB13→HSB14	HSB15
50SB23	90-62	N-24°-E	50SB23→50SB8	50SB7、50SB10、50SB20、50SB21、50SB22、50SB26
52SB14	73-62	N-24°-E	52SB14→52SK13	36SK23
HSB14	88-98	N-24°-E	HSB13→HSB14	HSB15
HSB16	88-98	N-25°-E		
50SA2	88-62	N-17°-E	50SA2→50SA1、50SB3。 50SA2→50SA6、50SA7。	50SA10、50SB5、50SB7、50SB16 50SB17、50SB28
52SA1	71-65	N-17°-E		52SB21、52SK22
52SA2	67-58	N-17°-E		
72SA1	59-42	N-17°-E		72SB1
72SA2	59-43	N-17°-E	72SA2→72SK6。	72SB1
36SA5	74-63	N-25°-E		36SA4
65SA1	67-60	N-25°-E		28SE15
65SA3	68-69	N-27°-E		

## ○建物の軸方位と重複関係

建物群はいくつかの集中する範囲が確認されている。ここでは遺構集中域ごとに、建物や堀などの区画施設の軸方位と重複関係を確認する。なお、図においては重複を「→」、空間重複を「↔」として示す。

## 【集中域①】

堀内部の北側範囲で建物群がまとまって確認されている。軸方位と重複関係を確認する。直接的な重複関係が確認できる遺構は少ない（図307）。

この範囲では、6～9°群の遺構は55SB5や55SB6などの大型の建物が存在する。0～5°群の建物群は少ない。55SB8がこの群に位置づけられる。また、16°～群の遺構と10～15°群の遺構はこの範囲の東側付近にまとまりを示す。この位置より西側ではトイレ状土坑が多く確認されており、遺構分布と場の使われ方との関連が想起される。55SX1も土器様相からは、これらの10～15°群もしくは16°



図306 集中域①の遺構

～群に対応するとみられる。円形のため軸方位は判然としないが中心部の円の長軸方向は16°～群の方向になる。

【集中域②】

堀内部の中央部から北西付近で建物群がややまとまって確認されている。軸方位と重複関係を確認する（図307）。

この範囲では各群の建物が分布する。6～9°群の遺構はY=76付近に分布域が集中する。これらの建物は、空間的に重複しており、建て替えが想定される。0～6°群の遺構は全体に分布する。55SA1やより南方に位置する28SA1による区画で確認できる遺構群（集中域③）との位置関係から、

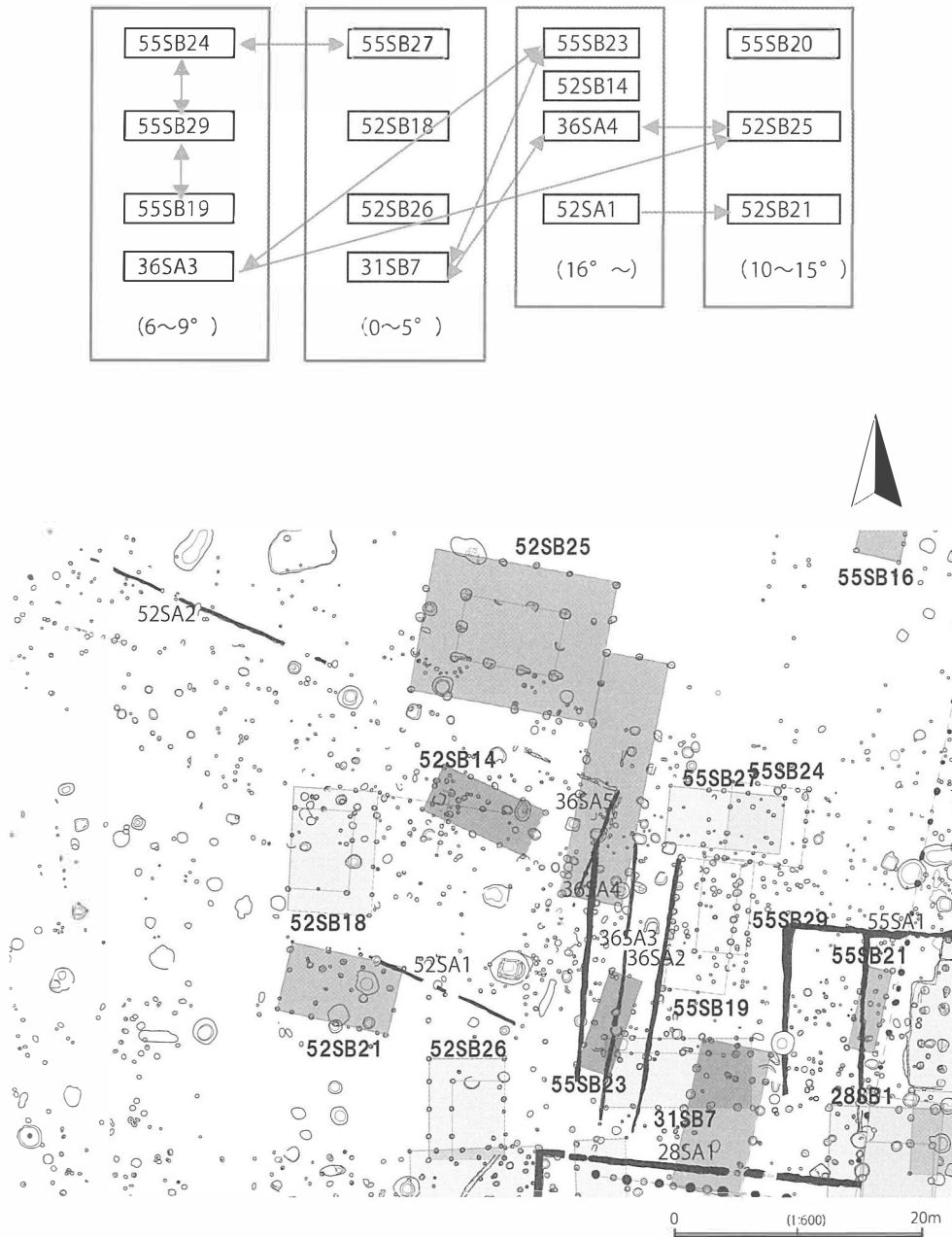


図307 集中域②の遺構

大型の建物群とは堀による区画を境に相対して逆の位置にあたる。建物の規模や構造は四面庇等ではなく小規模なものが多い。建物規模などからは集中域③を区画内とし、集中域②を区画外との想定が可能であろう。16°～群の遺構は、36SA5と52SA1、52SA2の堀が同一方向を向いてもしくは直交して位置する。これらが組んで区画を構成する可能性が考えられる。52SB14はこの堀群による区画を想定すれば、その中に位置するようにみられる。10～15°群の遺構では、大型の四面庇遺物である52SB25が所在する。また、52SB21が52SB25の前面に位置する。

### 【集中域③】

堀内部の中央付近で建物跡がまとまって確認されている。この周囲は園池なども所在する。軸方位と重複関係を確認する（図308）。

この周囲では各群の建物が分布する。6～9°群の遺構は、28SB6と55柱列1が所在する。36SA3も同一の軸方向を示す。0～5°群の遺構は空間的な重複が多く、多くの遺構が所在する。28SB1、28SB2、28SB3の四面庇建物群が分布するほか、28SB8、28SB4が所存する。これらは空間的にも重複し、建て替えが理解できるものの、直接的な重複が少なく、新旧の理解が遺構情報のみからは難しい部分がある。55SX2、23SB1などの特徴的な遺構もある。北西側は28SA1、55SA1による区画が想定される。南辺及び東辺では23SA1がこの群に想定できる。16°～群の遺構は遺構が少ない。特に、0～5°群の四面庇建物との重複が、空間的な重複も含めて少ないことは留意すべき特徴であろう。10～15°群の遺構は50SB4、50SB3などのほか、55柱列2や50SA1などの区画施設がある。西側では31SB4、31SB5などの建物や65SA2、65SA3が分布する。

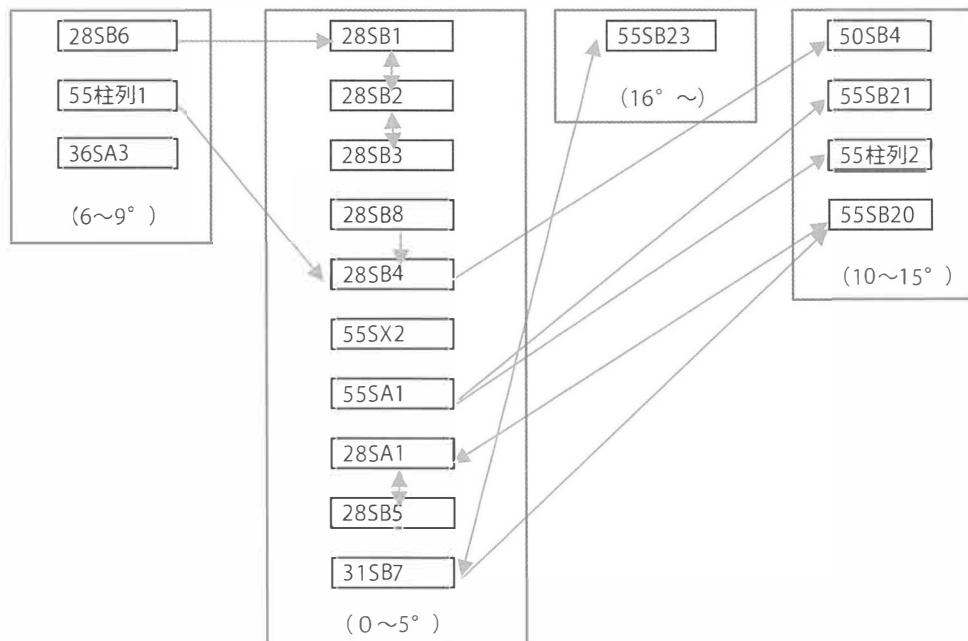




図308 集中域③の遺構

## 【集中域④】

堀内部の北東付近で建物跡がまとまって確認されている（図309）。

この周囲では各群の建物が分布する。6～9°群の遺構は50SB21や50SB25がある。0～5°群の遺構は、50SA5があるほか、50SB26がこの群に含まれる可能性がある。16°～群の遺構は空間的重複

が著しい分布の集中がY=87~91付近と、Y=94~96付近の2カ所にみられる。Y=87~91付近では、50SB6A・50SB6B・50SA5・50SB7・50SB8・50SB10・50SB20・50SB23などがある。また、50SA2もこの群に入り、これによる区画された時期が想定される。Y=94~96付近では50SB9・50SB19・50SB24がある。これらは空間的に重複し、同一位置での建て替え等が想定される。10~15°群の遺構は50SB3や50SB4、50SB27がある。50SB16・50SB17・50SB28は空間的に重複し、同一位置での建て替えが想定される。区画施設では50SA1がこの群に入る。50SA10もこれらと関連する可能性がある。

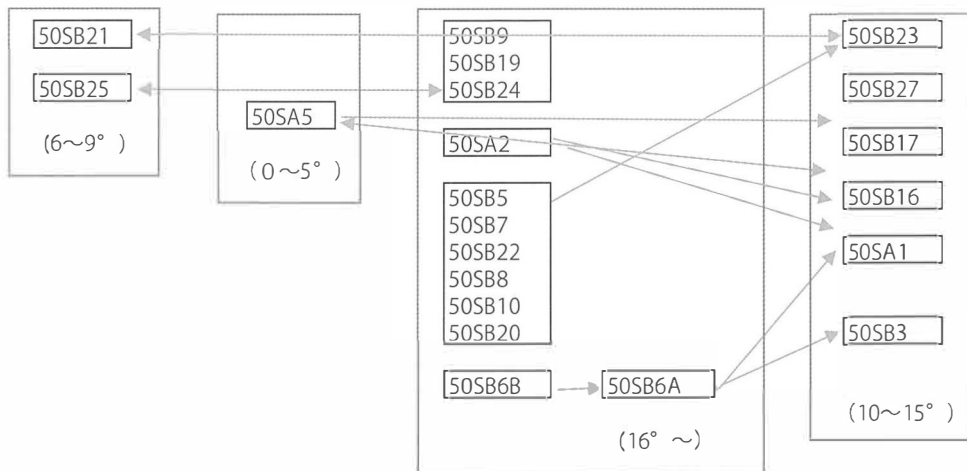


図309 集中域④の遺構



## ③遺構の変遷

これまで整備に際して示してきた遺構変遷の検討において（柳之御所遺跡調査事務所2008）、軸方位による分類と土器群が一定程度対応することが理解できている。軸方位による分類と遺構の重複関係では、全ての範囲にわたる事象を説明しつくすことはできないが、概ね遺構の新旧の説明が可能である。これらから、軸方位②6～9°→①0～5°（→③）→④10～13°の変遷が理解できている。

一方で、いくつかの建物が集中する範囲の様相で確認したように、②→①→④の建物群は重複関係が多いものの、③とした建物群は他の遺構との重複が少ない。また、③とした建物群は、23SG1池跡の周囲に分布が少なく、この時期区分をそのまま単線的に適用した場合にここに大きな空地が存在することとなる。これらをふまえ、ここでは①の建物群と③の一部が、さらに④の建物群と③の建物群の一部が時間的重複関係をもつ可能性を想定した。

【遺構Ⅰ】 軸方向が6～9°の遺構を主に構成される（図310）。

55SB5、55SB6、55SB17、55SB18の建物群や28SB6、55SB19、55SB29の建物群が想定できる。また、区画施設として、55柱列1や36SA3を想定した。

周囲の遺構は軸方位からこの時期に想定している建物が、散漫ではあるものの分布する。遺構の重



図310 建物Ⅰ（6～9°）

複は少ないものの50SB21、50SB25などを想定した。

【遺構Ⅱ】軸方向が0～5°の遺構を主に構成される（図311）。

28SB1、28SB2、28SB3、28SB4などがあるほか、23SB1、23SB2、23SB3が23SG1池跡に近い位置に分布する。区画施設では23SA1、55SA1、55SA2、28SA1がこの段階に想定できる。また、28SA1や55SA1の区画の外側に分布する遺構に、52SB18や55SB8、52SB26などがある。遺跡の西側にあたる31SB3などもこの段階の可能性はあるほか、遺跡の北西側の56SB4などを想定した。

Ⅱ段階の遺構群は28SB1・28SB2・28SB3の重複や、28SB8と28SB4の重複のほか、28SA1と28SB1の重複や55SA1の重複などもあり、同一位置での造り替えが想定できる。Ⅱ期とした時期に一定程度の時間幅が想定される。このことは整備時の変遷で〔Ⅱ・Ⅲ期〕として示したことも対応する（柳之御所調査事務所2008）。

一方で16°～群とした遺構群はこの群との重複が少ない遺構が存在する。これらをふまえ、遺構Ⅱの0～5°群の遺構群のうちやや新しい段階で16°～とした建物群の一部が構築された可能性を想定したい（図312）。0～5°の建物群と直接的な重複関係がないものを、Ⅱ段階のうちやや後出の段階

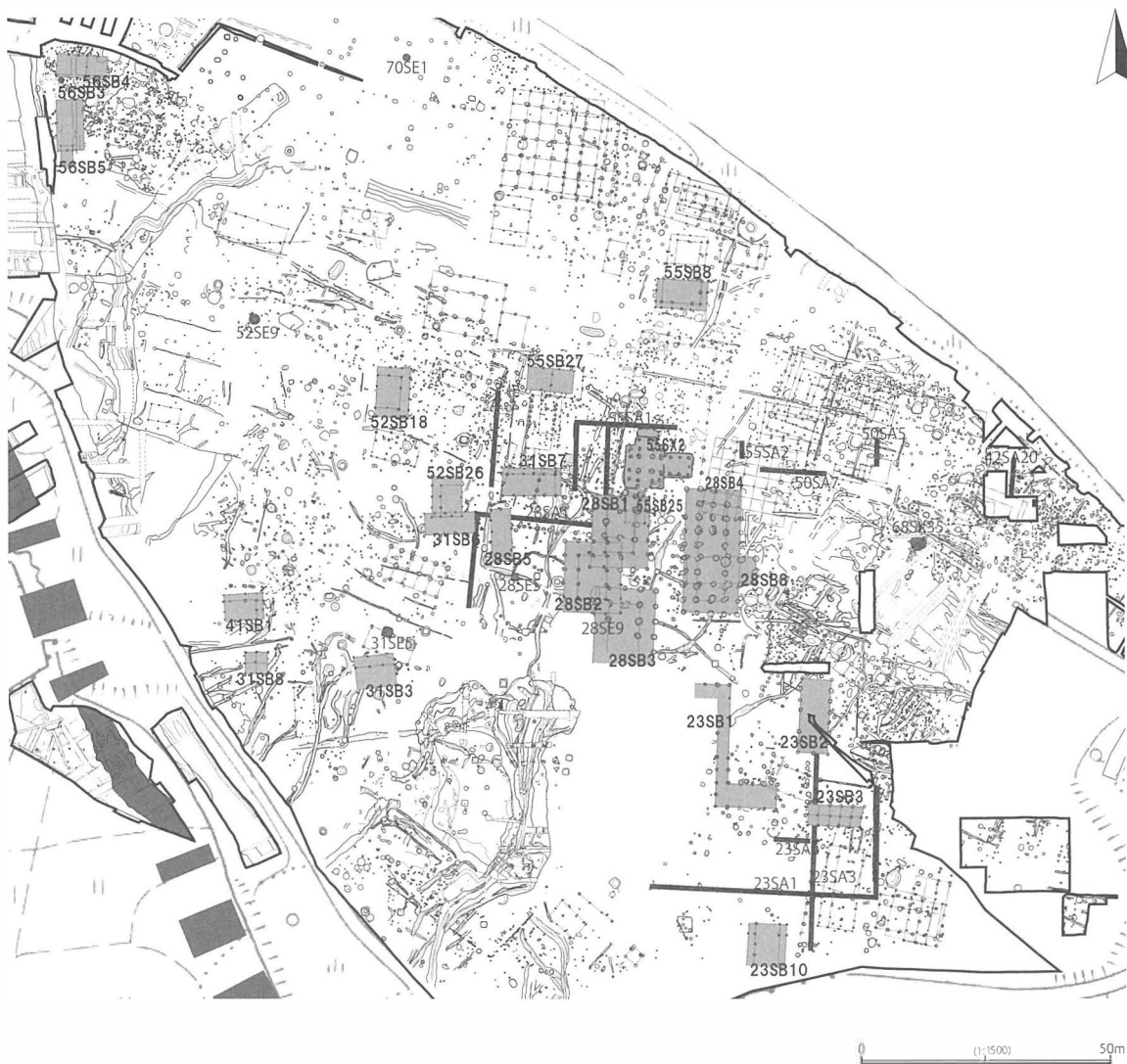


図311 建物Ⅱ（0～5°）

と想定可能と考えて図示した。55SB11、55SB12、55SB14は重複をもたないほか、50SB9、50SB19、50SB24も重複をもたない。また、集中域④として示した遺構のうち、0～5°群と重ならず10～15°群と重複する50SB5、50SB6A・B、50SB20、50SB22などをこの段階と想定した。これらは精査している遺構も少ないため、想定による部分が残る。また50SA2による区画が想定でき、その場合に時間幅が想定される。また、16°～群の遺構のうち、0～5°群の遺構と重複するものはⅢ段階に下ると想定した。これについては次に記す。この段階に想定する建物に、50SB6A、50SB6Bなどが所在する遺構のまとめりや区画施設では50SA2が対応するとみなし、これらの遺構が分布する範囲の利用を想定した。

ただし、16°～群の建物のみで、ある時期が成立するような想定も可能性は残る。その場合、整備で示した〔Ⅳ期〕とした遺構群（柳之御所遺跡調査事務所2008）として独立して存在する捉え方が成立する余地がある。

【遺構Ⅲ】軸方位が10～15°の遺構を主に構成される（図313）。

遺構の分布は堀内部の全体に広がる。52SB25のほか、50SB4、50SB3などをこの時期に想定した。



図312 建物Ⅱ後（0～5°・16°～）

区画施設として、55柱列2や50SA1、55SA3などを想定した。南側への延長部分は削平等もあり、確定できていないが堀の延長がそのまま延伸して接続するとみた場合には50SB3や50SB4をの区画が広範囲に、52SB25についても、36SA2などによる区画が想定できる可能性がある。52SD32や52SB19の軸方向と位置が52SB25の北側柱列と軸方向が近似する点は留意される。

また、16°～とした建物群のうち、0～5°の建物群と直接的な重複関係があるものの一部をこの段階に想定する。31SB5や31SA4は0～5°群の遺構と重複関係を持ち、10～15°群の遺構とは重複関係をもたないことから、この段階と想定した。また23SB7、23SB8、23SB9の遺構群をこの段階に想定した。

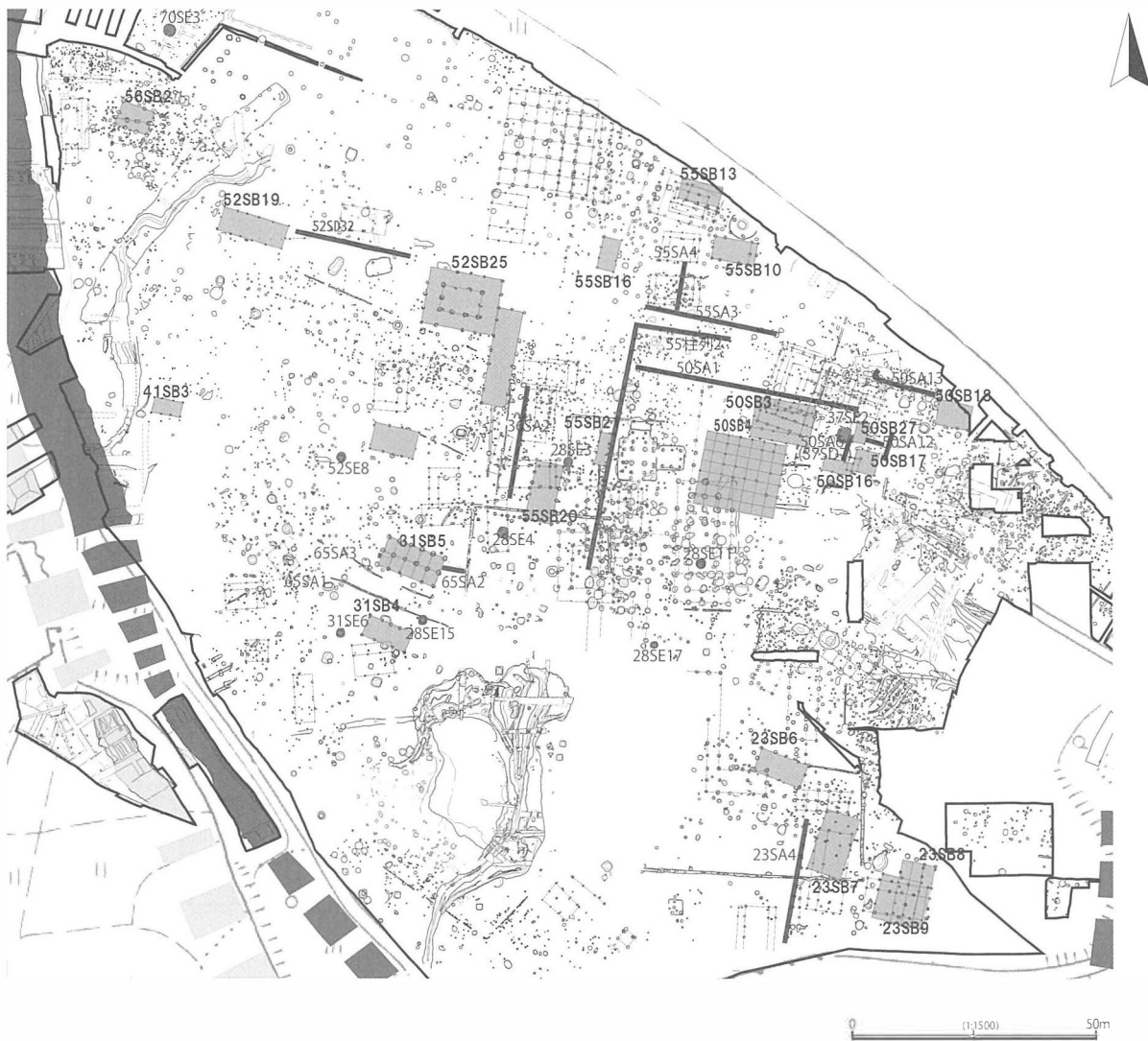


図313 建物Ⅲ (10～15°・16°～)

### (3) 柳之御所遺跡堀内部の変遷

堀とそれ以外の遺構変遷の対応は直接的な重複関係がないため理解が難しい部分がある。ここでは出土土器の様相をふまえ、下記の対応を想定した。

なお、遺構と堀の対応については各遺構変遷期における主たる堀の段階を対応させるものである。時期区分上の対応を示したが、堀とその他の遺構の変遷が同一の時点で造り替えが行われるものかは判断できない。つまり、遺構変遷Ⅱと堀Ⅰの段階が重なる時期や遺構変遷Ⅲと堀Ⅱが重なる時期などの存在は完全には排除できない。なお、ここでは3期に区分して遺跡内容を理解している。しかし、当然ながら設定した各時期の中でも変遷がある。つまり、「Ⅰ期」とした遺構もⅠ期の中で構成されたものでⅠ期の当初に全ての要素が揃うという性格のものではない。これはⅡ期、Ⅲ期も同様で、各時期においた建物においても重複が生じることはより微細な時期変遷が内包されることによる。

また、時間的な重複は遺物の変遷も同様である。一括性が高いと見なしうる遺構出土資料を主な対象に変遷を把握しているが、各器種ごとの変化と輻輳しながら時期ごとの変化が看取できる。

### 【Ⅰ】(遺構変遷Ⅰ・堀Ⅰ)(図314)

堀内部が位置する段丘上に建物群が造営される。遺跡は内溝56SD40や外側の溝21SX3で区画される。このほか、外側の堀もこの段階の当初に置けるかは確定できないものの、土器類の出土量の寡少さと遺物の様相などの特徴や全体を囲む遺構がⅠ期の内に構築されたと判断し、Ⅰ期と捉えられる時間幅の内に遡るとみている。

建物跡では時期の比定が難しいものを含むが、柱穴等からの遺物の出土が少ない遺構にこの段階にあたる遺構が含まれるとみられる。堀内部の遺構は内部の建物はやや散漫な傾向を示すが、遺跡の中央からやや北側に多くみられる。55SB5や55SB6などの建物群をこの段階に想定した。両者の内では後者が後出する。これらが平面規模等からはこの時期において大型の建物として認識できる。また、28SB6や55柱列1、36SA3がこの段階に遡りうる。堀による区画が一部で構成された可能性がある。遺跡の中央から南側では遺構の分布が薄く、特に南端部では遺構・遺物ともに分布が散漫な傾向がみられる。

この段階の出土土器も遺構分布と同様に遺跡の中央からやや北側に分布する。52SE10のほか、やや後出する可能性がある55SE1、52SE7などがこの段

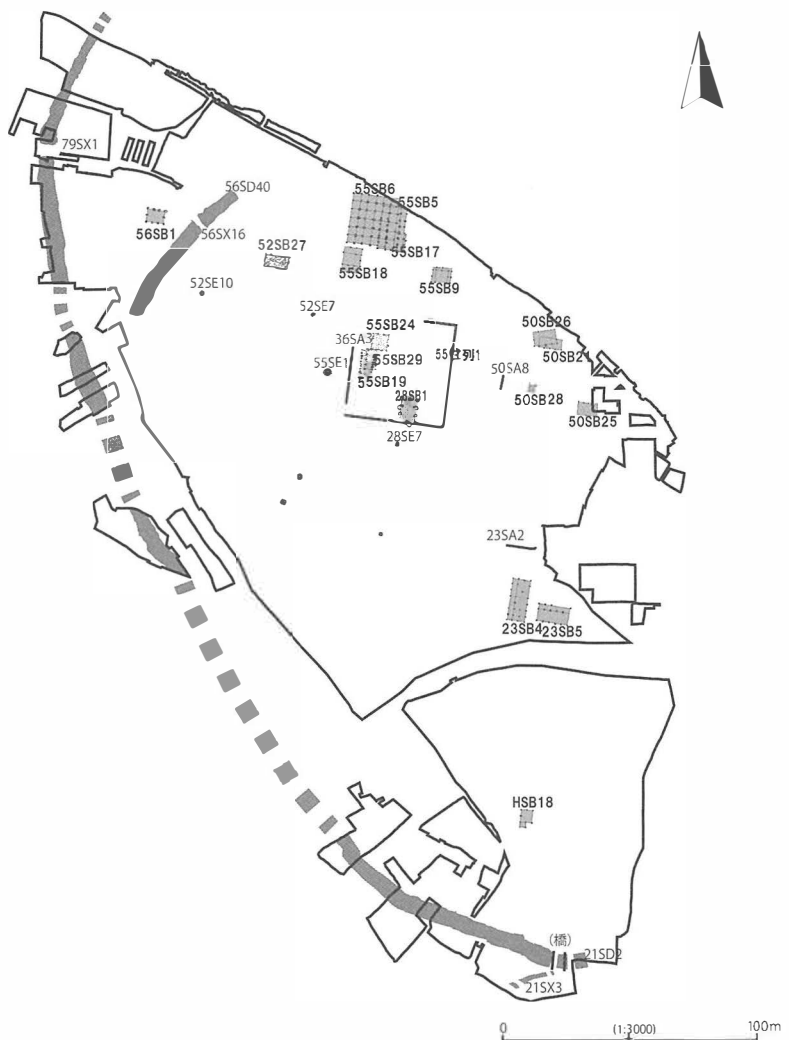


図314 柳之御所遺跡の遺構変遷【Ⅰ期】

階に想定できるが、いずれも遺構分布と同様の傾向を示す。土器変遷ではⅠ段階とした12世紀前半(1100前後～1140年代)に概ね対応するとみている。

## 【Ⅱ】(遺構変遷Ⅱ・堀Ⅱ・池Ⅰ)(図315)

外側の堀によって全体が囲繞される。掘り直しによる改修が時期的にはこの段階と前後すると考えられる。これらは北側の土橋、南側の橋が想定できる。堀内部に23SG1池跡(池Ⅰ期)が造営される。池跡では排水溝がこの段階で確認され、西側の猫間ヶ淵方向へと向かう。この段階では西方向を向く橋(64SX1)が架かる。

堀に囲繞された区域の全域に遺構・遺物が分布する。堀による区画が確認できる。23SA1と55SA1、28SA1による区画が想定できる。この堀の内部には四面庇掘立柱建物が所在する。28SB1～3、28SB4など掘立柱建物は四面庇の構造で、規模も大きく、柱配置などの規格性も高い。これらは空間的に重複し、同一や近接した位置での造り替えが想定される。直接的な重複関係が少ないため、新旧関係の理解が困難である。

28SB1、28SB2、28SB3はほぼ同一の位置で類似した規格性の高い四面庇建物であるが、28SB3は平面的な位置関係からは23SB1と接続する可能性をもつ。28SB2とは重複するため、同時存在の可能性はあるのは28SB1である。東側では28SB8→28SB4の新旧関係がある。28SB2と28SB4が、南側の柱列が揃うなど、並立していた可能性を考慮することができる。また、28SB1と重複する55SA1の平面構造も分岐があり、造り替えとみる余地が残るほか、28SA1が途切れることも注目しておきたい。

55SX2は竪穴遺構で性格等に不明な点が残るが、建物軸方位からはこの段階の構築が想定できる。時間幅をもった機能が想定されるが埋め戻しによって廃絶しており出土遺物はこの遺構の下限を示すと考えられ、Ⅲ期以前の遺構と判断できる。28SB4を避けるように拡張されることなどから、この段階と想定している。

また、堀による区画の外側でも当該期と想定できる建物

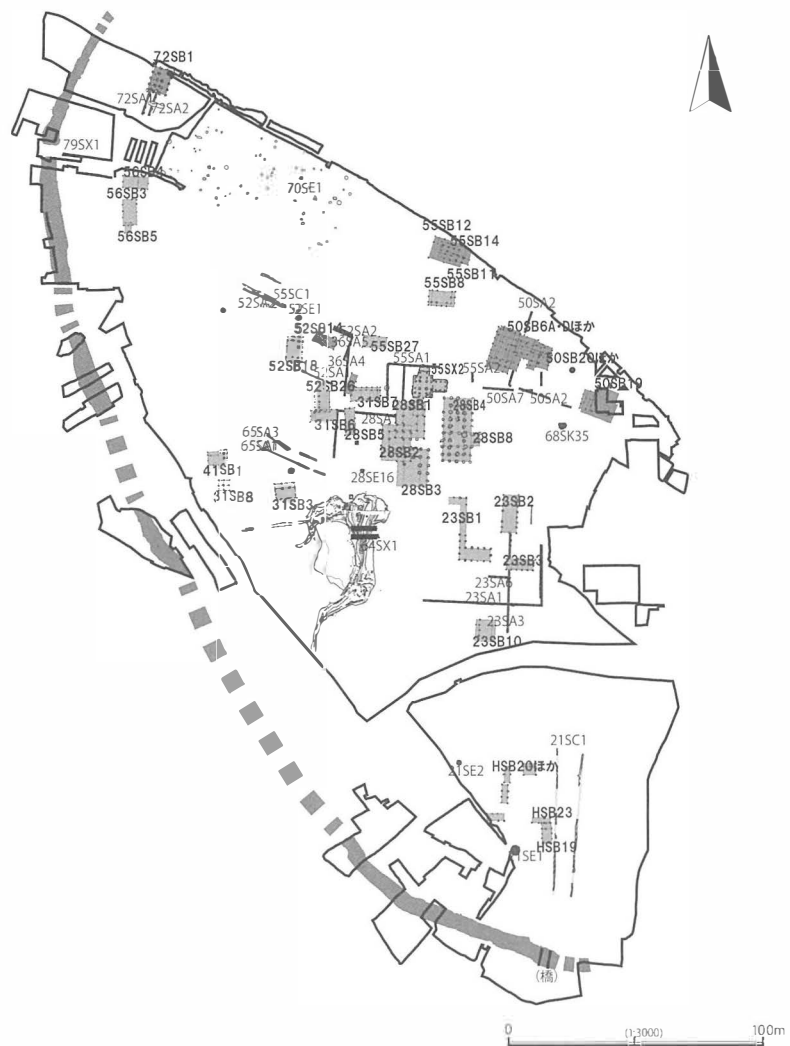


図315 柳之御所遺跡の遺構変遷【Ⅱ期】

が分布する。52SB26や55SB8、52SB18などがこれらにあたる。堀による区画内の建物群が構造や平面規模の上でより優位な状況が理解でき、遺構の機能等と対応するとみられる。

なお、やや後出する時期とみたが、この群の遺構と空間的な重複をもたない、北東側の16°～群の遺構の一部をこの時期の後半に並行する可能性を想定しておきたい。50SB6などの建物群がこの時期に想定でき、50SA2により区画される時期がある。50SB6A・50SB6Bと50SB8、50SB10、50SB20、50SB23などの50SA2の西側を中心とした遺構群と50SB5、50SB7、50SB22などの遺構群がグループ化できる可能性がある。東西棟の建物と南北棟の建物があり、これらがそれぞれで対応する可能性も想定できようが、遺構の重複等は少なく確定できていない。今後の課題でもある。

かわらけが多く出土し、国産・輸入の陶磁器類も多くなる。瓦が出土する。紡織具の多くはこの時期の資料であろうか。手づくねかわらけがみられるようになる。なお、土器変遷では概ねⅡ段階とした12世紀中葉（1140年代～1160年代）に対応するとみているが、細分が可能と考えられるほか前後には時間幅も想定される。

### 【Ⅲ】（遺構変遷Ⅲ・堀Ⅲ・池Ⅱ）（図316）

大規模な内側の堀が構築される。外側の堀は部分的に埋め戻されるほか、南端部では盛土整地が行われる。南端部では21SX35橋跡で南方向へとつながるほか、23SX12橋跡がある。南端部では外側の堀跡と内側の堀跡の間において部分的に土塁状になる可能性がある。北端部では41SX2橋跡がある。

堀内部の全域に遺構の分布が広がる。23SG1池跡は造り替えられる（池Ⅱ期）。この時期の遺構では、四面庇建物である52SB25があるほか、50SB3や50SB4が分布する。50SB4も平面規模は大型の遺構を想定しているが、不確定な部分も残る。いずれが中心的な機能をもつかは特定しがたいものの大型の建物が所在することは重要である。55柱列2や50SA1による区画が想定できるほか、23SA4も軸方位はこの時期のものと近似性が強い。堀は断片的な確認のため確定できないが、区画された空間が拡張されたようにも捉えられる。また堀による区画の

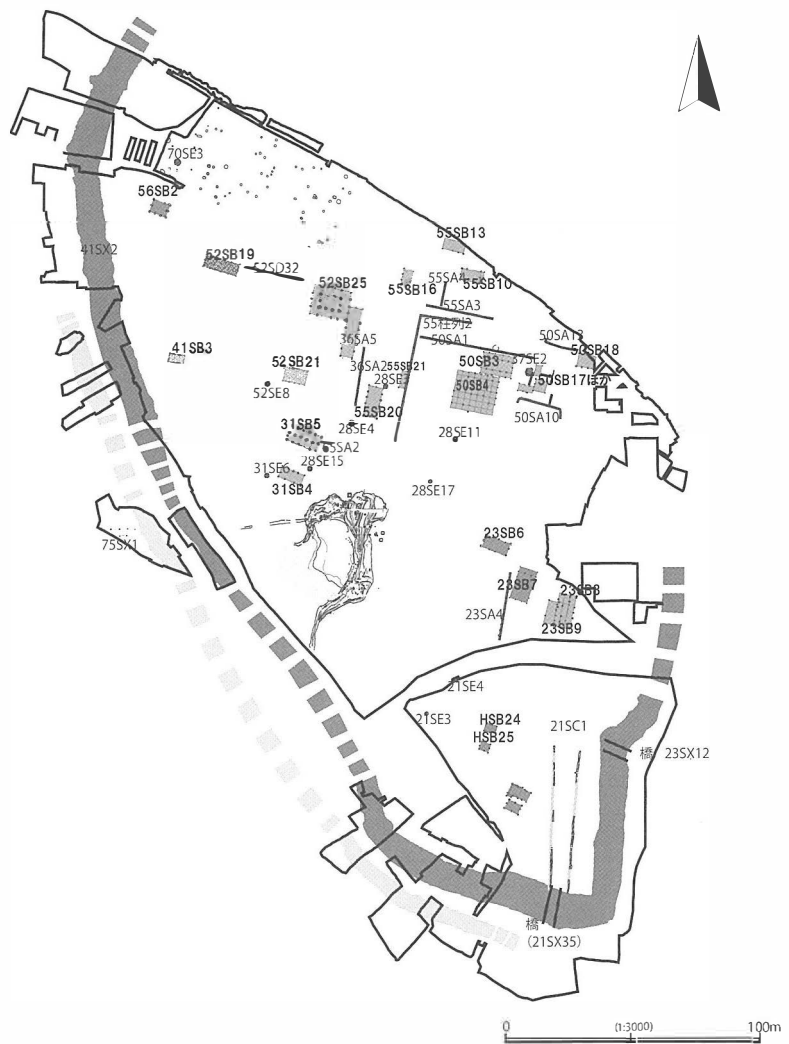


図316 柳之御所遺跡の遺構変遷【Ⅲ期】

両側で、それぞれ大型の建物が所存する点も注目しておきたい。

52SB25の周囲では建物や堀、溝が散見され、区画された空間内の可能性も考えられるが、確定が難しい。またこれらより北側などにも建物等が分布する。このほか、23SG1池跡の北西側にあたる31SB4や総柱構造で倉庫としての機能が推察できる31SB5をこの時期に想定した。55SX2はこの段階の早い時期には埋め戻されたと考えられる。また、遺跡外にあたるが、近接して無量光院が造営されるが、位置関係から関係が想起される75SX1はこの段階に想定した。

ただし、この時期と想定した遺構の全てが遺跡の廃絶時まで機能したことを示すものではない。

手づくねかわらけを中心に多くの土器が出土する。多くの文字資料も出土する。なお、土器変遷では概ねⅢ段階とした12世紀後半（第3四半期後半1170年前後～1189年頃）とみている。

### 第3節 まとめと課題

#### （1）平泉遺跡群における柳之御所遺跡堀内部地区

##### ①柳之御所遺跡堀内部地区の概要と各時期の様相

ここまで柳之御所遺跡の調査成果について検討してきた。ここで各時期の遺構概要とそれぞれでの遺物の特徴を対応させてまとめる。既述のとおり、各期の中でも微細な変化が想定されるもので、全ての要素が各期の当初に完成するものではない。

##### 【Ⅰ期】

**遺構の概要** 堀による区画が行われ、堀内部の範囲の利用が始まる。内部の建物はやや散漫な傾向を示すが、遺跡の中央からやや北側に多くみられる。一方で遺跡の南側では遺構・遺物ともに寡少な傾向が看取できる。

**遺物の概要** かわらけが出土するものの、出土遺構は多くなく分布も比較的まとまる。ロクロかわらけに限定され、手づくねかわらけが入る場合にも細片など極めて少量が含まれるのみである。これらはこの期の中で後出の可能性はある。なお、出土瓦のうち、古相を示す資料はこのうち後半段階にあたる可能性が高い。

**堀内部の様相** やや建物分布は散漫なもの、大規模な建物が確認できる（55SB5・55SB6）。また、堀による区画の初現と捉えられる。堀の区画もⅠ期の中で現れる（55柱列1）。これらの遺構の様相とかわらけの一括性の高い出土からは、遺物の出土量は後続する時期に比して限定的なものの、儀礼などを伴う遺跡利用の開始が考えられる。遺構と遺物の分布は遺跡内の中央付近からやや北側にかけて多く分布する。利用範囲が後代に比して限定的と捉えられる。

大型の建物の存在や儀礼的な利用の開始の想定からは、遺跡の機能開始と合わせて、拠点的な性格をもったことが考えられる。遺跡の機能が遺跡規模に対応するとした場合には、拠点的な性格を想定できるものの、後代に比べてやや限定的なものであることも考えられる。その評価については、奥州藤原氏に関わる歴史的事象との関連も考慮に入れる必要がある。

##### 【Ⅱ期】

**遺構の概要** 外側の堀によって全体が囲繞される。北側の土橋、南側の橋の想定により平泉拠点区域との物理的連結が明らかである。堀内部に園池が造営されるとともに、堀による区画が確認できる。



堀の内部には四面庇掘立柱建物が所在する。また、園池には西方向を向く橋が架かる。堀に囲繞された区域の全域に遺構・遺物が分布する。

**遺物の概要** かわらけが多く出土し、国産・輸入の陶磁器類も多くなる。瓦が出土する。紡織具の多くはこの時期の資料であろうか。手づくねかわらけが現出する。

**堀内部の様相** 堀による区画の内部に、さらに堀に囲まれた区画がある(23SA1・28SA1)。堀の内部を中心に、規格的な四面庇建物群(28SB1・28SB2・28SB3・28SB4)と多量の遺物から拠点空間としてのあり方が顕著になる。園池の造営からは空間の性格が変化もしくは儀礼空間としての性格がより強くなるなどの変化が想起できる。また、21SC1道路跡がこの時期には想定できるほか、52SC1道路の存在も想定される。

遺物では井戸跡からの紡織具がこの時期に比定できるほか、手工業生産関連の遺物も増加する。行政的機能を推察させる文字資料の出土もみられる。

これらから堀内部全体が一体として機能しながら、堀等の区画による空間の分節が理解できる。堀に区画された範囲では、四面庇で規格性の高い建物群や園池がある。井戸跡も複数みられ、そこからの多量の土器類は儀礼が想起される。また、手工業生産資料が多く、紡織具などがこの時期に見込まれることから、遺跡内で手工業も行われたことがわかる。文字資料なども鑑みると、堀内部において行政機能や儀礼といった行政府としてのあり方が想定できる。また、堀内部の空間全体として捉えた場合には手工業などを行う空間があわせて機能したとみられる。

### 【Ⅲ期】

**遺構の概要** 内側の堀が構築される。外側の堀は部分的に埋め戻されるほか、南端部では盛土整地が行われる。園池は造り替えられる。四面庇建物と重複して、大型建物群の分布範囲が確認できる。

**遺物の概要** 手づくねかわらけを中心に多くの土器が出土する。多くの文字資料も出土する。

**堀内部の様相** 改修された大規模な堀(内側の堀)による区画の内部に、さらに堀に囲まれた区画が想定できる。堀の内部を中心に大型の建物(50SB4)や四面庇建物(52SB25)が構築される。堀・道路による分節と、規格的な建物跡などからは拠点空間としてのあり方が継続する。建物分布の拡張などからは中心域の拡張と捉えることも可能であろうが、遺跡の機能面での変化などの想定も可能である。園池の造り替えがあるほか、大規模な堀への改修もあり、拠点空間としての性格の継続と強化が想起される。また、倉庫と推察される総柱の建物(31SB5)が確認できる。21SC1道路跡はこの段階も継続して機能したとみられる。

手工業生産関連の遺物も漆工などを中心に継続して出土が確認できる。土器類の一括性の高い出土状況や文字資料の出土を合わせると、遺跡内での行政的な機能が想定でき、前代からの行政機能をもつ施設としてのあり方が一定程度継続したと考えられる。

また、遺跡外にあたるが、近接して無量光院が造営される。猫間ヶ淵周辺における75SX1なども注目できるほか、前代の正方位を中心とする建物群から東へと傾く軸方位への変化も無量光院や周辺の街区との関係を含めて注目できる。

### ②平泉遺跡群における柳之御所遺跡の素描

各時期の遺構をまとめてきたが、平泉の拠点的な範囲での概要との対応を確認しておきたい。なお、ここでは現在の平泉町中心部にあたる北を衣川、南を太田川、東を北上川で囲まれる範囲を拠点的な範囲として措定して記載する。衣川北岸や北上川東岸など同時期の遺跡が分布する範囲があるも

の、調査成果の濃淡や遺構・遺物分布の様相から、今後の検討を要する範囲と捉えておきたい。

#### 【～I期】(図317)

柳之御所遺跡堀内部は、高館の位置する丘陵から南東側に傾斜する段丘上に立地する。西側は猫間ヶ淵の低地帯で画される。東側は範囲は判然としないものの、68次調査などから現在の北上川流路へと下る斜面地で低地の様相だったと考えられる。北側は北上川によって削られてしまい、当時の地形は残存していない。堀跡の走向方向などからは楕円形状に東側に延びる段丘だったと推察できる。

堀内部として利用される範囲は、遺構検出面などからは南東側へと傾斜する緩やかな傾斜地と推測できる。低地へと落ちる端部で傾斜が急になるものの、全体に緩やかな傾斜で、特に後に23SG1池跡や規格性の強い建物が構築される位置は緩斜面と推測できる。また、北側の55SB5建物や55SB6建物が構築される位置は、堀内部では標高が比較的高い位置にあたる。柳之御所遺跡の占地にも関わろうが、遺跡南側の現在の一関市方面への眺望が開けるとともに、遺跡北側にあたる現在の奥州市方向などへの眺望も開けていた可能性が高い。

#### 【I期】(図318)

12世紀前半には平泉でも遺物の分布が限定的で、まとまって確認できるのは柳之御所遺跡と中尊寺の2つにはほぼ限定される。このほかには生産遺跡(花立II遺跡)のほか土器類や瓦などの遺物が散見される位置があるものの、分布は限定的である。

柳之御所遺跡では、大溝(56SD40)に架かる土橋(56SX1)など、遺構の面からも両者の関係が示唆される。外側の堀の土橋(79SX1)も外側の堀の構築がどこまで遡るかは課題が残る



図317 柳之御所遺跡(～I期)



図318 平泉における柳之御所遺跡(1)

が、堀の構築当初から存在する。外側の堀などによる囲繞が確認できるほか、大型の建物も分布するなど、後代へと継続する遺跡の主たる要素が確認され始める。遺物の分布状況や遺構などからは当時の平泉において、柳之御所遺跡堀内部に拠点機能が想定できようが、堀内部の遺構も後代より散漫な分布傾向が窺える。これらの分布傾向が機能面などと結びつくのであれば、限定的な機能をもつ拠点の可能性も想起される。I期とした時間幅の中での機能の充実も想定されるが、遺構面からの細分は難しい。

### 【II期】

12世紀中葉以降、平泉の街区を構成する道路などが造られる。志羅山遺跡や泉屋遺跡などで確認されてきた道路跡は構築年代などの検討も必要だが、12世紀中葉前後に構築され始めるとみられる。柳之御所遺跡内と遺跡外が道路によって関連し、堀外部も含めた利用が明確になる。

この段階で堀内部地区では外側の堀が継続するほか、規格的な建物や園池跡などが存在する。文字資料の出土などもあり、政治行政の拠点と評価できる。遺跡内容が充実すると把握できることから機能の拡充が窺える。前代からの拠点的な性格が継続し、それがより拡充されたと捉えておきたい。外側の堀に架かる南端部の橋や北西端の土橋は、中尊寺や平泉の街区と遺跡との関係を示す遺構であろう。空間的な位置関係では、柳之御所遺跡の園池に架かる橋が、延長方向に金鶏山などがある真西方向を向くことも留意される。また、遺跡内の大型の建物が南北棟で構成されることや、南北正方位に近いことは毛越寺などの軸方位とも類似し、平泉の街区やその空間の整備との時期的対応が推察される。

手づくねかわらけの導入といった事象と、奥州藤原氏に関連する歴史的な事象（陸奥守への藤原基成の補任など）も含め、遺跡内のみならず周辺も含めた変化が推定される時期である。今後、細かい変化の把握とこれらの対応の把握をふまえた歴史的な評価が課題となろう。

### 【III期】(図319)

12世紀後半に無量光院が柳之御所遺跡に近接して造営される。無量光院と柳之御所遺跡を結ぶ位置では、真西を向く橋状の掘立柱建物が確認されている。無量光院との間に位置する施設は無量光院との関連を示すが、さらに西方向に位置する金鶏山との関係も注目される。この時期には高館の利用も明確になり、堀内部から堀外部・高館までが関連をもって機能したと推察できる。

堀内部の施設も充実し、文字資料からも政治行政の拠点の機能の継続が想定される。大規模な堀への改修や大型の建物群と堀による区画は遺跡の評価の上で重要である。また、

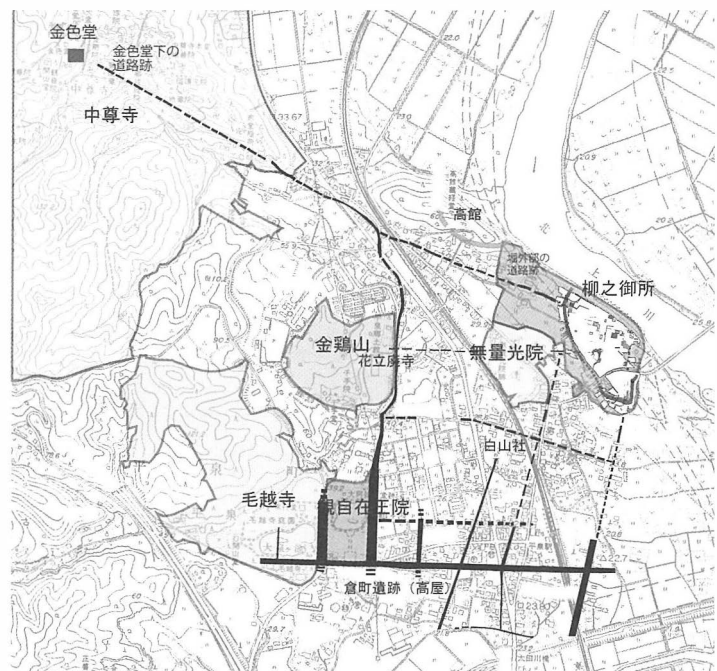


図319 平泉における柳之御所遺跡（2）

倉庫と見られる遺構の存在も留意すべき特徴である。内側の堀に架かる橋などもあり、街区や無量光院などとの関係が明確となる。無量光院の調査も進展しており、堀内部地区と無量光院など周囲との詳細な時期などの検討が課題となる。一方で堀の改修のほか、堀内部の建物群の配置や構造に変化がみられることから、遺跡の機能などにも変化が推察できる。これらの事象と藤原秀衡の当主期における対外的地位（鎮守府将軍や陸奥守への就任）といった歴史的事象との関連などが検討課題となる。

柳之御所遺跡の性格 なお、Ⅲ期とした段階が『吾妻鏡』文治5年の各条に記載される平泉の様相と捉えられる。例えば、文治5年9月17日条の「寺塔已下注文」に記される平泉の各施設と対応が可能であれば、この段階の遺構が中心となろう。この中では藤原秀衡の宿館が「平泉館」として記され、藤原秀衡・泰衡の常居所が「加羅御所」として記される。「宿館」の語義と、それにあたる「平泉館」の内実は研究史の中で論じられてきた課題であるが、Ⅱ章で既述したとおり、「平泉館」について行政機能をもつ政治の中心としての理解が大方の了解を得られている。

ここで再度、『吾妻鏡』に記載される「平泉館」について確認しておきたい。平泉内の諸施設が記載された「寺塔已下注文」には中尊寺、毛越寺などの寺院と並んで、宿館の存在が記される。金色堂の正方、無量光院の北に宿館があることが記される。また、文治5年8月22日条では、文治5年8月21日条で藤原泰衡方により火を放たれ焼亡した平泉館の様相が記される。これらが実態をどの程度記したものかは不明だが記載内容からは、一定の範囲をもつ区画であることや、南西の角に倉が置かれていたことなどが窺える。このほか、文治5年9月14日条からは、平泉館に陸奥・出羽両国の省帳田文が置かれていたこともわかる。遺跡の同時代史料として、「平泉館」の具体的な内容を示す史料である。

研究史の詳細は繰り返さないが、文献史料の研究成果や文字資料の検討から柳之御所遺跡を「平泉館」にあてる見解が示されてきた（齊藤1992ほか）。文献の理解については議論が尽くされてきているが（入間田2013）、その中で出土資料から読み取れる特徴も指摘されてきた。いくつかを例示し、付加できる内容や見解があればそれを記す。①遺跡の位置関係として金色堂の正方に位置し、無量光院と位置関係などから柳之御所遺跡周辺が想定できる。この理解は多くで一致する見解である。②「人々給絹日記」（埋-2272）は人名の比定やその背景に意見が分かれる部分はあるものの、いくつかの人名に藤原秀衡の子息たちをあてる見解は大方の支持が得られている（入間田2013、大石2010、岡田2006ほか）。行政的な文字資料とは性格を異にするが、饗宴儀礼の存在やその内実を示す資料として位置づけられる。人名への奥州藤原氏の一族の比定も、遺跡の性格を評価する上で重要な内容である。出土遺構は土器群の評価やその年代的な位置づけがやや難しい遺構でもあるが、本遺跡の出土文字資料では遺跡の性格のみならず屹立した内容をもつ重要な資料であり、今後も十分な検討が必要と考えられる。③文献に記載された「倉廩」の記載と、柱配置などから倉庫と考えられる31SB5との関連が想起されてきた。既述のとおり、遺構情報からは31SB5に「倉庫」としての性格が想定できる。文献上の記載施設と一遺構を比定することは難しいが、12世紀後半段階で遺跡内に倉庫と推察される遺構が存在することは遺跡を理解する上で重要な特徴であろう。

このほか、本報告書でここまで記してきた柳之御所遺跡堀内部地区の考古学的な特徴をいくつか挙げておきたい。①文字資料が多く出土する。宴会儀礼との関連が想起される資料のほか、行政的な機能との関係が強い資料（銅印（50-5003）や題籤軸（75-501）などを含む。②各時期で膨大な遺物が出土し、特に饗宴儀礼との関係が強い土器や折敷などの食膳具類は遺跡内に多く出土し集中する傾向がある。③大規模な堀に囲繞され、その区域は100年間の遺跡の機能時を通じて概ね維持される。堀によって外部と一定程度区画された空間が形成され、かつ維持されたこととなる。④遺跡内には規格性の高い掘立柱建物が分布し、規模からも平泉の中で各時期において優位な施設が所在する場所と

捉えられる。これらの特徴は12世紀後半代にあたるⅢ期とした段階でも当てはまるほか、その前代からも継続して把握可能である。これらの主に発掘調査で得られてきた考古学的情報から評価した場合には、平泉の拠点域でも重要な機能と性格をもった存在であったことが理解できる。また、占地面积も参考にしうる指標として付加しておきたい。平泉の中心域で平坦な範囲として面的な広がりをもつ範囲（ここでは高館、花立廃寺、毛越寺、国衡館、志羅山遺跡、泉屋遺跡、伽羅之御所跡、柳之御所遺跡を結んだ範囲を指定する）はおおよそ100万㎡ほどにあたる。そのうちには低地帯などの範囲も多く、平坦な地形が広く確保できる場所は決して多くないことが、現況の区画整理以前の状況から窺うことができる（本澤1993）。柳之御所遺跡が位置する段丘面は堀内部とした範囲が約65,000㎡程、堀内部地区と堀外部で11万㎡程になる。定量的な評価は難しいが、堀の内部は大きな平坦地としての面積を占める範囲と把握できよう。

「平泉館」が示す具体によっても評価はわかれようが、ここでは通説どおり政治の中心として理解する。平泉の既往の調査成果の中では柳之御所遺跡堀内部地区が各種の考古学的事象がまとまって優位に確認できる範囲と捉えられる。上記の特徴による評価が可能であれば、この範囲に行政的機能を指定することが可能であり、柳之御所遺跡堀内部地区を「平泉館」とする見方に一定の妥当性を与えられよう。また、この評価は上述の文献史料等の検討によりこれまで指摘されてきた遺跡の性格への理解とも矛盾しないと思われる。

なお、遺構変遷から理解できるように遺跡には100年間の存続期間があり、各段階においても微細な時間幅は存在しうる。それぞれの時期における遺跡の機能や奥州藤原氏の実態との対応や各時期の政治拠点の機能や名称といった課題が残る。また、各時期を通して堀内部地区は堀による区画により機能の分化が想定されるが、それらの詳細な位置づけも課題となる。通時的にみると、堀の区画範囲は概ね継続するが、堀の内部の各時期において堀による区画が存在するものの、その範囲は一定ではない。ここでは堀内部地区が一体として機能したと想定できることを重視し、堀内部地区を「平泉館」とする見方の妥当性を指摘した。遺跡や考古資料と文献上の施設名称との対照にはいくつかの前提となる事項が存在し、なお一定の距離が残ることは留意されるべきでもある。

各時期の様相で記したとおり、12世紀後半代のみでなくそれ以前の時期についても、柳之御所遺跡堀内部が当時の平泉において拠点施設として機能した範囲と評価できるであろうことを付記しておきたい。特に、12世紀代を通してそうした評価が可能であろうことは遺跡の位置づけとして重要である。

【Ⅲ期～】12世紀末以降、13世紀代とみられる資料は柳之御所遺跡堀内部では基本的に確認されていない。個別の遺物等が含まれる可能性は完全には排除できないほか、小規模な人為的な営為はありうるものの、それまでのような遺跡範囲の利用は基本的に停止されたとみられる。位置によっては炭化物を含む包含層に含まれる12世紀代の多量の土器などから、廃絶後の遺跡内の状況が推察される。なお、平泉においては志羅山遺跡などで、この段階での遺構や遺物が確認されており、奥州藤原氏滅亡後に鎌倉方が平泉を治めた際の主たる利用範囲は花立Ⅱ遺跡などの周囲に求められている。

その後、近世段階で舟運に際して利用されることはI章で記したとおりである。

## （2）まとめと課題

最後に、本報告書の成果をまとめる。検討すべき課題も多く残るがそれらのうち遺跡やその評価に関わる代表的なものを課題として記し、本報告書のまとめと課題とする。

### ○まとめ

柳之御所遺跡は現在、史跡柳之御所・平泉遺跡群として約10.8万㎡が史跡指定されている。本書の対象とした堀内部は約65,500㎡にあたる。そのうち、これまでの調査では46,500㎡程が調査されてきた。単純な各次での調査面積の合計は69,800㎡ほどになるが、調査範囲には重複も多い。

本書は柳之御所遺跡のうち、堀に囲まれた堀内部地区の内容確認調査の内容をまとめたものである。本書で記してきた内容の概要を以下に列記する。

- ・遺跡は堀で囲繞される。堀による区画と、区画される範囲は堀の変化や内部の遺構変遷を内包しながら、自然地形による段丘上に12世紀代を通して概ね維持される。
- ・遺跡内の変遷は解決が難しい部分もあるものの、12世紀代を通してそれぞれの時期に中心的な機能を推察させる建物と塀等による区域がある。その位置や区域は時期的な変化が想定できるが、いずれの時期においても主要な位置が堀内部地区に想定できることとなろう。
- ・遺構の特徴や文字資料から、柳之御所遺跡堀内部地区が行政的な機能をもつことが推察できる。
- ・12世紀代を通して遺跡が拠点的な性格をもつとみられ、遺物の様相からは行政府としての機能とその継続を想定できる。また、12世紀後半代における柳之御所遺跡堀内部地区は、文献上にみえる「平泉館」にあたる可能性が高い。

### ○調査研究の課題

柳之御所遺跡の調査研究には様々な分野から取り組まれている。それぞれの学問分野からの課題もあるが、ここでは本報告書の内容に関わる部分を中心に列記する。

- ・遺物の時期的な出土量の変化の詳細な検討が課題である。遺物変遷と対応させた定量的な検討は編年的な位置づけが不十分もしくは困難な遺物もあり、今後の課題である。
- ・遺構期区分において、上記の遺物検討を含め、各時期の様相やそこから想定される各期の具体的な機能には更なる検討が求められる。
- ・平泉における柳之御所遺跡の位置づけには不十分な点が残る。拠点域と目される志羅山遺跡や泉屋遺跡などの道路跡や周辺遺構との時期的な対応、隣接する無量光院跡やその下層の遺構を含めた時期変遷との詳細な対応が今後の課題である。
- ・柳之御所遺跡堀内部地区と近接する堀外部の変遷や意義付けは遺跡理解にも重要な内容を含むことが推察される。周辺遺跡の理解とともに、今後の重要な課題である。

今後の継続的な調査や蓄積されてきた資料のさらなる検討を課題として挙げておきたい。また、奥州藤原氏が拠点とした平泉や政治支配上の、東北地方及び列島内における位置づけや歴史的な理解はこれらと合わせて、継続的に取り組むべき学術的な課題である。

柳之御所遺跡の保存とその後の調査整備は、I章やII章で概略を記したようにさまざまな経緯を経て多くの人々の尽力を受けて続けられてきたものである。現在、堀内部地区が史跡公園として整備されているが、学術的な検討の継続と多分野を交えた更なる研究の発展やこれまで蓄積されてきた多くの成果や資産の更なる保全と活用が望まれる。

## 参考・引用文献

- 愛知県史編さん委員会2012『愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 常滑系』
- 相原康二2014「文学に表れた平泉文化の基礎的研究(その2)」『岩手大学平泉文化研究センター年報』第2集 pp.150-186
- 青森県史編さん古代部会2001『青森県史 資料編 古代1 文献史料』
- 青森県史編さん古代部会2008『青森県史 資料編 古代2 出土文字資料』
- 井上雅孝2010「平泉かわらけの系譜と成立」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.156-185
- 井上雅孝2016「陸奥・出羽の土器」『中世武士と土器』高志書院 pp.188-213
- 入間田宣夫1990「平泉柳之御所跡出土の折敷墨書を読む」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XI pp.88-96
- 入間田宣夫1991「平泉館はベースキャンプだった」『歴史手帖』19-7 pp.12-15
- 入間田宣夫1997「平泉柳之御所跡出土の折敷墨書を読む(続)」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XVII pp.66-69
- 入間田宣夫1998『中世武士団の自己認識』三弥井書店
- 入間田宣夫2013『平泉の政治と仏教』高志書院
- 岩田重雄1994「柳之御所跡の尺度」『計量史研究』16-1 pp.59-61
- 岩手県教育委員会ほか2014『日本都市史のなかの平泉 資料集』
- 岩手県教育委員会ほか2015『アジア都市史における平泉 資料集』
- 岩手県教育委員会2017a「柳之御所遺跡」『奥州藤原氏が構想した理想世界』平成28年度「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究集会報告書 pp.3-10
- 岩手県教育委員会2017b「柳之御所遺跡」『奥州藤原氏が構想した理想世界 資料集』 pp.7-36
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995『志羅山遺跡第14・25次発掘調査報告書』岩埋文第216集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1997『泉屋遺跡第10・11・13・15次発掘調査報告書』岩埋文第247集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000『志羅山遺跡第46・66・74次発掘調査報告書』岩埋文第312集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000『志羅山遺跡発掘調査報告書(第47・56・67・73・80次調査)』岩埋文第352集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001『泉屋遺跡第16・19・21次発掘調査報告書』岩埋文第399集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002『里遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財発掘調査報告書第383集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2003『本町Ⅱ遺跡第二次発掘調査報告書』岩埋文第410集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2008『六日市場・細田・接待館遺跡発掘調査報告書』岩埋文第523集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2008『岩手を掘る-いわて発掘30年-』
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2015『無量光院跡第26次・花立Ⅰ遺跡第30次・花立Ⅱ遺跡第24次発掘調査報告書』岩埋文第631集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2016『伽羅之御所跡第22・23次発掘調査報告書』岩埋文第648集
- 岩手県立博物館1998『考古Ⅳ 小田島コレクション その3』岩手県立博物館収蔵資料目録第14集
- 上原真人2001「秀衡の持仏堂」『京都大学文学部研究紀要』第40号 pp.69-135
- 江谷 寛1993「平安京出土瓦から見た平泉出土瓦の年代」『古代文化』45-9 pp.37-46
- 及川 司・杉沢昭太郎2003「陸奥北部1-岩手県-」『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院 pp.37-48
- 及川 司2012「中尊寺境内の遺跡調査」『中尊寺仏教文化研究所論集』第3号 pp.2-26
- 大石直正1991「平泉館と柳之御所跡」『歴史手帖』第19巻7号 pp.16-21
- 大石直正2000『奥州藤原氏の時代』吉川弘文館
- 大石直正2010「人々給絹日記」を読み直す」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.4-29
- 大庭康時ほか編2008『中世都市・博多を掘る』海鳥社
- 岡陽一郎・阿部勝則・小岩弘明・時田里志・七海雅人・平田光彦2012「平泉出土文字資料の再検討 その1」『平泉文化研究年報』第12号 pp.17-24
- 岡陽一郎・阿部勝則・小岩弘明・時田里志・七海雅人・平田光彦2013「平泉出土文字資料の再検討 その2」『平泉文化研究年報』第13号 pp.67-73
- 岡田清一2006「奥州藤原氏の奥羽支配」『鎌倉幕府と東国』続群書類従刊行会
- 小田裕樹2016「盤上遊技「橋蒲」の基礎的研究」『考古学研究』63-1 pp.63-84
- 鎌倉市教育委員会1996『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告12 平成七年度調査報告第二分冊』

- 鎌田 勉1994「柳之御所跡出土瓦からの一考察」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XIV pp.61-94
- 鎌田 勉2006「柳之御所遺跡出土瓦についての再検討」『岩手県立博物館研究報告』第23号 pp.35-63
- 鎌田 勉2009「柳之御所遺跡の祭祀遺構について(1)」『岩手県立博物館研究報告』第26号 pp.55-64
- 菅野成寛2007「平泉都市構造の再検討」『平泉・衣川と京・福原』高志書院 pp.155-191
- 久保智康2010「中世前期の鏡作り」『兵たちの生活文化』高志書院 pp.74-101
- 古代学協会1994『平安京提要』角川書店
- 斉藤利男1992『平泉 よみがえる中世都市』岩波新書
- 斉藤利男2014『平泉 北方王国の夢』講談社選書メチエ
- 櫻井友梓2012「柳之御所遺跡出土の滑石製石鍋」『岩手考古学』第23号 pp.93-102
- 櫻井友梓2014「平泉出土の下駄の変遷と特質」『岩手考古学』第25号 pp.47-62
- 櫻井友梓2016「柳之御所遺跡における箸の特徴とその意義」『岩手考古学』第27号 pp.37-48
- 櫻井友梓2016「折敷の資料的履歴」『歴史』第126輯 pp.146-161
- 櫻井友梓2017「柳之御所遺跡の木器椀」『岩手考古学』第28号 pp.19-34
- 佐藤嘉広2000「柳之御所遺跡の暦年代」『山形考古』第6巻4号 pp.193-202
- 佐藤嘉広2005「柳之御所遺跡出土かわらけの年代推定」『岩手考古学』第17号 pp.61-74
- 杉沢昭太郎2003「岩手県平泉で出土した産地不明の輸入陶器」『貿易陶磁研究』第23号 pp.1-8
- 杉山 洋2002「平泉周辺出土の和鏡について」『里遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第383集
- 多賀城市教育委員会1983『市川橋遺跡』多賀城市文化財調査報告書第4集
- 高橋富雄1958『奥州藤原氏四代』吉川弘文館
- 高橋富雄・三浦謙一・入間田宣夫1993『図説 奥州藤原氏と平泉』河出書房新社
- 太宰府市教育委員会2000『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』
- 中世土器研究会1995『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社
- 東北大学東北文化研究会1959『奥州藤原史料』吉川弘文館
- 東北中世考古学会2003『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院
- 徳留大輔2018「平泉出土中国産陶磁器について」『考古学ジャーナル』719 pp.20-24
- 富島義幸2004「平泉柳之御所遺跡出土部材にもとづく板葺屋根の復元考察」『建築史学』第43号 pp.159-180
- 富島義幸2006「平泉柳之御所遺跡の建築についての一考察」『平泉文化研究年報』第6号 pp.1-10
- 中井淳史2011『日本中世土師器の研究』中央公論美術出版社
- 仲田茂司1999「平泉・柳之御所跡の復元試案」『考古学に学ぶ』同志社大学考古学シリーズVII pp.667-678
- 奈良国立文化財研究所1985『木器集成図録 近畿古代篇』奈良国立文化財研究所史料第27冊
- 西澤正晴2007「柳之御所遺跡調査の現段階」『平泉・衣川と京・福原』高志書院 pp.95-104
- 野中奈津子2005「柳之御所付近の沖積地の河川氾濫と河道痕跡の検出」『平泉文化研究年報』第5号 pp.37-44
- 羽柴直人1996「近世の「柳之御所跡」について」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XVI pp.25-56
- 羽柴直人2000「平泉御蔵場についての考察」『館研究』第2号 pp.21-34
- 羽柴直人2001「平泉遺跡群のロクロかわらけについて」『岩手考古学』第13号 pp.41-62
- 羽柴直人2002「平泉の道路と都市構造の変遷」『平泉の世界』高志書院 pp.155-178
- 羽柴直人2004「柳之御所遺跡の変遷」『国立歴史民俗博物館研究報告』第118集 pp.219-251
- 羽柴直人2011『東日本初期武家政権の考古学的研究』総合研究大学院大学博士論文
- 平泉郷土館1988『平泉の古絵図』
- 平泉遺跡群調査事務所(佐藤嘉広・岩淵計・西澤正晴・千葉正彦)2009「柳之御所遺跡堀内部地区の建物復元(中間報告 その5)」『平泉文化研究年報』第9号 pp.63-74
- 平泉文化研究会編1992『奥州藤原氏と平泉』吉川弘文館
- 平泉文化研究会編1993『日本史の中の平泉』吉川弘文館
- 平泉町文化財センター2000『柳之御所資料館常設展示図録』
- 平泉町文化財センター2000『遺跡が語る平泉文化』柳之御所資料館第1回特別展図録
- 平泉町教育委員会1993「志羅山遺跡第21次」『平泉遺跡群発掘調査報告書』岩手県平泉町文化財調査報告書第34集(以下、平文とのみ略す)
- 平泉町教育委員会1994『特別史跡中尊寺境内金剛院発掘調査報告書』平文第53集
- 平泉町教育委員会1995『志羅山遺跡第31・32・37次発掘調査報告書』平文第49集



- 平泉町教育委員会1995『志羅山遺跡第35次発掘調査報告書』平文第51集
- 平泉町教育委員会2004『倉町遺跡第4次発掘調査報告書』平文第88集
- 平泉町教育委員会2007『倉町遺跡第7・8・9・10次発掘調査報告書』平文第104集
- 平泉町教育委員会2009『平泉遺跡群発掘調査報告書』平文第110集
- 平泉町教育委員会2018『無量光院跡XIV』平文第129集
- 平泉町史編纂委員会1985『平泉町史 史料編一』平泉町
- 平泉町史編纂委員会1988『平泉町史 総説・論説編』平泉町
- 平泉町史編纂委員会1993『平泉町史 史料編二』平泉町
- 平泉町・平泉町教育委員会2006『特別史跡無量光院跡 史跡柳之御所・平泉遺跡群 史跡金鶏山 史跡達谷窟 保存管理計画書』平文第102集
- 平川 南2014『律令国郡里制の実像』下 吉川弘文館
- 福島県教育委員会1997『常磐自動車道遺跡調査報告11 大猿田遺跡』福島県文化財調査報告書第341集
- 藤島亥治郎監修1980『平泉 中尊寺・毛越寺の全容』川島印刷株式会社
- 藤島亥治郎1981『発掘された平泉 夢のあと』岩手日報社
- 藤島亥治郎編著1995『平泉建築文化研究』吉川弘文館
- 藤沼邦彦1992「石巻市水沼窯跡の再検討と平泉藤原氏」『石巻の歴史』第六巻 特別史編pp.363-419
- 文化財保護委員会1954『無量光院跡』
- 本澤慎輔1993「12世紀平泉の都市景観の復元」『古代文化』45-9 pp.31-36
- 本澤慎輔2000「平泉出土の瓦」『瓦からみた平泉文化』pp.3-22
- 前川佳代2000「平泉の都市プラン」『寧楽史苑』45号 pp.54-84
- 前川佳代2007「『聖地』平泉」『平泉文化研究年報』第7号 pp.15-30
- 前川佳代2015「12世紀平泉の暮らし」『平泉文化研究年報』第15号 pp.21-33
- 松本建速1993「柳之御所跡かわらけ編年試案」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XII pp.53-79
- 松本建速1998「柳之御所遺跡出土遺構の変遷とその性質」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』XVIII pp.81-90
- 松本秀明・熊谷真樹2011「平泉とその周辺地域の河成地形形成についての自然地理学的研究Ⅰ」『平泉文化研究年報』第11号 pp.19-26
- 三浦謙一1990「柳之御所跡出土の木製品」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』X pp.27-45
- 宮本長二郎2008「柳之御所遺跡の建築」『季刊東北学』第16号 pp.122-133
- 八重樫忠郎1996「輸入陶磁器から見た柳之御所跡」『中近世土器の基礎研究』XI pp.5-21
- 八重樫忠郎2001「中世前期の時間軸としての遺物」『平泉文化研究年報』第1号 pp.37-46
- 八重樫忠郎2015『北のつわもの都 平泉』新泉社
- 八重樫忠郎2016「発掘された平泉」『平泉の光芒』吉川弘文館 pp.98-134
- 八木光則2001「奥六郡安倍氏から奥州藤原氏へ」『平泉の世界』高志書院 pp.87-111
- 八木光則2016「北奥における12世紀の居館と居宅」『岩手大学平泉文化研究センター年報』VOL.4 pp.1-24
- 矢崎靖子1964「岩手県平泉中尊寺伝大池址周辺遺蹟出土瓦について」『物質文化』第3号 pp.59-74
- 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・杉沢昭太郎・大関真人・佐藤淳一）2005「柳之御所遺跡中心域における遺構の変遷（中間報告）」『平泉文化研究年報』第5号 pp.45-54
- 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・杉沢昭太郎・大関真人・吉田充）2006「柳之御所遺跡中心域における遺構の変遷（中間報告 その2）」『平泉文化研究年報』第6号 pp.49-60
- 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・西澤正晴・大関真人・吉田充）2007「柳之御所遺跡の検討（中間報告 その3）」『平泉文化研究年報』第7号 pp.57-68
- 柳之御所遺跡調査事務所（佐藤嘉広・西澤正晴・吉田充・岩淵計）2008「柳之御所遺跡堀内内部地区の遺構変遷（中間報告 その4）」『平泉文化研究年報』第8号 pp.65-75
- 柳原敏昭編2015『平泉の光芒』東北の中世史1 吉川弘文館
- 横手市教育委員会2009『大鳥井山遺跡-第9次・第10次・第11次調査-』横手市文化財調査報告第12集
- 横手市教育委員会2016『金沢柵推定地 陣館遺跡』横手市文化財調査報告第38集
- 吉田 欽2014『日中古代都城と中世都市平泉』汲古書院
- 渡辺 誠 1993「柳之御所跡出土の御簾編み用錘について」『古代世界の諸相』pp.412-421

※柳之御所遺跡に係る発掘調査報告書については例言及びII章に記載し、ここでは省略する。

表74 掲載遺物一覧

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (出掲載番号)
31	1	かわらけ	ロクロ大	21SD2	D層	11.8	6.2	4.6	69-135・69Rok56
31	2	かわらけ	手づくね小	21SD2	F層	8.0	-	1.7	69-158・69Rok110
31	3	かわらけ	ロクロ大	21SD2	F層	14.1	7.3	3.2	69-150・69Rok102
31	4	かわらけ	ロクロ大	21SD2	F層	14.1	7.4	3.7	69-151・69Rok104
31	5	かわらけ	ロクロ大	21SD2	F層	13.8	7.4	4.7	69-152・69Rok105
31	6	かわらけ	ロクロ大	21SD2	F層	13.3	7.4	3.3	69-153・69Rok106
31	7	かわらけ	手づくね大	21SD2	F層	12.6	-	2.5	69-177・69Rok107
31	8	かわらけ	手づくね大	21SD2	F層	13.9	-	3.3	69-178・69Rok108
31	9	かわらけ	手づくね大	21SD2	F層	14.4	-	-	69-179・69Rok109
31	10	かわらけ	ロクロ大	21SD2	14層	(13.0)	(6.6)	3.1	76-860・76Rok56
31	11	かわらけ	ロクロ大	21SD2	埋土下部	-	-	-	77-386・77Rok182
32	12	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	8.0	6.1	2.3	69-123・69Rok61
32	13	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	8.6	5.7	1.5	69-124・69Rok75
32	14	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	9.0	6.5	1.9	69-125・69Rok76
32	15	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	8.5	6.5	1.6	69-126・69Rok77
32	16	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	7.8	5.4	1.7	69-127・69Rok78
32	17	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	7.4	4.5	1.8	69-128・69Rok79
32	18	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	8.3	6.1	1.7	69-129・69Rok80
32	19	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	8.1	5.8	1.8	69-131・69Rok82
32	20	かわらけ	ロクロ小	21SD2 (69SX3)	C層	7.2	5.7	1.9	69-132・69Rok83
32	21	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	12.9	6.4	3.1	69-136・69Rok57
32	22	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	13.2	7.9	3.7	69-137・69Rok58
32	23	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	13.6	7.4	4.0	69-138・69Rok59
32	24	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	12.5	7.7	3.5	69-139・69Rok64
32	25	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	12.3	6.5	3.1	69-140・69Rok65
32	26	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	12.9	7.0	3.3	69-141・69Rok66
32	27	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	13.2	(7.0)	3.3	69-142・69Rok67
32	28	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	(11.8)	6.9	3.1	69-144・69Rok69
32	29	かわらけ	ロクロ大	21SD2 (69SX3)	C層	14.3	8.4	2.7	69-145・69Rok70
32	30	かわらけ	ロクロ大	21SD2	F層	14.1	7.3	3.2	69-150・69Rok102
32	31	かわらけ	手づくね小	21SD2 (69SX3)	C層	8.3	-	1.6	69-154・69Rok98
32	32	かわらけ	手づくね小	21SD2 (69SX3)	C層	8.7	-	2.1	69-155・69Rok99
32	33	かわらけ	手づくね小	21SD2 (69SX3)	C層	8.6	-	2.1	69-156・69Rok100
32	34	かわらけ	手づくね ?	21SD2 (69SX3)	C層	-	-	-	69-157・69Rok101
32	35	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.3	-	2.6	69-160・69Rok60
32	36	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	15.1	-	3.3	69-161・69Rok62
32	37	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.1	-	3.0	69-162・69Rok63
32	38	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	12.9	-	3.1	69-163・69Rok85
32	39	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.0	-	3.0	69-164・69Rok86
32	40	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.8	-	3.0	69-167・69Rok89
32	41	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.8	-	3.0	69-168・69Rok90
32	42	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	12.1	-	2.4	69-169・69Rok91
32	43	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.9	-	2.1	69-172・69Rok94
32	44	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	13.6	-	3.0	69-174・69Rok96
32	45	かわらけ	手づくね大	21SD2 (69SX3)	C層	12.4	-	2.5	69-175・69Rok97
32	46	かわらけ	手づくね大	21SD2	F層	13.6	-	2.9	69-176・69Rok103
33	47	かわらけ	手づくね大	21SD2	D層	12.9	-	2.8	69-159・69Rok55
33	48	かわらけ	手づくね大	21SX4	埋土上位	13.3	-	3.0	69-194・69Rok111
33	49	かわらけ	ロクロ小	21SX4	D層	7.9	6.0	1.7	70-12・70Rok68
33	50	かわらけ	ロクロ小	21SX4	D層	8.5	5.7	1.9	70-13・70Rok69
33	51	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	(8.8)	-	1.9	70-14・70Rok70
33	52	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	8.8	-	1.7	70-15・70Rok71
33	53	かわらけ	手づくね小	21SX4	D層	9.0	-	1.7	70-16・70Rok75
33	54	かわらけ	手づくね大	21SX4	D層	13.3	-	3.0	70-17・70Rok76
33	55	かわらけ	ロクロ小	21SD2	11~12	(8.9)	(6.2)	1.3	76-865・76Rok46
33	56	かわらけ	ロクロ大	21SD2	11~12	(13.2)	(6.6)	3.0	76-863・76Rok35
33	57	かわらけ	ロクロ大	21SD2	11~12	(11.1)	(5.5)	2.9	76-864・76Rok45
33	58	かわらけ	手づくね小	21SD2	11~12	8.8	-	1.7	76-880・76Rok33
33	59	かわらけ	手づくね小	21SD2	11~12	(8.9)	-	1.5	76-881・76Rok39
33	60	かわらけ	手づくね小	21SD2	11~12	8.8	-	1.6	76-882・76Rok42
33	61	かわらけ	手づくね大	21SD2	11~12	(13.9)	-	2.8	76-866・76Rok30
33	62	かわらけ	手づくね大	21SD2	11~12	(14.0)	-	2.7	76-871・76Rok38
33	63	かわらけ	手づくね大	21SD2	11~12	15.8	-	2.9	76-872・76Rok40
33	64	かわらけ	手づくね大	21SD2	11~12	(11.0)	-	2.3	76-873・76Rok41
33	65	かわらけ	ロクロ小	21SD2	9~10	8.4	6.0	1.3	76-885・76Rok21
33	66	かわらけ	ロクロ小	21SD2	9~10	6.6	(4.7)	1.9	76-886・76Rok13
33	67	かわらけ	ロクロ大	21SD2	9~10	(12.4)	(6.6)	2.8	76-883・76Rok18
33	68	かわらけ	ロクロ大	21SD2	9~10	(13.2)	(7.6)	4.2	76-884・76Rok19
33	69	かわらけ	手づくね小	21SD2	9~10	7.0	-	1.8	76-901・76Rok8
33	70	かわらけ	手づくね小	21SD2	9~10	(8.6)	-	1.5	76-902・76Rok17
33	71	かわらけ	手づくね小	21SD2	9~10	9.2	-	1.6	76-904・76Rok23
33	72	かわらけ	手づくね大	21SD2	9~10	(12.5)	-	2.8	76-890・76Rok5
33	73	かわらけ	手づくね小	21SD2	9~10	(14.0)	-	2.5	76-888・76Rok3
33	74	かわらけ	手づくね大	21SD2	9~10	12.8	-	2.6	76-889・76Rok4
33	75	かわらけ	手づくね大	21SD2	9~10	14.0	-	2.7	76-898・76Rok16
33	76	かわらけ	ロクロ大	整地層	A~B層	13.4	7.3	3.4	69-199・69Rok113

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
33	77	かわらけ	手づくね大	整地層	A～B層	14.4	—	3.4	69-200・69ROK114
33	78	かわらけ	手づくね大	整地層	A～B層	14.7	—	3.6	69-201・69ROK115
33	79	かわらけ	ロクロ小	88-112	B層	(8.2)	(6.4)	1.4	70-18・70ROk86
33	80	かわらけ	手づくね小	88-112	B層	8.9	—	1.8	70-19・70ROk88
33	81	かわらけ	手づくね大	86-112	B層	13.0	—	2.8	70-20・70ROk138
34	82	かわらけ	ロクロ小	21SD2	埋土一插	(8.6)	(6.1)	(1.6)	77-417・77ROk184
34	83	かわらけ	ロクロ小	21SD2	埋土上部	(7.7)	(6.4)	1.6	77-418・77ROk185
34	84	かわらけ	ロクロ大	21SD2	NO.7	(14.0)	(7.0)	(3.6)	77-415・77ROk179
34	85	かわらけ	手づくね小	21SD2	埋土上	(8.8)	—	1.5	77-397・77ROk210
34	86	かわらけ	手づくね大	21SD2	埋土上	(12.0)	—	2.3	77-389・77ROk189
34	87	かわらけ	手づくね大	21SD2	埋土上	(13.8)	—	2.8	77-390・77ROk190
34	88	かわらけ	手づくね大	21SD2	埋土上	(12.0)	—	2.3	77-392・77ROk192
34	89	かわらけ	手づくね大	21SD2	埋土上	(11.9)	—	2.6	77-394・77ROk207
34	90	かわらけ	手づくね大	21SD2	NO.3	14.1	—	2.6	77-427・77ROk199
34	91	かわらけ	手づくね大	21SD2	NO.6	(13.8)	—	(2.7)	77-429・77ROk201
34	92	白磁	四耳壺	21SD2		—	7.8	(21.7)	77-448・ROg-027
34	93	かわらけ	ロクロ大	21SD2	8	(14.0)	(7.5)	3.0	76-905・76ROk29
34	94	かわらけ	ロクロ大	21SD2	8	(13.3)	(7.9)	3.5	76-906・76ROk57
34	95	かわらけ	手づくね小	21SD2	8	(8.1)	—	1.4	76-914・76ROk28
34	96	かわらけ	手づくね小	21SD2	8	(7.8)	—	1.3	76-915・76ROk52
34	97	かわらけ	手づくね大	21SD2	8	13.2	—	2.6	76-908・76ROk24
34	98	かわらけ	手づくね大	21SD2	8	(12.7)	—	2.2	76-909・76ROk27
34	99	かわらけ	手づくね大	21SD2	8	(14.2)	—	(3.3)	76-910・76ROk51
34	100	かわらけ	手づくね大	21SD2	8	(14.0)	—	2.6	76-911・76ROk53
34	101	かわらけ	手づくね大	21SD2	7	(14.0)	—	2.6	76-912・76ROk25
34	102	かわらけ	ロクロ小	21SD2	—	9.0	5.8	1.5	21次調査
34	103	かわらけ	手づくね小	21SD2	—	9.2	—	2.1	21次調査
34	104	かわらけ	ロクロ小	21SD2	—	9.2	7.0	1.9	21次調査
34	105	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.8	—	2.4	21次調査
34	106	かわらけ	ロクロ大	21SD2	—	14.4	8.2	3.4	21次調査
34	107	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	14.2	7.1	3.2	21次調査
34	108	かわらけ	ロクロ大	21SD2	—	12.4	7.6	4.0	21次調査
34	109	かわらけ	ロクロ大	21SD2	—	13.0	7.2	3.5	21次調査
34	110	かわらけ	ロクロ大	21SD2	—	13.0	6.2	3.3	21次調査
34	111	かわらけ	ロクロ大	21SD2	—	14.8	10.0	3.3	21次調査
34	112	かわらけ	手づくね小	21SD2	—	10.0	—	2.8	21次調査
34	113	かわらけ	手づくね小	21SD2	—	9.0	—	1.9	21次調査
34	114	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.2	—	3.2	21次調査
34	115	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	14.6	—	2.7	21次調査
34	116	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.0	—	2.2	21次調査
34	117	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	12.0	—	2.7	21次調査
34	118	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.0	—	3.2	21次調査
34	119	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.0	—	2.6	21次調査
34	120	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.6	—	2.6	21次調査
34	121	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	12.8	—	3.0	21次調査
34	122	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	13.6	—	2.8	21次調査
34	123	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	12.8	—	2.5	21次調査
34	124	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	12.0	—	2.2	21次調査
34	125	かわらけ	手づくね大	21SD2	—	14.0	—	2.7	21次調査
35	126	木製品	墨書木簡	21SD2	F層	5.9	2.4	0.6	69-240・69RW32
35	127	木製品	漆製品(柄カ)	21SD2	F層	10.0	4.2	0.9	69-347・69RW10
35	128	木製品	形代(包丁型)	21SD2	F層	29.6	6.7	0.6	69-255・69RW95
35	129	木製品	漆製品(折敷片)	21SD2	F層	10.9	5.9	0.6	69-348・69RW83
35	130	木製品	漆器碗	21SD2	F層	16.3	7.8	5.9	69-338・69RW22
35	131	木製品	杵	SD2	20	72.0	15.0	—	76-993・69RW1
35	132	木製品	墨書木簡	21SD2	C～F層	13.5	2.1	0.2	69-239・69RW122
35	133	木製品	糸巻(横木)	21SD2(69SX3)	C～F層	9.5	2.1	0.9	69-257・69RW12
35	134	木製品	糸巻(杵)	21SD2(69SX3)	C層	22.7	2.1	1.5	69-258・69RW20
35	135	木製品	不明(機織具カ)	21SD2(69SX3)	C層	29.3	2.6	1.1	69-261・69RW42
35	136	木製品	折敷片	21SD2(69SX3)	C層	19.5	11.7	0.5	69-290・69RW72
35	137	木製品	飾具(花卉形)	21SD2(69SX3)	C層	5.2	5.1	0.5	69-250・69RW21
35	138	木製品	曲げ物	21SD2(69SX3)	C層	23.6	6.9	0.7	69-242・69RW94
35	139	木製品	脚	21SD1	10・11・14層	31.2	3.0	2.9	69-262・69RW29
35	140	木製品	脚	21SD2(69SX3)	C層	30.4	7.5	0.5	69-293・69RW87
35	141	木製品	折敷片	21SD2(69SX3)	C層	31.3	9.8	0.4	69-294・69RW88
35	142	木製品	漆器碗	21SD2(69SX3)	C層	(18.6)	—	5.0	69-339・69RW3
35	143	木製品	漆下駄カ	21SD2(69SX3)	C層	6.4	8.6	1.2	69-345・69RW43
35	144	木製品	漆容器	21SD2(69SX3)	C層	23.9	7.6	1.1	69-343・69RW1
35	145	木製品	下駄歯	21SD2(69SX3)	C層	7.7	12.2	3.0	69-344・69RW9
35	146	木製品	橋部材	21SD2(69SX3)	C層	87.0	19.0	14.7	69-351・
35	147	木製品	橋部材	21SD2(69SX3)	C層	76.3	17.8	19.3	69-352・
35	148	木製品	橋部材	21SD2(69SX3)	C層	159.0	18.0	17.5	69-355・
35	149	木製品	橋部材	21SD2(69SX3)	C層	160.0	21.9	21.4	69-356・
46	1	かわらけ	ロクロ小	21SD1	5・12・13層	9.6	6.6	2.0	69-2・69ROk26
46	2	かわらけ	ロクロ小	21SD1	10・11・14層	8.8	6.4	1.6	69-3・69ROk27
46	3	かわらけ	ロクロ大	21SD1	10・11・14層	(12.0)	(6.6)	3.2	69-9・69ROk25
46	4	かわらけ	手づくね小	21SD1	3層	8.8	—	1.6	69-11・69ROk3
46	5	かわらけ	手づくね小	21SD1	10・11・14層	9.5	—	2.0	69-14・69ROk43

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (田堀裁番号)
46	6	かわらけ	手づくね小	21SD1	10・11・14層	8.5	—	2.0	69-15・69ROk44
46	7	かわらけ	手づくね小	21SD1	10・11・14層	8.8	—	1.9	69-16・69ROk45
46	8	かわらけ	手づくね小	21SD1	底面	8.2	—	2.1	69-20・69ROk53
46	9	かわらけ	手づくね大	21SD1	10・11・14層	14.0	—	2.6	69-39・69ROk30
46	10	かわらけ	手づくね大	21SD1	10・11・14層	14.2	—	2.5	69-40・69ROk31
46	11	かわらけ	手づくね大	21SD1	10・11・14層	13.8	—	3.2	69-41・69ROk32
46	12	かわらけ	手づくね大	21SD1	10・11・14層	12.7	—	2.7	69-43・69ROk34
46	13	かわらけ	手づくね大	21SD1	10・11・14層	12.2	—	2.8	69-44・69ROk35
46	14	かわらけ	手づくね大	21SD1	底面	14.7	—	3.2	69-51・69ROk49
46	15	かわらけ	手づくね大	21SD1	底面	12.8	—	2.4	69-52・69ROk50
46	16	かわらけ	ロクロ小	21SD1	19-20	8.5	6.4	1.7	77-4・77ROk8
46	17	かわらけ	ロクロ小	21SD1	19-20	8.8	6.4	1.6	77-5・77ROk109
46	18	かわらけ	ロクロ大	21SD1	19-20	—	—	3.4	77-1・77ROk7
46	19	かわらけ	ロクロ大	21SD1	19-20	12.1	7.1	3.4	77-2・77ROk64
46	20	かわらけ	ロクロ大	21SD1	18	—	6.0	1.9	77-3・77ROk65
46	21	かわらけ	手づくね小	21SD1	19-20	8.5	—	2.2	77-16・77ROk45
46	22	かわらけ	手づくね小	21SD1	19-20	7.8	—	1.7	77-17・77ROk47
46	23	かわらけ	手づくね小	21SD1	18	—	—	1.9	77-18・77ROk106
46	24	かわらけ	手づくね大	21SD1	18	—	—	2.1	77-15・77ROk103
46	25	かわらけ	手づくね大	21SD1	19-20	13.7	—	2.6	77-7・77ROk23
46	26	かわらけ	手づくね大	21SD1	19-20	13.7	—	2.1	77-8・77ROk24
46	27	かわらけ	手づくね大	21SD1	19-20	12.1	—	2.0	77-9・77ROk25
46	28	かわらけ	手づくね大	21SD1	19-20	13.5	—	2.0	77-10・77ROk26
46	29	かわらけ	手づくね大	21SD1	19-20	13.6	—	2.2	77-13・77ROk87
46	30	かわらけ	ロクロ大	21SD1	D9	14.8	7.6	3.1	76-2・76ROk142
46	31	かわらけ	ロクロ大	21SD1	D9	14.0	8.0	3.8	76-3・76ROk171
46	32	かわらけ	手づくね小	21SD1	D4	8.8	—	2.2	76-26・76ROk162
46	33	かわらけ	手づくね小	21SD1	D4	9.0	—	1.8	76-27・76ROk177
46	34	かわらけ	手づくね小	21SD1	D6	9.5	—	2.2	76-28・76ROk157
46	35	かわらけ	手づくね大	21SD1	D4	12.2	—	2.7	76-4・76ROk163
46	36	かわらけ	手づくね大	21SD1	D4	12.8	—	2.6	76-6・76ROk165
46	37	かわらけ	手づくね大	21SD1	D4	15.5	—	2.7	76-5・76ROk164
46	38	かわらけ	手づくね大	21SD1	D4	14.4	—	3.3	76-9・76ROk185
46	39	かわらけ	手づくね大	21SD1	D6	12.0	—	2.6	76-16・76ROk159
46	40	かわらけ	手づくね大	21SD1	D9	14.1	—	2.6	76-20・76ROk145
46	41	かわらけ	手づくね大	21SD1	D9	13.7	—	3.0	76-21・76ROk172
46	42	かわらけ	肉折れ	21SD1	D9	—	—	0.8	76-31・76ROk183
46	43	かわらけ	ロクロ大	21SD1	25層	—	—	—	78-1・78Rok20
46	44	かわらけ	ロクロ大	21SD1	25層	—	6.4	—	78-2・78Rok21
46	45	かわらけ	手づくね小	21SD1	25層	(8.8)	—	(1.3)	78-3・78Rok9
46	46	かわらけ	手づくね大	21SD1	25層	(13.7)	—	2.2	78-4・78Rok18
46	47	かわらけ	ロクロ小	21SD1	20層	(9.2)	6.2	1.6	78-6・78Rok8
46	48	かわらけ	ロクロ大	21SD1	20層	13.2	(6.3)	3.4	78-7・78Rok6
46	49	かわらけ	手づくね小	21SD1	20層	9.4	—	1.8	78-8・78Rok7
46	50	かわらけ	手づくね大	21SD1	20層	13.4	—	(2.4)	78-9・78Rok2
46	51	かわらけ	手づくね大	21SD1	20層	13.7	—	2.9	78-10・78Rok3
46	52	かわらけ	手づくね大	21SD1	20層	(15.6)	—	3.6	78-11・78Rok4
46	53	かわらけ	手づくね大	21SD1	20層	(13.6)	—	(2.6)	78-12・78Rok5
46	54	かわらけ	ロクロ小	21SD1		8.8	(6.0)	1.5	78-363・78Rok170
46	55	かわらけ	手づくね小	21SD1	19層下面	8.8	—	1.7	78-367・78Rok174
46	56	かわらけ	手づくね大	21SD1	19層下面	12.4	—	2.6	78-371・78Rok176
47	57	かわらけ	ロクロ小	21SD1	①-⑧	9.6	6.4	1.8	76-86・76ROk123
47	58	かわらけ	ロクロ小	21SD1	①-⑧	9.6	6.6	1.8	76-57・76ROk125
47	59	かわらけ	ロクロ小	21SD1	①-⑧	8.8	6.0	1.5	76-58・76ROk116
47	60	かわらけ	ロクロ小	21SD1	①-⑧	9.0	6.6	1.8	76-59・76ROk119
47	61	かわらけ	ロクロ大	21SD1	①-⑧	12.7	7.2	3.6	76-46・76ROk112
47	62	かわらけ	ロクロ大	21SD1	①-⑧	14.0	8.6	3.1	76-48・76ROk122
47	63	かわらけ	ロクロ大	21SD1	①-⑧	10.6	6.0	2.7	76-49・76ROk124
47	64	かわらけ	ロクロ大	21SD1	①-⑧	11.2	5.8	3.3	76-50・76ROk108
47	65	かわらけ	手づくね小	21SD1	⑩-⑮	7.5	—	1.6	76-91・76ROk101
47	66	かわらけ	手づくね小	21SD1	①-⑧	7.8	—	1.6	76-92・76ROk120
47	67	かわらけ	手づくね小	21SD1	①-⑧	(8.9)	—	1.8	76-87・76ROk100
47	68	かわらけ	手づくね小	21SD1	①-⑧	8.8	—	1.7	76-88・76ROk109
47	69	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	13.0	—	2.9	76-65・76ROk94
47	70	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	13.2	—	2.3	76-66・76ROk107
47	71	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	12.1	—	2.4	76-70・76ROk117
47	72	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	9.8	—	2.0	76-73・76ROk128
47	73	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	12.8	—	2.6	76-75・76ROk130
47	74	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	13.0	—	3.0	76-77・76ROk132
47	75	かわらけ	手づくね大	21SD1	①-⑧	13.5	—	3.2	76-80・76ROk196
47	76	かわらけ	ロクロ小	21SD1	11・12層	(8.8)	(6.4)	1.8	78-238・78Rok74
47	77	かわらけ	ロクロ小	21SD1	11・12層	8.3	5.7	1.5	78-239・78Rok150
47	78	かわらけ	ロクロ小	21SD1	11・12層	(9)	(6.8)	(1.9)	78-240・78Rok67
47	79	かわらけ	ロクロ大	21SD1	11・12層	(12.3)	(6.5)	(3.0)	78-241・78Rok71
47	80	かわらけ	ロクロ大	21SD1	11・12層	13.1	7.2	3.3	78-242・78Rok73
47	81	かわらけ	手づくね小	21SD1	11・12層	(7.8)	—	2.1	78-243・78Rok66
47	82	かわらけ	手づくね小	21SD1	11・12層	(8.7)	—	(2.2)	78-244・78Rok70
47	83	かわらけ	手づくね大	21SD1	11・12層	(13.7)	—	(2.9)	78-245・78Rok68

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
47	84	かわらけ	手づくね大	21SD1	11・12層	(13.8)	—	(2.5)	78-246・78Rok69
47	85	かわらけ	手づくね大	21SD1	11・12層	(14.6)	—	(3.1)	78-247・78Rok72
47	86	かわらけ	ロクロ小	21SD1	B4~B6	(8.4)	5.6	2.1	76-130・76Rok175
47	87	かわらけ	ロクロ小	21SD1	B6	8.6	6.8	1.9	76-131・76Rok231
47	88	かわらけ	ロクロ大	21SD1	B4	(14.2)	(8.0)	3.6	76-115・76Rok211
47	89	かわらけ	ロクロ大	21SD1	B4~B5	13.4	6.7	3.3	76-119・76Rok203
47	90	かわらけ	ロクロ大	21SD1	B6	(13.6)	(8.0)	3.4	76-122・76Rok271
47	91	かわらけ	ロクロ大	21SD1	B7・B8・D5	13.2	6.2	3.4	76-128・76Rok147
47	92	かわらけ	手づくね小	21SD1	B4	8.5	—	1.8	76-210・76Rok194
47	93	かわらけ	手づくね小	21SD1	B4	7.3	—	1.3	76-211・76Rok241
47	94	かわらけ	手づくね大	21SD1	B6	(11.6)	—	2.0	76-209・76Rok274
47	95	かわらけ	手づくね小	21SD1	B4~B5	8.0	—	1.6	76-215・76Rok224
47	96	かわらけ	手づくね小	21SD1	B7	9.0	—	1.3	76-226・76Rok152
47	97	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4	(14.6)	—	2.2	76-139・76Rok215
47	98	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4	13.2	—	2.6	76-143・76Rok254
47	99	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4~B5	12.5	—	3.3	76-146・76Rok207
47	100	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4~B5	12.4	—	2.8	76-147・76Rok208
47	101	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4~B5	(13.6)	—	2.6	76-151・76Rok220
47	102	かわらけ	手づくね大	21SD1	B4~B5	(14.0)	—	2.8	76-150・76Rok219
47	103	かわらけ	手づくね大	21SD1	B5	(15.4)	—	2.7	76-174・76Rok249
47	104	かわらけ	肉折れ	21SD1	B4~B6	7.6	—	1.3	76-230・76Rok176
47	105	かわらけ	ロクロ小	21SD1	10-14	(8.8)	(6.1)	1.9	77-72・77Rok66
47	106	かわらけ	ロクロ小	21SD1	10	(8.3)	(6.4)	1.5	77-73・77Rok111
47	107	かわらけ	ロクロ大	21SD1	10-14	(13.3)	(7.2)	3.5	77-67・77Rok59
47	108	かわらけ	ロクロ大	21SD1	10-14	(13.4)	7.2	3.3	77-68・77Rok60
47	109	かわらけ	ロクロ大	21SD1	10-14	(13.7)	(7.4)	3.4	77-69・77Rok61
47	110	かわらけ	手づくね小	21SD1	14	(7.4)	—	(1.9)	77-126・77Rok44
47	111	かわらけ	手づくね小	21SD1	10-14	(8.7)	—	1.6	77-128・77Rok95
47	112	かわらけ	手づくね大	21SD1	10-14	(15.2)	—	3.4	77-74・77Rok67
47	113	かわらけ	手づくね大	21SD1	10-14	(13.2)	—	3.1	77-104・77Rok75
47	114	かわらけ	手づくね大	21SD1	10	(15.2)	—	2.8	77-125・77Rok149
47	115	かわらけ	手づくね大	21SD1	10-14	(12.8)	—	2.7	77-108・77Rok79
47	116	かわらけ	手づくね大	21SD1	10-14	(12.6)	—	3.1	77-111・77Rok82
47	117	かわらけ	手づくね大	21SD1	10-14	(13.6)	—	2.9	77-107・77Rok78
47	118	かわらけ	手づくね大	21SD1	10	(13.0)	—	3.0	77-123・77Rok136
52	1	かわらけ	ロクロ小	T4 56SD39	15層	9.0	5.7	2.3	56-104
52	2	かわらけ	ロクロ	T4 56SD39	13~22層	—	5.0	(2.9)	56-103
52	3	かわらけ	ロクロ大	T2 箱間	X層	15.4	6.8	4.1	56-95
52	4	かわらけ	ロクロ大	T2 SD38~39の間	整地層	13.4	7.6	3.1	56-96
52	5	かわらけ	ロクロ大	T4	排土中	13.8	6.2	3.3	56-101
52	6	かわらけ	ロクロ大	T4 56SD39	埋土	14.0	7.6	3.8	56-102
52	7	かわらけ	手づくね小	T4 56SD39	2~34層	(7.8)	—	1.8	56-97
52	8	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	22,23層	14.4	—	3.0	56-92
52	9	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	39層	13.5	—	2.8	56-93
52	10	かわらけ	手づくね大	T2 56SD39	13層	(14.0)	—	2.9	56-98
52	11	かわらけ	ロクロ小	56SD38	27層	8.4	4.5	2.0	56-81
52	12	かわらけ	ロクロ小	T1 56SD38	埋土	9.2	7.4	1.7	56-85
52	13	かわらけ	柱状高台	56SD38	埋土	—	7.4	—	56-83
52	14	かわらけ	ロクロ大	56SD38	27層	15.6	7.8	3.5	56-79
52	15	かわらけ	ロクロ大	56SD38	14層	14.3	5.9	3.6	56-80
52	16	かわらけ	ロクロ大	56SD38	27層	14.2	7.6	4.0	56-81
52	17	かわらけ	ロクロ大	56SD38	28層	14.6	5.5	3.9	56-82
52	18	かわらけ	手づくね小	56SD38	27層	9.0	—	2.0	56-77
52	19	かわらけ	手づくね小	T2 56SD38	3層	(9.2)	—	1.9	56-74
52	20	かわらけ	手づくね大	56SD38	27層	14.1	—	3.1	56-73
52	21	かわらけ	手づくね大	56SD38	27層	13.9	—	3.0	56-75
52	22	かわらけ	手づくね大	56SD38	28層	13.8	—	2.8	56-76
53	1	木製品	漆椀	72SD2 6グリッド+E309	E1~E5	—	8.2	—	75-592・75RW008
53	2	木製品	漆椀	72SD2 2-3ベルト	E9~E10	15.8	8.0	5.7	75-601・75RW005
53	3	木製品	漆椀	72SD2 2-3グリッド	E9~E10	—	8.6	1.7	75-602・75RW335
53	4	木製品	下駄	72SD2	E9~E10	22.9	11.9	3.8	75-599・75RW435
53	5	木製品	箸	72SD2 2-3ベルト	E9~E10	18.7	0.5	0.4	75-605・75RW148
53	6	木製品	箸	72SD2 2-3ベルト	E9~E10	15.7	0.6	0.3	75-606・75RW149
53	7	木製品	鍬	56SD38	28層	21.4	14.0	2.3	56-4044
53	8	木製品	杓子形木製品	56SD39 T2	13層	31.4	13.7	0.5	56-4054
53	9	木製品	ちゅう木	56SD39	13層	22.5	5.5	0.5	56-4103
53	10	木製品	不明	56SD39 T4	14・15層	9.4	14.9	2.0	56-4095
53	11	木製品	折敷(底板・縁)	56SD39 T4	14・15層	39.0	26.0	2.4	56-4109
53	12	木製品	題籤軸	72SD1	10・15層	12.9	1.4	0.3	75-501・75RW446
53	13	木製品	鞘	72SD1	10・15層	26.9	3.3	1.1	75-503・75RW368
53	14	木製品	漆塗り下駄	72SD1	16層	13.5	18.2	2.7	75-516・75RW002
53	15	木製品	杭	72SD2	16層	5.0	7.0	—	75-535・75RW132

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (田掲載番号)
53	16	木製品	漆碗	72SD2	16層	-	7.8	-	75-517・75RW004
53	17	木製品	漆塗り下駄	72SD2	16層	13.2	18.5	3.0	75-513・75RW001
60	1	かわらけ	ロクロ小	72SD2 5	No.1	8.4	6.3	1.8	72-189・72ROk25
60	2	かわらけ	ロクロ小	72SD2 5	10層	8.4	1.8	3.4	72-190・72ROk30
60	3	かわらけ	ロクロ小	72SD2 5	10層	(8.4)	(4.5)	2.2	72-192・72ROk28
60	4	かわらけ	ロクロ大	72SD2 5	1層	(14.0)	(7.0)	(3.3)	72-193・72ROk27
60	5	かわらけ	ロクロ大	72SD2 5	1層	13.8	7.4	3.1	72-194・72ROk36
60	6	かわらけ	ロクロ大	72SD2 5	10層	(12.5)	(7.5)	3.5	72-195・72ROk39
60	7	かわらけ	手づくね小	72SD2 5	1層	(7.9)	-	1.3	72-196・72ROk32
60	8	かわらけ	手づくね小	72SD2 5	9~12層	8.3	-	1.5	72-197・72ROk37
60	9	かわらけ	手づくね小	72SD2 5	10層	8.9	-	1.6	72-198・72ROk38
60	10	かわらけ	手づくね大	72SD2 5	10層	14.6	-	2.9	72-203・72ROk29
60	11	かわらけ	手づくね大	72SD2 5	1層	14.8	-	3.0	72-204・72ROk31
60	12	かわらけ	手づくね大	72SD2 5	15層	14.7	-	2.7	72-206・72ROk41
60	13	かわらけ	内折れ	72SD2 5	9・10層	-	-	(1.3)	72-201・72ROk34
60	14	陶産陶器	山茶碗	72SD2 5	底面直上	-	6.9	(3.9)	72-207・72ROt151
60	15	かわらけ	ロクロ小	72SD2 10	23・27層	8.8	6.7	1.7	73-60・73ROk146
60	16	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	16・17層	11.0	8.6	1.8	73-61・73ROk147
60	17	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	23・27層	12.6	4.3	6.4	73-63・73ROk149
60	18	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	28層直上No.1	14.0	6.5	4.6	73-64・73ROk150
60	19	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	14・18層	14.6	7.0	4.2	73-65・73ROk151
60	20	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	23・27層	14.4	8.0	4.3	73-66・73ROk152
60	21	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	28層直上No.1	14.3	6.8	3.9	73-67・73ROk153
60	22	かわらけ	手づくね小	72SD2 10	2層	8.0	-	1.6	73-69・73ROk155
60	23	かわらけ	手づくね大	72SD2 10	清掃中	13.4	-	2.8	73-70・73ROk157
60	24	かわらけ	ロクロ小	72SD2 9	10層	9.6	6.8	1.8	74-193・74ROk202
60	25	かわらけ	ロクロ小	72SD2 9	12層	8.8	6.0	1.8	74-194・74ROk213
60	26	かわらけ	ロクロ大	72SD2 9	13・14層	14.0	7.0	3.3	74-197・74ROk205
60	27	かわらけ	ロクロ大	72SD2 9	10層	(13.2)	7.4	3.7	74-198・74ROk200
60	28	かわらけ	手づくね小	72SD2 9	10層	8.8	-	1.7	74-199・74ROk203
60	29	かわらけ	手づくね小	72SD2 9	10層	9.7	-	1.8	74-200・74ROk201
60	30	かわらけ	手づくね小	72SD2 9	13・14層	9.4	-	2.0	74-202・74ROk207
60	31	かわらけ	手づくね大	72SD2 9	12層	(13.9)	-	2.9	74-207・74ROk210
60	32	かわらけ	手づくね大	72SD2 9	12層	13.6	-	2.4	74-208・74ROk211
60	33	かわらけ	手づくね大	72SD2 9	12層	14.3	-	2.8	74-209・74ROk212
60	34	かわらけ	柱状高台	72SD2 10	21層	-	-	-	74-215・74ROk230
60	35	かわらけ	ロクロ小	72SD2 10	7層	9.4	6.2	2.2	74-216・74ROk217
60	36	かわらけ	ロクロ小	72SD2 10	8層	(8.6)	5.8	1.8	74-217・74ROk214
60	37	かわらけ	ロクロ小	72SD2 10	14層	(8.0)	(5.6)	1.6	74-218・74ROk216
60	38	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	16層	(13.9)	7.0	3.7	74-222・74ROk219
60	39	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	22層	(13.0)	6.2	4.1	74-225・74ROk227
60	40	かわらけ	ロクロ大	72SD2 10	22層	(13.4)	6.0	3.7	74-224・74ROk226
60	41	かわらけ	手づくね小	72SD2 10	16層	(9.3)	-	1.6	74-229・74ROk220
60	42	かわらけ	手づくね小	72SD2 10	16層	(8.8)	-	1.2	74-230・74ROk221
60	43	かわらけ	手づくね大	72SD2 10	16層	(13.2)	-	3.0	74-232・74ROk218
60	44	かわらけ	手づくね大	72SD2 10	21層	(14.6)	9.0	3.4	74-233・74ROk229
60	45	かわらけ	ロクロ小	72SD2 2区	暗褐色土 (No.8直下)	9.4	6.2	1.7	73-113・73ROk1
60	46	かわらけ	ロクロ小	72SD2 2区	砂層	8.7	5.7	1.9	73-114・73ROk57
60	47	かわらけ	ロクロ小	72SD2 2区	砂層	9.0	6.3	2.1	73-115・73ROk58
60	48	かわらけ	ロクロ小	72SD2 2区	砂層	-	5.7	1.6	73-116・73ROk59
60	49	かわらけ	ロクロ大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1)	14.0	7.6	3.5	73-120・73ROk2
60	50	かわらけ	ロクロ大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1・11周辺)	13.5	7.0	3.3	73-121・73ROk3
60	51	かわらけ	ロクロ大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.7)	14.0	7.0	3.4	73-122・73ROk4
60	52	かわらけ	ロクロ大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.6)	13.2	7.0	3.8	73-123・73ROk5
60	53	かわらけ	ロクロ大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.7)	15.2	9.6	3.3	73-124・73ROk6
60	54	かわらけ	手づくね小	72SD2 2区	砂層、暗褐色土 (No.1直下、No.11)	9.4	-	1.7	73-147・73ROk19
60	55	かわらけ	手づくね小	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1直下、No.11)	8.8	-	2.1	73-148・73ROk20
60	56	かわらけ	手づくね小	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1直下、No.3・4・11)	9.4	-	2.1	73-149・73ROk21
60	57	かわらけ	手づくね小	72SD2 2区	砂層、暗褐色土 (No.11)	9.4	-	1.8	73-150・73ROk22
60	58	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	砂層、暗褐色土 (No.1)	13.9	-	2.8	73-170・73ROk30
60	59	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1直下、No.4・11)	14.0	-	2.3	73-171・73ROk31
60	60	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.1直下、No.11)	14.4	-	2.4	73-172・73ROk32
60	61	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.5)	12.4	-	2.8	73-173・73ROk34
60	62	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.4・11)	14.7	-	3.2	73-174・73ROk33
60	63	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.5直下)	13.7	-	2.8	73-175・73ROk35

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
60	64	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	砂層、暗褐色土 (No.1直下、No.9・11)	14.4	—	3.0	73-176・73ROk36
60	65	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	No.1直下、No.11、 中央暗褐色土	13.8	—	3.0	73-177・73ROk37
60	66	かわらけ	手づくね大	72SD2 2区	暗褐色土 (No.8)	14.6	—	2.8	73-178・73ROk38
63	1	かわらけ	ロクロ	72SD1 ㊸	41層 東、42層	—	4.2	—	74-180・74ROk186
63	2	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	37.41層 西	—	4.4	—	74-181・74ROk181
63	3	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	37.41層 西	8.2	4.4	2.1	74-184・74ROk183
63	4	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	37層	8.6	6.6	2.0	74-185・74ROk178
63	5	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	37層	8.6	5.7	2.0	74-186・74ROk179
63	6	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	41層	7.9	4.1	1.9	74-187・74ROk184
63	7	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	37層	15.2	9.4	4.5	74-189・74ROk177
63	8	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	29・30層	8.9	6.7	2.2	74-142・74ROk146
63	9	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	29・30層	8.8	6.8	1.5	74-143・74ROk148
63	10	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	29層 上面	9.6	5.7	2.0	74-144・74ROk161
63	11	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	29層 上面	9.2	6.8	1.9	74-145・74ROk162
63	12	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	30 b 層	8.8	4.6	2.0	74-146・74ROk166
63	13	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	30 b 層	7.0	5.1	1.3	74-147・74ROk165
63	14	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	31層	8.6	5.4	2.2	74-148・74ROk168
63	15	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	31層	8.2	4.6	1.7	74-149・74ROk169
63	16	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	26層 上面	13.8	8.0	3.7	74-153・74ROk149
63	17	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	29・30層	13.4	7.2	3.8	74-154・74ROk143
63	18	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	26層 上面	14.7	8.2	3.6	74-155・74ROk157
63	19	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	26層 上面	15.4	8.0	5.0	74-156・74ROk155
63	20	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	29・30層	13.6	7.9	4.3	74-158・74ROk141
63	21	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	29・30層	14.9	7.4	4.2	74-159・74ROk144
63	22	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	29・30層	13.5	6.2	3.6	74-160・74ROk147
63	23	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	29層 上面	14.2	6.8	3.9	74-161・74ROk163
63	24	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	30 b 層	13.2	6.6	3.9	74-162・74ROk167
63	25	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	32層	15.0	5.1	3.4	74-163・74ROk174
63	26	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	32層	15.6	6.0	4.4	74-165・74ROk176
63	27	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	26層 上面	(8.8)	—	2.4	74-166・74ROk150
63	28	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	26層 上面	9.1	—	1.6	74-167・74ROk153
63	29	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	29層 上面	9.2	—	2.1	74-169・74ROk159
63	30	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	26層 上面	15.1	—	3.5	74-170・74ROk151
63	31	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	26層 上面	15.0	—	3.4	74-171・74ROk152
63	32	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	26層 上面	14.2	—	3.0	74-172・74ROk154
63	33	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	26層 上面	14.2	—	3.2	74-173・74ROk156
63	34	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	29・30層	14.8	(8.0)	3.6	74-174・74ROk142
63	35	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	29・30層	15.6	—	3.9	74-175・74ROk145
63	36	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	29層 上面	13.7	—	3.3	74-176・74ROk160
63	37	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	32層	13.6	—	2.8	74-177・74ROk170
63	38	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	29・30層	14.9	—	2.8	74-178・74ROk140
63	39	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	29・30層	—	—	1.1	74-168・74ROk139
63	40	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	18・19層・23・29 層西端No.2	9.3	6.1	2.0	74-1・74ROk3
63	41	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	18~23層	8.9	5.5	1.6	74-3・74ROk79
63	42	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	18~23層	(8.2)	(5.8)	1.5	74-4・74ROk102
63	43	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	18・19層・23・29 層西端No.13	9.4	4.8	2.1	74-5・74ROk12
63	44	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	23層中~下位	8.9	6.3	1.8	74-6・74ROk43
63	45	かわらけ	ロクロ小	72SD1 ㊸	23層中~下位	9.4	6.5	2.2	74-7・74ROk49
63	46	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.3)	6.2	3.3	74-14・74ROk104
63	47	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.5)	7.3	3.4	74-15・74ROk108
63	48	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.5)	(7.2)	3.2	74-16・74ROk112
63	49	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.3)	6.6	3.2	74-17・74ROk114
63	50	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18~23層	(14.2)	(8.8)	3.1	74-18・74ROk121
63	51	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18・19層・23・29 層西端No.82	14.0	7.0	3.3	74-19・74ROk27
63	52	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	18・19層・23・29 層西端No.91	13.4	5.8	3.2	74-20・74ROk31
63	53	かわらけ	ロクロ大	72SD1 ㊸	23層中~下位	15.4	8.0	4.3	74-27・74ROk71
63	54	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	(8.6)	—	1.9	74-36・74ROk76
63	55	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	(8.8)	—	1.6	74-38・74ROk82
63	56	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	8.7	—	1.9	74-40・74ROk84
63	57	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	8.5	—	1.7	74-41・74ROk86
63	58	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	9.7	—	1.8	74-42・74ROk96
63	59	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18~23層	(9.2)	—	1.8	74-44・74ROk101
63	60	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	23層中~下位	8.5	—	2.1	74-70・74ROk55
63	61	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	23層中~下位	8.6	—	1.8	74-71・74ROk68
63	62	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	23層中~下位	9.6	—	2.0	74-72・74ROk70
63	63	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.5)	—	2.5	74-78・74ROk75
63	64	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	(14.2)	—	3.1	74-79・74ROk77
63	65	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	(12.6)	—	2.5	74-98・74ROk111
63	66	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	(12.8)	—	2.7	74-99・74ROk115
63	67	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	(13.7)	—	3.0	74-101・74ROk117
63	68	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18~23層	14.2	—	3.3	74-96・74ROk109

図	番号	種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)	
63	69	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	18層・19層上位	(14.4)	—	3.4	74-122・74ROK36
63	70	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	22層 木製品層下? 砂、粘土層	(14.7)	—	3.2	74-123・74ROK190
63	71	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	23層中～下位	14.6	—	3.3	74-134・74ROK62
63	72	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	23層中～下位	15.5	—	2.9	74-135・74ROK65
63	73	かわらけ	手づくね大	72SD1 ㊸	23層中～下位	15.0	—	3.2	74-136・74ROK67
63	74	かわらけ	手づくね小	72SD1	1層	(7.0)	—	1.4	74-34・74ROK187
63	75	かわらけ	手づくね小	72SD1	13層	—	—	1.2	74-35・74ROK189
63	76	かわらけ	手づくね小	72SD1 ㊸	18～23層	(8.0)	—	1.3	74-37・74ROK78
63	77	かわらけ	ロクロ大	41SD2 Bトレン チ	北壁崩落土 4a- 1.2層	—	(7.4)	—	74-192・74ROK237
64	78	木製品	折敷片	72SD1 ㊸	32層	22.5	6.3	0.6	74-1020・74RW2
64	79	木製品	折敷片	72SD1 ㊸	32層	13.5	1.8	0.4	74-1049・74RW363
64	80	木製品	漆椀	72SD1 ㊸	29・30層	口径 (16.0)	底径 8.0	器高 (4.8)	74-1021・74RW10
64	81	木製品	漆椀	72SD1 ㊸	32層	口径 15.8	底径 6.8	器高 4.9	74-1022・74RW5
64	82	木製品	漆椀	72SD1 ㊸	29・30層	口径 (17.0)	底径 7.4	器高 6.8	74-1023・74RW4
64	83	木製品	漆椀	72SD1 ㊸	32層	口径 16.0	底径 (8.2)	器高 6.0	74-1024・74RW11
64	84	木製品	下駄	72SD1 ㊸	29・30層	18.0	6.0	2.4	74-1034・74RW45
64	85	木製品	下駄	72SD1 ㊸	30b層	23.3	12.2	4.4	74-1044・74RW32
64	86	木製品	下駄	72SD1 ㊸	31層	22.8	13.1	4.8	74-1047・74RW29
64	87	木製品	形代	72SD1 ㊸	29・30層	16.8	10.5	0.6	74-1055・74RW62
64	88	木製品	刀子柄	72SD1 ㊸	32層	8.7	3.4	1.6	74-1056・74RW400
64	89	木製品	割り物	72SD1 ㊸	29・30層	10.9	3.2	—	74-1057・74RW66
64	90	木製品	独楽	72SD1 ㊸	29・30層	高さ 7.9	7.8	—	74-1058・74RW63
64	91	木製品	杓子状	72SD1 ㊸	29層上面西側	18.6	8.9	0.6	74-1059・74RW42
64	92	木製品	折敷	72SD1 ㊸	26層上面中央	33.5	16.3	0.9	74-1074・74RW15
64	93	木製品	板材	72SD1 ㊸	29・30層	20.5	15.8	0.7	74-1096・74RW20
64	94	木製品	折敷	72SD1 ㊸	29・30層	30.7	20.7	0.2	74-1075・74RW14
64	95	木製品	不明	72SD1 ㊸	29・30層	2.6	3.6	2.5	74-1113・74RW64
64	96	木製品	不明	72SD1 ㊸	29・30層	高さ 3.9	4.8	4.4	74-1114・74RW49
64	97	木製品	折敷片	72SD1 ㊸	23層中～下位	15.1	5.5	0.6	74-960・74RW1
64	98	木製品	漆椀	72SD1 ㊸	18・19層・23・29 層西端 No.61	口径 (15.6)	底径 7.4	器高 5.7	74-961・74RW3
64	99	木製品	形代	72SD1 ㊸	23層中～下位	20.7	8.2	0.5	74-986・74RW41
64	100	木製品	管	72SD1 ㊸	23層中～下位	23.3	1.2	1.1	74-977・74RW109-1
64	101	木製品	管	72SD1 ㊸	23層中～下位	23.2	1.1	1.1	74-978・74RW109-2
64	102	木製品	椀底	72SD1 ㊸	23層中～下位	6.7	6.7	1.5	74-982・74RW71
64	103	木製品	曲物底	72SD1 ㊸	23層中～下位	22.2	24.3	0.8	74-1006・74RW19
64	104	木製品	円形板	72SD1 ㊸	18層・19層上位	17.5	8.7	1.3	74-1009・74RW69
64	105	木製品	円形板	72SD1 ㊸	23層	8.4	8.7	0.9	74-983・74RW74
67	1	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP2	埋土	13.8	—	3.5	23SB1-1
67	2	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP2	埋土	13.4	7.0	4.4	23SB1-4
67	3	かわらけ	ロクロ	23SB1 78-83 -PP1	埋土上部一括資料	—	7.2	2.6	23SB1-2
67	4	かわらけ	ロクロ大	23SB1 79-84 -PP1	埋土	13.4	5.6	3.0	23SB1-5
67	5	かわらけ	ロクロ大	23SB1 79-84 -PP1	埋土	13.4	7.0	3.3	23SB1-3
69	1	かわらけ	手づくね	23SB3 80-86 -PP4	埋土	13.0	—	3.2	23SB3-1
69	2	かわらけ	手づくね	23SB3 80-88 -PP11	埋土	13.8	—	2.9	23SB3-2
69	3	かわらけ	手づくね	23SB3 80-87 -PP10	埋土	12.4	—	2.8	23SB3-3
77	1	かわらけ	ロクロ大	28SB1 66-79 -PP17	埋土上部	12.4	7.4	3.7	28SB1-1
77	2	かわらけ	ロクロ大	28SB1 67-79 -PP3	埋土南半	13.3	7.0	4.0	28SB1-2
77	3	かわらけ	ロクロ小	28SB1 68-80 -PP6	埋土根痕跡内	9.5	6.6	2.0	28SB1-3
78	1	かわらけ	ロクロ小	28SB2 68-78 -PP13	埋土北半	11.6	8.2	1.8	28SB2-1
78	2	かわらけ	ロクロ大	28SB2 69-78 -PP1	北半埋土	8.6	5.2	2.3	28SB2-2
79	1	かわらけ	ロクロ小			(8.8)	5.6	1.8	90-2871-78-pp7
81	1	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -PP6	2層上部のレキ群 をはずした下の層	13.8	—	2.6	28SB4-1
81	2	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81 -PP6	2層	13.0	—	2.4	28SB4-2



図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
81	3	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81-PP6	2層	13.6	-	3.3	28SB4-3
81	4	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81-PP6	2層(上部レキ群のかわらけ層)	14.0	-	2.7	28SB4-4
81	5	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-81-PP6	2層(上部レキ群のかわらけ層)	12.0	5.0	3.5	28SB4-5
81	6	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81-PP6	上部のレキ群をはずした下の層	13.8	-	2.8	28SB4-7
81	7	かわらけ	手づくね大	28SB4 71-81-PP6	2層+1009 71-81-PP6 2層(上部礫群の下のかわらけ層)	14.2	-	2.7	28SB4-8
81	8	かわらけ	手づくね大			(14.6)	-	3.3	28SB4YG90-28 71-82-PP3
81	9	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-82-PP3	埋土東半下部	13.0	7.6	3.1	28SB4-9
81	10	かわらけ	ロクロ	28SB4 71-82-PP3	埋土上半部(新しい柱穴の方の埋土)	8.8	5.8	1.6	28SB4-6
81	11	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	9.2	5.9	2.0	59-1
81	12	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	8.3	6.0	1.7	59-2
81	13	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	8.8	5.5	1.9	59-3
81	14	かわらけ	ロクロ小	P557	3層	8.8	5.8	2.0	59-4
81	15	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.9	7.1	3.2	59-9
81	16	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.2	7.0	3.8	59-10
81	17	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	13.0	7.5	4.3	59-11
81	18	かわらけ	ロクロ大	P557	3層	14.2	6.3	4.4	59-13
81	19	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.7	-	1.9	59-14
81	20	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.8	-	1.6	59-15
81	21	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.1	-	2.0	59-17
81	22	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.9	-	1.6	59-19
81	23	かわらけ	手づくね小	P557	3層	8.6	-	1.8	59-22
81	24	かわらけ	手づくね小	P557	3層	9.6	-	1.9	59-24
81	25	かわらけ	手づくね小	P557	3層	7.6	-	1.4	59-25
81	26	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.0	-	3.1	59-27
81	27	かわらけ	手づくね大	P557	3層	13.1	-	3.1	59-28
81	28	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.0	-	2.9	59-30
81	29	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.2	-	2.9	59-32
81	30	かわらけ	手づくね大	P557	3層	12.8	-	2.9	59-31
81	31	かわらけ	手づくね大	P557	3層	14.4	-	2.9	59-34
81	32	かわらけ	手づくね大	P557	3層	11.8	-	3.0	59-35
81	33	かわらけ	手づくね大	P557	3層	13.2	-	2.9	59-36
81	34	かわらけ	手づくね大	P557	3層	12.5	-	2.3	59-38
81	35	かわらけ	手づくね大	P569埋土		13.2	-	2.4	59-45
83	1	かわらけ	ロクロ小	P1478 (28SB6)	抜き取り痕	9.2	5.4	1.7	55-897
83	2	かわらけ	ロクロ小	P1478 (28SB6)	抜き取り痕	8.4	6.4	1.9	55-898
83	3	かわらけ	ロクロ	P824 (55SB5)	抜き取り痕	-	(6.7)	-	55-886
83	4	かわらけ	ロクロ	P831 (55SB5)	抜き取り痕	-	5.8	(1.9)	55-887
83	5	かわらけ	ロクロ大	P1478 (28SB6)	抜き取り痕	13.4	7.0	3.8	55-899
83	6	かわらけ	ロクロ大	P1478 (28SB6)	抜き取り痕	13.6	6.8	3.8	55-900
97	1	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.0	-	3.0	50-194
97	2	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.5	-	2.8	50-195
97	3	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	14.0	-	2.8	50-197
97	4	かわらけ	手づくね大	50SB3 P116	埋土	13.5	-	3.3	50-199
97	5	かわらけ	手づくね大	50SB3 PP23		14.0	-	2.8	50-196
97	6	かわらけ	手づくね大	50SB3 PP23		14.5	-	3.3	50-203
98	1	かわらけ	手づくね大	50SB4P26		13.2	-	3.2	50SB4-1
98	2	かわらけ	手づくね大	50SB4P26		8.2	-	1.5	50SB4-2
98	3	かわらけ	ロクロ大	50SB4P26		12.8	5.4	3.7	50SB4-3
126	1	かわらけ	ロクロ小	P856 (55SB5)	抜き取り痕	8.2	5.8	1.4	55-871
126	2	かわらけ	ロクロ小	P469 (55SB5)	抜き取り痕	7.8	5.8	1.6	55-872
126	3	かわらけ	ロクロ大	P1452 (55SB5)	抜き取り痕	-	(5.5)	-	55-884
126	4	かわらけ	ロクロ大	P824 (55SB5)	抜き取り痕	-	6.8	(2.7)	55-886
126	5	かわらけ	柱状高倉	P887 (55SB5)	抜き取り痕	-	5.0	(4.7)	55-890
128	1	かわらけ	ロクロ小	55SB8		(9.0)	5.2	1.6	
128	2	かわらけ	ロクロ	P1460 (55SB9)	埋土	15.2	5.8	4.0	55-892
129	1	かわらけ	ロクロ大	P187 (55SB19)	柱痕	-	6.3	-	55-893
135	1	かわらけ	ロクロ大	55SB16		-	(7.4)	3.2	
135	1	かわらけ	ロクロ小	55SB19 P202 埋土		14.4	6.0	4.7	55-894
167	1	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	8.4	6.2	1.5	55-388
167	2	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	9.0	7.0	1.9	55-389
167	3	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	8.6	6.0	1.2	55-390
167	4	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	8.4	6.2	1.4	55-391
167	5	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	9.0	6.0	1.4	55-392
167	6	かわらけ	ロクロ小	55SX2	埋土	8.8	6.8	1.6	55-393
167	7	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	12.2	6.8	3.2	55-401
167	8	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.2	6.2	3.8	55-403

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
167	9	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.0	6.6	3.6	55-404
167	10	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	7.0	3.3	55-406
167	11	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.8	7.8	4.4	55-415
167	12	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.4	6.5	3.9	55-418
167	13	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.4	6.6	3.8	55-420
167	14	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.6	8.0	3.8	55-425
167	15	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.6	6.8	3.3	55-430
167	16	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.4	7.4	3.2	55-433
167	17	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.8	7.6	3.2	55-434
167	18	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	6.8	3.0	55-442
167	19	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.4	7.0	3.5	55-443
167	20	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.2	6.4	3.2	55-444
167	21	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.2	6.2	3.3	55-453
167	22	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.4	6.4	3.0	55-460
167	23	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.4	6.8	3.6	55-461
167	24	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.5	7.2	4.1	55-462
167	25	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.2	6.8	3.3	55-463
167	26	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.6	7.0	2.7	55-475
167	27	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.1	7.0	4.0	55-481
167	28	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	6.6	4.1	55-487
167	29	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.8	7.2	3.4	55-490
167	30	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.8	7.4	3.2	55-494
167	31	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.6	7.6	3.4	55-504
167	32	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.6	8.0	4.2	55-509
167	33	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.4	6.8	3.6	55-515
167	34	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	9.0	3.5	55-520
167	35	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	7.8	3.6	55-522
167	36	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.6	7.0	3.2	55-524
167	37	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	7.8	3.6	55-534
167	38	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.7	6.4	3.0	55-545
167	39	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.6	7.4	3.0	55-552
167	40	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.6	6.6	2.5	55-553
167	41	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	13.2	6.8	3.1	55-554
167	42	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	6.8	3.8	55-560
167	43	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.4	7.2	3.3	55-564
167	44	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.6	7.5	3.7	55-567
167	45	かわらけ	ロクロ大	55SX2	埋土	14.0	7.8	3.5	55-569
167	46	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.9	-	1.7	55-578
167	47	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.6	-	1.5	55-589
167	48	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.8	-	1.9	55-590
167	49	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.2	-	1.9	55-582
167	50	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.6	-	1.7	55-583
167	51	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	9.2	-	2.1	55-591
167	52	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	7.8	-	1.7	55-585
167	53	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	9.4	-	1.9	55-703
167	54	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.6	-	1.6	55-778
167	55	かわらけ	手づくね小	55SX2	埋土	8.9	-	1.8	55-779
167	56	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.7	55-634
167	57	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.9	-	2.7	55-639
167	58	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.8	-	3.1	55-641
167	59	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.7	-	3.1	55-596
167	60	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	2.9	55-602
167	61	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	11.8	-	2.8	55-598
167	62	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.6	55-599
167	63	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.5	-	3.1	55-617
167	64	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.0	-	3.0	55-594
167	65	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.9	-	2.9	55-618
167	66	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.7	55-620
167	67	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.2	-	2.8	55-604
167	68	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.1	55-607
167	69	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.0	-	2.8	55-608
167	70	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	2.6	55-611
167	71	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	3.0	55-612
167	72	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	3.0	55-622
167	73	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.2	-	2.1	55-626
168	74	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	3.0	55-627
168	75	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	3.5	55-628
168	76	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.3	-	2.3	55-630
168	77	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.8	-	2.7	55-635
168	78	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.6	-	2.6	55-645
168	79	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.2	-	2.9	55-664
168	80	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.8	-	3.2	55-670
168	81	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.6	-	2.9	55-672
168	82	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.8	-	3.2	55-675
168	83	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.7	-	2.6	55-648
168	84	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.2	-	2.4	55-650
168	85	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.8	-	2.4	55-653
168	86	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.7	-	2.7	55-655

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
168	87	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.6	-	2.7	55-660
168	88	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.0	55-662
168	89	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.8	55-667
168	90	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.9	55-678
168	91	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.0	55-683
168	92	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.6	55-689
168	93	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.8	-	3.1	55-692
168	94	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	3.1	55-694
168	95	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	2.5	55-702
168	96	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	3.1	55-680
168	97	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.6	-	2.9	55-684
168	98	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.2	-	2.9	55-685
168	99	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.9	-	2.9	55-707
168	100	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.5	-	3.0	55-708
168	101	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.4	-	2.4	55-709
168	102	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.7	-	3.2	55-716
168	103	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	3.0	55-718
168	104	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.4	-	2.9	55-725
168	105	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.5	-	3.0	55-727
168	106	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.8	-	2.9	55-728
168	107	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.9	-	3.1	55-730
168	108	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.1	-	2.8	55-733
168	109	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.1	-	3.0	55-736
168	110	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.2	-	2.6	55-744
168	111	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.9	-	3.1	55-745
168	112	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.6	-	2.7	55-748
168	113	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	3.1	55-749
168	114	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.6	-	2.4	55-782
168	115	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.6	-	2.9	55-711
168	116	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.6	-	3.0	55-715
168	117	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.5	-	2.7	55-752
168	118	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	2.9	55-753
168	119	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.8	-	2.7	55-754
168	120	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.2	-	2.8	55-765
168	121	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	15.5	-	3.2	55-766
168	122	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.8	-	2.9	55-764
168	123	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.1	-	2.7	55-790
168	124	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.0	-	2.9	55-795
168	125	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.8	-	2.6	55-796
168	126	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	3.1	55-798
168	127	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.0	-	3.2	55-800
168	128	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.0	55-802
168	129	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.9	-	3.0	55-768
168	130	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.3	-	3.3	55-770
168	131	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.6	-	2.6	55-772
168	132	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.5	-	2.7	55-804
168	133	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.6	-	3.1	55-810
168	134	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.4	-	2.4	55-788
168	135	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.7	-	2.8	55-815
168	136	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.6	-	3.1	55-825
168	137	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.4	-	3.1	55-830
168	138	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	2.9	55-831
168	139	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	16.0	-	3.1	55-834
168	140	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	15.8	-	3.1	55-841
168	141	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.9	-	3.4	55-842
168	142	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.2	-	2.9	55-844
168	143	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.3	-	3.2	55-850
168	144	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.7	-	3.0	55-851
168	145	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.0	-	3.3	55-852
168	146	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.6	-	2.9	55-854
168	147	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	13.6	-	3.2	55-856
168	148	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	12.7	-	2.6	55-858
168	149	かわらけ	手づくね大	55SX2	埋土	14.3	-	3.6	55-867
174	1	かわらけ	ロクロ大	23SG 1	57T2C・10層 <sup>⑤</sup> (57SE3)	-	9.6	(2.5)	57-23
174	2	かわらけ	手づくね大	59SE1	上面	13.6	-	2.5	64-101
174	3	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T1・11層 <sup>③</sup>	(13.5)	-	2.8	57-1
174	4	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T1・11層 <sup>①</sup>	(13.4)	-	2.4	57-2
174	5	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T1d、1	8.4	-	1.6	64-2
174	6	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T1d、42	8.4	-	1.7	64-3
174	7	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T1d、11	9.4	-	1.7	64-7
174	8	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T1d、29	8.4	-	1.7	64-8
174	9	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、19	12.6	-	2.4	64-11
174	10	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、25	13.2	-	2.8	64-13
174	11	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、35	14.7	-	3.0	64-15
174	12	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、21	12.6	-	2.9	64-16
174	13	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、27	13.4	-	2.9	64-17
174	14	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、37	13.3	-	2.7	64-21

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (川掲載番号)
174	15	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、36	12.6	—	2.4	64-22
174	16	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、15	13.0	—	3.1	64-26
174	17	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、9	13.9	—	2.8	64-30
174	18	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、41d	12.6	—	1.9	64-31
174	19	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、30	13.0	—	2.3	64-32
174	20	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、26	12.9	—	2.8	64-34
174	21	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、6	13.2	—	2.3	64-35
174	22	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、8	13.7	—	2.5	64-37
174	23	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、5	14.6	—	3.0	64-40
175	24	かわらけ	ロクロ大	23SG1	57T3A・3層15	13.1	7.0	3.2	57-32
175	25	かわらけ	ロクロ小	23SG1	57T3B・1層	8.3	5.6	1.5	57-44
175	26	かわらけ	ロクロ大	23SG1	57T3B・1d層 s2	14.0	8.0	3.1	57-46
175	27	かわらけ	ロクロ小	23SG1	59T2 18	10.0	6.7	1.7	64-42
175	28	かわらけ	ロクロ小	23SG1	59T2 (31SD58上 面)	8.9	5.4	1.6	64-43
175	29	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T2、11	8.9	—	1.8	64-44
175	30	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T2、17	8.6	—	1.5	64-45
175	31	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T2、16	9.2	—	1.7	64-46
175	32	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T2、12	9.1	—	1.7	64-47
175	33	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T1d、5	14.6	—	3.0	64-40
175	34	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T2、6	13.0	—	3.1	64-48
175	35	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T2、13	13.8	—	2.8	64-51
175	36	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T2、9	13.2	—	2.2	64-53
175	37	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T2、5	13.6	—	3.0	64-55
175	38	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T2、2	12.8	—	2.9	64-56
175	39	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T3A・3層14	14.2	—	3.1	57-28
175	40	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T3A・3層1	13.4	—	3.0	57-29
175	41	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T3B・1a層1	13.7	—	3.1	57-38
175	42	かわらけ	手づくね小	23SG1	57T2A・5層5	(8.8)	—	1.5	57-13
175	43	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T2A・6層22	(10.0)	—	1.5	57-14
175	44	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T2A・4層7	(13.1)	—	3.0	57-11
175	45	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T2A・4層9.1	(13.4)	—	1.9	57-12
175	46	かわらけ	ロクロ大	23SG1	57T2C・2層1	14.4	6.0	3.5	57-22
175	47	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T2C・2層3	(13.6)	—	3.2	57-19
175	48	かわらけ	手づくね大	23SG1	57T2C・2層1	(13.8)	—	2.5	57-20
175	49	かわらけ	ロクロ小	23SG1	59T3 5~7層	8.9	6.6	1.6	64-57
175	50	かわらけ	ロクロ大	23SG1	59T3	14.1	7.8	3.0	64-59
175	51	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T3、18	8.4	—	1.9	64-61
175	52	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T3、6	8.8	—	1.7	64-62
175	53	かわらけ	手づくね小	23SG1	59T3、2	8.8	—	1.7	64-63
175	54	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T3、1	14.1	—	2.9	64-64
175	55	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T3、13	14.2	—	3.1	64-67
175	56	かわらけ	手づくね大	23SG1	59T3、15、1層	12.8	—	2.8	64-69
175	57	木製品	修羅	59T3	2層	140.0	76.0	5.5	64-4001
178	1	かわらけ	ロクロ小	37SE2	NO.1	8.3	6.0	1.7	50-86
178	2	かわらけ	ロクロ大	37SE2	2層 下南半	12.6	7.2	4.0	50-87
178	3	かわらけ	ロクロ大	37SE2	1層 北半	13.9	7.1	4.0	50-88
178	4	かわらけ	ロクロ大	37SE2	2層 下南半	12.8	7.2	2.6	50-89
178	5	かわらけ	ロクロ大	37SE2	NO.3	14.1	7.4	4.0	50-90
178	6	かわらけ	ロクロ大	37SE2	北半	13.6	6.7	4.5	50-91
178	7	かわらけ	ロクロ大	37SE2	底面NO.15	14.3	7.1	3.2	50-92
178	8	かわらけ	ロクロ大	37SE2	1層 南半	14.2	6.8	3.3	50-93
178	9	かわらけ	手づくね小	37SE2	底面	9.6	—	1.8	50-72
178	10	かわらけ	手づくね小	37SE2	底面	9.8	—	2.0	50-73
178	11	かわらけ	手づくね小	37SE2	5層 南半	9.6	—	1.7	50-74
178	12	かわらけ	手づくね大	37SE2	1層 北半	14.3	—	3.5	50-64
178	13	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.13	15.0	—	3.5	50-69
178	14	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.2	14.4	—	3.4	50-70
178	15	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.5	15.6	—	3.3	50-75
178	16	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.14、NO.3	15.6	—	3.2	50-77
178	17	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.1	14.6	—	2.9	50-80
178	18	かわらけ	手づくね大	37SE2	9層	15.4	—	3.6	50-82
178	19	かわらけ	手づくね大	37SE2	底面NO.8	14.4	—	2.3	50-85
178	20	国産陶器	片口鉢	37SE2	2層	—	14.1	—	50-1188
180	1	かわらけ	ロクロ小	50SE3	3層 P32	9.2	5.8	2.2	50-51
180	2	かわらけ	ロクロ小	50SE3	3層	8.9	6.2	1.6	50-52
180	3	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層	14.2	7.1	3.6	50-53
180	4	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 P8	13.9	6.6	3.5	50-54
180	5	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 P20	14.4	6.9	3.6	50-55
180	6	かわらけ	ロクロ大	50SE3	P1	14.5	5.8	3.0	50-56
180	7	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 西半	13.8	6.6	3.8	50-57
180	8	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 西半	14.3	6.2	3.1	50-58
180	9	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 西半	15.2	9.0	3.1	50-59
180	10	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 西半	14.3	7.2	3.7	50-60
180	11	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 P4	13.5	7.6	3.4	50-61
180	12	かわらけ	ロクロ大	50SE3	3層 P9	14.7	6.3	2.4	50-62
180	13	かわらけ	手づくね小	50SE3	3層 P31	8.2	—	1.6	50-27
180	14	かわらけ	手づくね小	50SE3	3層 P15	9.1	—	2.2	50-28

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
180	15	かわらけ	手づくね小	50SE3	3層 西半	9.1	-	1.8	50-29
180	16	かわらけ	手づくね小	50SE3	3層	9.0	-	2.3	50-31
180	17	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 P28	13.9	-	3.0	50-1
180	18	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 P24	14.2	-	3.3	50-3
180	19	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 P21-②	14.4	-	3.2	50-4
180	20	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 P16	15.5	-	3.3	50-6
180	21	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 東半	14.3	-	3.2	50-14
180	22	かわらけ	手づくね大	50SE3	3d層	14.4	-	2.9	50-15
180	23	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 東半	14.2	-	3.0	50-16
180	24	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層	14.4	-	3.2	50-19
180	25	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 東半	14.8	-	3.3	50-20
180	26	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 東半	14.1	-	3.0	50-23
180	27	かわらけ	手づくね大	50SE3	3d層 P14	14.4	-	3.1	50-34
180	28	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 P36	14.5	-	3.1	50-36
180	29	かわらけ	手づくね大	50SE3	3層 西半	13.4	-	3.3	50-50
180	30	中国産陶磁器	四耳壺	50SE3	3層	10.1	6.8	26.5	50-2008
180	31	金属製品	印章	50SE3	3層	4.7	4.7	3.7	50-5013
181	32	木製品	下駄	50SE3	3層 東半	23.1	12.5	3.6	50-4001
181	33	木製品	下駄	50SE3	3層 東半	21.2	10.5	2.6	50-4002
181	34	木製品	篋	50SE3	3層	21.5	6.4	0.8	50-4003
181	35	木製品	不明	50SE3	3層 東半	31.1	5.9	3.3	50-4009
181	36	木製品	不明	50SE3	3層	46.1	2.4	1.1	50-4010
181	37	木製品	不明	50SE3	3層	36.9	3.0	1.1	50-4011
181	38	木製品	宝塔	50SE3	3層	3.4	7.3	2.8	50-4013
181	39	木製品	笹塔婆?	50SE3	3層	7.0	1.3	0.1	50-4012
181	40	木製品	折敷底板	50SE3	3層	27.9	2.5	0.3	50-4028
181	41	木製品	墨書木片	50SE3	3層	8.7	2.2	0.4	50-4043
181	42	木製品	墨書木片	50SE3	3層	16.2	1.3	0.4	50-4041
181	43	木製品	墨書木片	50SE3	3層	18.9	2.0	0.5	50-4042
181	44	木製品	墨書木片	50SE3	3層	4.5	1.5	0.4	50-4046
181	45	木製品	墨書木片	50SE3	3層	3.1	1.9	0.4	50-4045
181	46	木製品	墨書木片	50SE3	3層	4.0	1.5	0.1	50-4044
181	47	木製品	墨書木片	50SE3	3層	11.7	0.8	0.3	50-4047
181	48	木製品	墨書木片	50SE3	3層	10.8	2.0	0.3	50-4048
181	49	木製品	墨書木片	50SE3	3層	9.7	2.1	0.1	50-4049
181	50	木製品	折敷底板	50SE3	3層	29.2	6.6	0.4	50-4050
181	51	木製品	折敷底板	50SE3	3層	33.7	16.0	1.0	50-4025
181	52	木製品	折敷	50SE3	3層	31.2	1.7	1.1	50-4034
182	1	かわらけ	ロクロ大	52SE1	3層	13.4	7.9	3.5	52-16
182	2	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	13.6	7.6	3.2	52-17
182	3	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	13.4	6.6	4.0	52-18
182	4	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	14.0	7.0	3.0	52-19
182	5	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	14.3	7.2	3.7	52-20
182	6	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	13.7	6.7	4.2	52-21
182	7	かわらけ	ロクロ大	52SE1	1層	14.8	7.2	3.4	52-22
182	8	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	13.1	6.4	3.7	52-23
182	9	かわらけ	ロクロ大	52SE1	2層	14.0	7.7	3.4	52-24
182	10	かわらけ	ロクロ大	52SE1	12層	14.2	7.6	3.9	52-25
182	11	かわらけ	ロクロ	52SE1	2層	-	7.0	(1.0)	52-26
182	12	かわらけ	手づくね小	52SE1	2層	9.3	-	1.7	52-1
182	13	かわらけ	手づくね小	52SE1	2層	9.1	-	2.0	52-2
182	14	かわらけ	手づくね小	52SE1	2層	8.6	-	2.3	52-3
182	15	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	13.1	-	2.8	52-5
182	16	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	14.8	-	2.8	52-7
182	17	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	14.5	-	2.8	52-8
182	18	かわらけ	手づくね大	52SE1	3層	14.0	-	2.6	52-9
182	19	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	14.3	-	3.3	52-10
182	20	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	13.2	-	3.1	52-12
182	21	かわらけ	手づくね大	52SE1	2層	14.3	-	3.1	52-14
182	22	かわらけ	手づくね大	52SE1	3層	15.2	-	2.7	52-15
183	1	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.5	6.2	1.4	52-27
183	2	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.7	5.7	1.7	52-28
183	3	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	9.0	5.5	2.1	52-29
183	4	かわらけ	ロクロ小	52SE7	底面直上	9.0	5.5	1.8	52-30
183	5	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.6	4.7	1.9	52-31
183	6	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.6	6.2	1.6	52-32
183	7	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.5	6.0	1.8	52-33
183	8	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.3	5.4	1.4	52-38
183	9	かわらけ	ロクロ小	52SE7	2層	8.8	5.8	1.8	52-39
183	10	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.0	6.0	3.7	52-44
183	11	かわらけ	ロクロ大	52SE7	5層	13.5	5.6	3.6	52-45
183	12	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.1	6.3	3.5	52-46
183	13	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.6	5.7	3.9	52-49
183	14	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.1	6.3	4.1	52-51
183	15	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.8	7.2	3.7	52-53
183	16	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.9	6.0	3.7	52-54
183	17	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.6	6.4	3.8	52-55
183	18	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.7	6.0	3.5	52-56

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
183	19	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	12.3	5.7	2.4	52-58
183	20	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.1	6.8	3.7	52-59
183	21	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.0	6.8	3.8	52-61
183	22	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	15.0	6.4	3.7	52-64
183	23	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.9	6.2	4.2	52-68
183	24	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層上	13.6	6.7	3.8	52-70
183	25	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.6	6.6	4.0	52-76
183	26	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.4	7.2	3.5	52-77
183	27	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.4	6.8	3.9	52-78
183	28	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.3	6.0	4.0	52-79
183	29	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	12.8	6.0	3.3	52-80
183	30	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.9	6.1	4.0	52-82
183	31	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.6	6.0	4.0	52-83
183	32	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.1	5.6	3.5	52-85
183	33	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	15.0	6.8	3.6	52-86
183	34	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	12.4	6.5	3.8	52-87
183	35	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	13.9	5.8	3.5	52-92
183	36	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.8	7.8	4.5	52-94
183	37	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.0	6.8	4.3	52-96
183	38	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.6	7.0	4.0	52-98
183	39	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.0	6.6	4.0	52-100
183	40	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.6	6.5	4.6	52-102
183	41	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.7	6.8	4.1	52-103
183	42	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層上面	12.8	7.3	3.0	52-104
183	43	かわらけ	ロクロ大	52SE7	2層	14.4	6.2	3.9	52-109
184	1	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.3	-	1.6	52-118
184	2	かわらけ	手づくね小	52SE8	10層	8.2	-	1.4	52-120
184	3	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	9.6	-	1.5	52-129
184	4	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.6	-	1.6	52-132
184	5	かわらけ	手づくね小	52SE8	10層	8.8	-	1.8	52-135
184	6	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.6	-	1.8	52-140
184	7	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.4	-	1.6	52-141
184	8	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.4	-	1.3	52-146
184	9	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	7.4	-	1.5	52-149
184	10	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.6	-	1.8	52-156
184	11	かわらけ	手づくね小	52SE8	10層	9.0	-	1.7	52-155
184	12	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.6	-	1.6	52-167
184	13	かわらけ	手づくね小	52SE8	10層	9.1	-	2.0	52-169
184	14	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	9.0	-	2.2	52-171
184	15	かわらけ	手づくね小	52SE8	5層	9.8	-	2.1	52-179
184	16	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.8	-	1.9	52-186
184	17	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.8	-	1.8	52-197
184	18	かわらけ	手づくね小	52SE8	9層下	8.6	-	1.9	52-379
184	19	かわらけ	手づくね小	52SE8	5層	8.4	-	1.8	52-396
184	20	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	11.0	-	1.8	52-195
184	21	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.6	-	2.6	52-206
184	22	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.0	-	2.4	52-209
184	23	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.9	-	3.0	52-213
184	24	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.6	-	2.5	52-216
184	25	かわらけ	手づくね大	52SE8	10層	13.1	-	2.8	52-218
184	26	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層	12.4	-	2.6	52-219
184	27	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.2	-	2.6	52-221
184	28	かわらけ	手づくね大	52SE8	10層	13.5	-	2.5	52-222
184	29	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.6	-	2.3	52-226
184	30	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.8	-	2.9	52-231
184	31	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.5	-	3.5	52-239
184	32	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.0	-	2.7	52-249
184	33	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.8	-	2.6	52-250
184	34	かわらけ	手づくね大	52SE8	10層	13.5	-	2.3	52-292
184	35	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	14.2	-	2.8	52-301
184	36	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.4	-	3.3	52-307
184	37	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	14.6	-	2.8	52-308
184	38	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.4	-	2.9	52-309
184	39	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.4	-	3.0	52-311
184	40	かわらけ	手づくね大	52SE8	10層	13.4	-	2.8	52-316
184	41	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.0	-	2.9	52-325
184	42	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層	14.0	-	2.8	52-326
184	43	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.6	-	3.0	52-327
184	44	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.9	-	2.9	52-332
184	45	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	14.0	-	2.8	52-342
184	46	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.2	-	2.8	52-349
184	47	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.4	-	2.8	52-366
184	48	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.5	-	2.7	52-367
184	49	かわらけ	手づくね大	52SE8	10層	13.5	-	2.7	52-371
184	50	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.6	-	2.7	52-374
184	51	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.1	-	2.3	52-380、ロクロ胎土
184	52	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	12.7	-	2.5	52-381、ロクロ胎土
184	53	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下	13.0	-	2.4	52-382、ロクロ胎土

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
184	54	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下部	12.0	—	2.7	52-384、ロクロ胎土
184	55	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下部	13.4	—	3.0	52-385、ロクロ胎土
184	56	かわらけ	手づくね大	52SE8	9層下部	13.9	—	2.6	52-386、ロクロ胎土
184	57	かわらけ	手づくね大	52SE8	6層	13.8	—	3.2	52-398
184	58	かわらけ	手づくね大	52SE8	6層	13.5	—	2.6	52-400
184	59	かわらけ	内折れ	52SE8	9層下部	9.8	—	1.2	52-395
185	60	木製品	木筒	52SE8	9層、9層下部	10.0	1.8	0.2	52-5002
185	61	木製品	木筒	52SE8	10層	12.0	2.8	0.3	52-5005
185	62	木製品	木筒	52SE8	9層下部	11.0	3.0	0.5	52-5003
185	63	木製品	木片	52SE8	9層	25.5	4.0	0.2	52-5004
185	64	木製品	漆器腕	52SE8	9層下部	14.4	7.0	6.2	52-5007
185	65	木製品	折敷	52SE8	9層下部	22.0	20.0	0.4	52-5009
185	66	木製品	折敷	52SE8	9層	26.1	9.0	0.5	52-5018
185	67	木製品	折敷	52SE8	9層下部	25.0	13.0	0.5	52-5010
185	68	木製品	扇骨	52SE8	9層	45.0	2.0	0.5	52-5050-1
185	69	木製品	櫛	52SE8	9層	7.0	3.7	0.5	52-5057
185	70	木製品	櫛	52SE8	9層下部	5.0	3.5	0.5	52-5056
185	71	木製品	刀子柄	52SE8	9層下部	10.0	2.0	1.0	52-5059
185	72	木製品	刀子鞘	52SE8	9層下部	29.0	3.5	0.7	52-5058
185	73	木製品	杓子	52SE8	9層	27.0	5.0	0.3	52-5062
185	74	木製品	木槌	52SE8	9層下部	15.5	6.5	6.5	52-5063
185	75	木製品	棚製品	52SE8	6層	7.5	1.2	0.8	52-5081
185	76	木製品	棚製品	52SE8	9層	9.0	1.5	0.8	52-5083
185	77	木製品	棚製品	52SE8	9層下部	6.5	1.8	0.7	52-5082
185	78	木製品	円盤状	52SE8	10層	4.0	4.0	1.0	52-5084
185	79	木製品	部材	52SE8	9層下部	35.0	20.0	3.0	52-5086
185	80	木製品	棚	52SE8	10層	9.0	2.5	0.3	52-5087
185	81	木製品	部材	52SE8	9層	30.0	5.0	5.0	52-5091
185	82	木製品	部材	52SE8	9層下部	30.0	4.0	3.5	52-5092
185	83	木製品	形代	52SE8	10層	20.5	2.6	0.6	52-5089
185	84	木製品	形代	52SE8	10層	27.9	7.3	0.3	52-5090
186	1	かわらけ	ロクロ小	52SE9	10層	9.0	5.9	1.9	52-421
186	2	かわらけ	ロクロ小	52SE9	10層	9.6	7.2	1.5	52-422
186	3	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	14.4	7.2	3.6	52-406
186	4	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.5	7.2	4.3	52-407
186	5	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.3	6.7	4.0	52-408
186	6	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.9	7.6	3.8	52-409
186	7	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.9	8.4	4.4	52-410
186	8	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.0	7.0	3.9	52-411
186	9	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	14.7	7.2	3.9	52-412
186	10	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.5	6.9	3.3	52-413
186	11	かわらけ	ロクロ大	52SE9	6層	15.1	7.0	3.6	52-414
186	12	かわらけ	ロクロ大	52SE9	埋土	14.9	7.1	3.5	52-418
186	13	かわらけ	ロクロ大	52SE9	10層	14.7	7.2	3.8	52-425
186	14	かわらけ	手づくね大	52SE9	6層	14.7	—	2.9	52-403
187	1	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	7.2	5.2	2.6	52-431
187	2	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.1	6.2	2.7	52-433
187	3	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.1	6.0	3.0	52-438
187	4	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.3	5.6	2.9	52-439
187	5	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.2	5.8	2.7	52-441
187	6	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.5	6.4	3.0	52-442
187	7	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.7	5.5	3.2	52-443
187	8	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.5	6.0	2.8	52-448
187	9	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	7.3	5.0	2.6	52-455
187	10	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.0	6.4	2.7	52-458
187	11	かわらけ	ロクロ小	52SE10	上層	8.0	6.0	2.0	52-468
187	12	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	8.1	5.7	2.2	52-470
187	13	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	9.3	5.5	3.0	52-481
187	14	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	9.8	6.3	2.6	52-482
187	15	かわらけ	ロクロ小	52SE10	5層	9.7	5.8	3.4	52-483
187	16	かわらけ	ロクロ大	52SE10	5層	14.4	5.3	5.1	52-501
187	17	かわらけ	ロクロ大	52SE10	5層	13.0	5.8	4.4	52-502
187	18	かわらけ	ロクロ大	52SE10	5層	14.2	5.4	5.1	52-503
187	19	かわらけ	ロクロ大	52SE10	5層	14.0	5.0	4.8	52-504
187	20	かわらけ	ロクロ大	52SE10	5層	12.8	5.0	5.1	52-505
187	21	かわらけ	ロクロ大	52SE10	上層	11.8	5.3	5.3	52-506
187	22	かわらけ	柱状高台	52SE10	5層	8.9	(3.3)	3.7	52-516
187	23	かわらけ	柱状高台	52SE10	5層	11.3	7.2	4.0	52-517
187	24	かわらけ	柱状高台	52SE10	5層	—	6.1	(3.0)	52-518
187	25	かわらけ	柱状高台	52SE10	5層	—	9.8	(3.0)	52-519
187	26	かわらけ	柱状高台	52SE10	5層	—	7.9	(6.2)	52-520
187	27	かわらけ	高坏	52SE10	5層	20.4	10.3	10.5	52-521
187	28	かわらけ	高坏	52SE10	5層	20.3	10.4	8.6	52-523
187	29	かわらけ	高坏	52SE10	5層	21.2	11.2	9.7	52-522
187	30	かわらけ	高坏	52SE10	5層	21.3	12.0	9.2	52-524
187	31	かわらけ	—	52SE10	5層	12.5	—	6.1	52-528
188	1	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4層	8.1	3.8	1.9	55-1
188	2	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3層	8.2	3.6	2.2	55-4

国	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (目掲載番号)
188	3	かわらけ	ロクロ小	55SE1	19層	8.4	4.8	2.2	55-11
188	4	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3b層	9.0	5.0	2.2	55-15
188	5	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4層	8.8	5.0	1.9	55-17
188	6	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4a層	8.4	4.8	2.3	55-18
188	7	かわらけ	ロクロ小	55SE1	9層	9.5	4.8	2.2	55-24
188	8	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3層	8.7	5.0	2.2	55-27
188	9	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3b層	8.3	4.7	1.9	55-29
188	10	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3b層	8.4	5.1	2.0	55-33
188	11	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3層	8.2	4.6	2.1	55-34
188	12	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3層	8.7	5.3	2.1	55-36
188	13	かわらけ	ロクロ小	55SE1	3b層	8.0	5.4	2.1	55-47
188	14	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4a層	8.6	4.8	2.2	55-52
188	15	かわらけ	ロクロ小	55SE1	4層	7.4	5.3	1.3	55-55
188	16	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4層	14.2	4.8	4.1	55-62
188	17	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4層	14.0	5.6	4.9	55-63
188	18	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4層	13.5	5.6	5.1	55-64
188	19	かわらけ	ロクロ大	55SE1	3層	13.2	6.0	4.9	55-65
188	20	かわらけ	ロクロ大	55SE1	4a層	12.4	6.0	5.2	55-66
188	21	かわらけ	ロクロ	55SE1	4b層	-	6.0	(3.4)	55-78
188	22	かわらけ	ロクロ	55SE1	14層	-	6.4	(2.4)	55-79
188	23	かわらけ	ロクロ	55SE1	17層	-	8.4	(2.2)	55-80
188	24	木製品	漆器椀	55SE1	19層	15.8	(7.9)	7.4	55-4001
188	25	木製品	不明	55SE1	18層	9.4	8.7	0.7	55-4005
188	26	木製品	栓?	55SE1	19層	3.4	3.1	2.4	55-4004
188	27	木製品	不明	55SE1	15層	6.3	2.9	2.8	55-4044
188	28	木製品	鞘	55SE1	15層	10.8	3.6	1.1	55-4008
188	29	木製品	墨書木片	55SE1	19層	8.8	2.2	0.1	55-4007
188	30	木製品	部材	55SE1	18層	33.0	2.6	1.7	55-4016
191	1	かわらけ	ロクロ小	55SK44	11層	8.8	6.4	1.7	55-219
191	2	かわらけ	ロクロ小	55SK44	11層	9.0	6.0	1.5	55-220
191	3	かわらけ	ロクロ大	55SK44	2層	12.4	5.8	3.4	55-221
191	4	かわらけ	ロクロ大	55SK44	5層	13.6	6.6	3.5	55-223
191	5	かわらけ	ロクロ大	55SK44	11層	13.0	6.6	3.5	55-224
191	6	かわらけ	ロクロ大	55SK44	11層	14.3	8.0	3.8	55-225
191	7	かわらけ	柱状高台	55SK44	5層	-	6.2	(3.2)	55-227
191	8	かわらけ	手づくね小	55SK44	8層	9.2	-	1.9	55-231
191	9	かわらけ	手づくね小	55SK44	5層	8.9	-	1.8	55-232
191	10	かわらけ	手づくね小	55SK44	12層	9.1	-	1.8	55-233
191	11	かわらけ	手づくね小	55SK44	埋土(6層付近)	8.0	-	1.6	55-237
191	12	かわらけ	手づくね大	55SK44	5層	13.8	-	3.2	55-244
191	13	かわらけ	手づくね大	55SK44	5層	14.4	-	3.1	55-245
191	14	かわらけ	手づくね大	55SK44	埋土	12.0	-	2.6	55-246
191	15	かわらけ	手づくね大	55SK44	5層	13.7	-	2.4	55-247
191	16	かわらけ	手づくね大	55SK44	5層	14.0	-	3.6	55-248
191	17	かわらけ	手づくね大	55SK44	埋土(6層付近)	14.4	-	2.9	55-252
191	18	かわらけ	手づくね大	55SK44	11層	13.4	-	2.8	55-256
191	19	かわらけ	手づくね大	55SK44	5層	16.0	-	3.5	55-257
191	20	かわらけ	手づくね大	55SK44	55SK44 6層	13.8	-	2.6	55-259
191	21	かわらけ	手づくね大	55SK44	埋土(6層付近)	14.2	-	2.4	55-260
191	22	かわらけ	手づくね大	55SK44	埋土(6層付近)	12.9	-	3.0	55-261
191	23	かわらけ	手づくね大	55SK44	埋土(6層付近)	12.9	-	2.7	55-262
194	1	かわらけ	手づくね小	56SK80	埋土上層、下層	(9.2)	-	1.9	56-51
194	2	かわらけ	手づくね大	56SK80	埋土上層	(13.4)	-	2.4	56-49
194	3	かわらけ	手づくね大	56SK80	埋土	14.5	-	2.9	56-52
194	4	かわらけ	手づくね大	56SK80	埋土	14.8	-	3.1	56-53
196	1	かわらけ	ロクロ小	70SE1	3層	7.9	4.5	1.5	70-104・70RO k 35
196	2	かわらけ	柱状高台	70SE1	3層	-	5.1	-	70-105・70RO k 38
196	3	かわらけ	ロクロ大	70SE1	1~3層	13.8	8.4	3.4	70-106・70RO k 32
196	4	かわらけ	ロクロ大	70SE1	3層	12.7	6.2	3.1	70-107・70RO k 33
196	5	かわらけ	ロクロ大	70SE1	3層	12.6	6.0	3.0	70-108・70RO k 36
196	6	かわらけ	ロクロ大	70SE1	3層	12.0	6.5	3.7	70-109・70RO k 37
196	7	かわらけ	ロクロ大	70SE1	1~3層	14.6	8.2	4.0	70-110・70RO k 42
196	8	かわらけ	ロクロ大	70SE1	1~3層	15.0	8.4	3.0	70-111・70RO k 43
196	9	かわらけ	ロクロ大	70SE1	3層	14.3	7.2	4.5	70-112・70RO k 44
196	10	かわらけ	ロクロ大	70SE1	3層	14.8	6.4	4.3	70-113・70RO k 45
197	1	かわらけ	ロクロ小	70SE3	1層	8.7	6.2	2.1	70-114・70RO k 1
197	2	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3層	9.1	6.1	1.8	70-115・70RO k 2
197	3	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3層	7.4	5.0	1.7	70-116・70RO k 3
197	4	かわらけ	ロクロ小	70SE3	1層	7.8	5.3	1.7	70-117・70RO k 4
197	5	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3層	8.4	5.4	1.8	70-118・70RO k 5
197	6	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5層	9.4	7.6	1.4	70-119・70RO k 6
197	7	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5層	8.0	4.8	2.3	70-120・70RO k 7
197	8	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5層	8.8	6.5	1.7	70-121・70RO k 8
197	9	かわらけ	ロクロ小	70SE3	4層	10.0	7.6	2.0	70-122・70RO k 9
197	10	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5層	8.8	5.4	1.7	70-123・70RO k 10
197	11	かわらけ	ロクロ小	70SE3	5層	9.5	7.4	1.9	70-124・70RO k 18
197	12	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3層	8.8	5.0	2.0	70-125・70RO k 20
197	13	かわらけ	ロクロ小	70SE3	3層	8.8	6.8	2.1	70-126・70RO k 21



図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
197	14	かわらけ	ロクロ小	70SE3	2層	7.5	5.5	1.6	70-128・70ROk23
197	15	かわらけ	ロクロ大	70SE3	5層	13.8	8.2	6.5	70-129・70ROk11
197	16	かわらけ	ロクロ大	70SE3	5層	14.0	6.8	4.6	70-130・70ROk14
197	17	かわらけ	ロクロ大	70SE3	4層	12.6	5.5	3.3	70-131・70ROk12
197	18	かわらけ	ロクロ大	70SE3	3層	14.0	7.0	3.7	70-132・70ROk15
197	19	かわらけ	ロクロ大	70SE3	3層	15.0	8.2	3.8	70-133・70ROk16
197	20	かわらけ	手づくね小	70SE3	4層	9.4	-	1.7	70-134・70ROk19
197	21	かわらけ	手づくね大	70SE3	4・5層	14.3	-	2.6	70-135・70ROk13
197	22	かわらけ	手づくね大	70SE3	5層	15.1	-	3.2	70-136・70ROk17
197	23	かわらけ	手づくね大	70SE3	4層	14.6	-	3.4	70-137・70ROk25
197	24	かわらけ	手づくね大	70SE3	5層	12.6	-	2.4	70-138・70ROk26
197	25	かわらけ	手づくね大	70SE3	3・4層	15.2	-	3.4	70-139・70ROk27
197	26	かわらけ	手づくね大	70SE3	3・4層	15.8	-	3.2	70-140・70ROk28
197	27	かわらけ	手づくね大	70SE3	3・4層	15.0	-	4.0	70-141・70ROk29
197	28	かわらけ	手づくね大	70SE3	1層	16.2	-	3.5	70-142・70ROk30
198	1	かわらけ	ロクロ小	77SK1	9	(9.2)	(6.4)	1.8	77-450・77ROk220
198	2	かわらけ	ロクロ大	77SK1	9	13.5	6.8	3.4	77-449・77ROk223
198	3	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	8.8	-	1.9	77-459・77ROk240
198	4	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	9.6	-	2.1	77-460・77ROk241
198	5	かわらけ	手づくね小	77SK1	9	9.4	-	2.0	77-461・77ROk242
198	6	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.5	-	3.4	77-451・77ROk224
198	7	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.4	-	3.0	77-452・77ROk230
198	8	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	12.8	-	3.0	77-453・77ROk231
198	9	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	14.9	-	3.4	77-454・77ROk232
198	10	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.8	-	2.7	77-455・77ROk233
198	11	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.0	-	2.3	77-456・77ROk234
198	12	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	13.2	-	3.0	77-457・77ROk235
198	13	かわらけ	手づくね大	77SK1	9	14.0	-	2.9	77-458・77ROk229
198	14	かわらけ	ロクロ小	77SK1	2-3	(8.6)	(6.1)	(1.7)	77-465・77ROk219
198	15	かわらけ	ロクロ大	77SK1	2-3	(15.6)	9.0	3.3	77-464・77ROk218
198	16	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	10.7	-	2.0	77-473・77ROk227
198	17	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	9.8	-	1.8	77-474・77ROk237
198	18	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	8.6	-	1.7	77-475・77ROk238
198	19	かわらけ	手づくね小	77SK1	2-3	8.4	-	2.0	77-476・77ROk239
198	20	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	13.4	-	2.5	77-467・77ROk221
198	21	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.4	-	2.6	77-468・77ROk222
198	22	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.4	-	3.0	77-469・77ROk225
198	23	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	12.9	-	2.5	77-470・77ROk226
198	24	かわらけ	手づくね大	77SK1	2-3	14.0	-	3.0	77-471・77ROk228
205	1	かわらけ	手づくね大	52SK11	埋土最上部	14.4	-	3.3	52-530
205	2	木製品	ちゆう木	52SK11	5層下	28.0	0.8	0.5	52-5216
205	3	木製品	ちゆう木	52SK11	5層下	28.2	1.0	0.5	52-5217
205	4	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	22.4	1.1	0.3	52-5218
205	5	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	28.3	0.9	0.5	52-5219
205	6	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	23.7	1.9	0.5	52-5220
205	7	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	21.0	1.9	0.5	52-5221
205	8	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	18.6	1.0	0.4	52-5222
205	9	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	17.5	1.7	0.4	52-5223
205	10	木製品	ちゆう木	52SK11	5層下	18.6	1.6	0.4	52-5224
205	11	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	18.3	1.5	0.7	52-5225
205	12	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	14.5	1.2	0.3	52-5234
205	13	木製品	ちゆう木	52SK11	5層	15.4	1.1	0.5	52-5235
205	14	木製品	ものさし?	52SK11	5層	14.3	2.4	0.5	52-5236
210	1	かわらけ	ロクロ大	52SK24	7層	14.0	8.8	3.2	52-551
210	2	かわらけ	ロクロ大	52SK24	6層	15.1	8.1	3.9	52-552
210	3	かわらけ	ロクロ大	52SK24	7層	15.1	8.1	3.3	52-553
210	4	かわらけ	ロクロ大	52SK24	7層	15.0	6.1	3.7	52-554
210	5	かわらけ	手づくね小	52SK24	埋土	9.1	-	1.5	52-547
210	6	かわらけ	手づくね小	52SK24	埋土	9.4	-	1.7	52-548
210	7	かわらけ	手づくね小	52SK24	埋土	9.6	-	1.9	52-549
210	8	かわらけ	手づくね大	52SK24	埋土	(15.4)	-	3.4	52-550
210	9	鉄製品	小札	52SK24	6層	8.5	4.3	0.2	52-6026
210	10	鉄製品	小札	52SK24	6層	8.0	4.2	0.2	52-6027
210	11	鉄製品	小札	52SK24	6層	(8.5)	(4.2)	0.2	52-6028
210	12	木製品	ちゆう木	52SK24	6層	22.6	1.0	0.8	52-5246
210	13	木製品	ちゆう木	52SK24	6層	23.0	0.9	0.5	52-5245
210	14	木製品	ちゆう木	52SK24	6層	15.4	1.0	0.5	52-5237
210	15	木製品	ちゆう木	52SK24	7層	15.9	1.6	0.4	52-5244
210	16	木製品	ちゆう木	52SK24	7層	16.2	1.1	0.5	52-5239
210	17	木製品	ちゆう木	52SK24	7層	17.0	1.1	0.3	52-5238
210	18	木製品	ちゆう木	52SK24	7層	14.6	1.4	0.4	52-5242
210	19	木製品	ちゆう木	52SK24	8層	14.6	1.4	0.4	52-5243
210	20	木製品	ちゆう木	52SK24	7層	18.4	1.0	0.7	52-5241
210	21	木製品	ちゆう木	52SK24	8層	16.0	0.8	0.7	52-5240
214	1	かわらけ	ロクロ小	55SK40	上層 埋土	8.4	5.8	1.9	55-164
214	2	かわらけ	ロクロ小	55SK40	埋土下部	8.8	5.5	1.6	55-165
214	3	かわらけ	ロクロ小	55SK40	1層	8.4	5.0	1.8	55-166
214	4	かわらけ	ロクロ大	55SK40	上	13.6	7.3	3.1	55-168

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
214	5	かわらけ	ロクロ大	55SK40	5層?	12.3	6.9	3.4	55-169
214	6	かわらけ	ロクロ大	55SK40	埋土	12.3	6.8	2.9	55-170
214	7	かわらけ	ロクロ大	55SK40	上層 埋土	14.2	6.8	4.5	55-173
214	8	かわらけ	ロクロ大	55SK40	上層 埋土	13.4	6.8	3.1	55-174
214	9	かわらけ	手づくね小	55SK40	7層	9.0	-	1.8	55-175
214	10	かわらけ	手づくね小	55SK40	埋土	8.6	-	1.5	55-176
214	11	かわらけ	手づくね大	55SK40	埋土	13.0	-	2.7	55-177
214	12	かわらけ	手づくね大	55SK40	7層	12.8	-	2.2	55-179
214	13	かわらけ	手づくね大	55SK40	埋土下部	12.6	-	2.4	55-181
214	14	かわらけ	手づくね大	55SK40	4層	13.4	-	2.6	55-183
214	15	かわらけ	手づくね大	55SK40	5層?	16.0	-	3.4	55-185
214	16	木製品	刀子柄	55SK40	7層	13.0	2.6	1.5	55-4080
215	1	かわらけ	ロクロ小	55SK41	5層	9.0	5.1	1.8	55-186
215	2	かわらけ	ロクロ小	55SK41	埋土	8.2	5.2	1.6	55-187
215	3	かわらけ	ロクロ小	55SK41	埋土	8.3	5.9	1.6	55-188
215	4	かわらけ	ロクロ小	55SK41	5層	9.2	4.3	3.3	55-192
215	5	かわらけ	ロクロ大	55SK41	5層	13.1	7.2	3.5	55-194
215	6	かわらけ	ロクロ大	55SK41	5層	13.4	7.0	3.5	55-195
215	7	かわらけ	ロクロ大	55SK41	5層	13.1	6.2	3.7	55-196
215	8	かわらけ	ロクロ大	55SK41	5層	13.3	6.2	3.5	55-197
215	9	かわらけ	手づくね大	55SK41	5層	13.6	6.1	3.1	55-201
215	10	かわらけ	手づくね小	55SK41	5層	9.9	-	2.2	55-202
215	11	かわらけ	手づくね小	55SK41	5層	9.2	-	1.8	55-203
215	12	かわらけ	手づくね大	55SK41	5層	13.4	-	2.9	55-204
215	13	かわらけ	手づくね大	55SK41	5層	13.5	-	2.7	55-205
215	14	かわらけ	手づくね大	55SK41	5層	13.8	-	3.0	55-206
221	1	かわらけ	手づくね小	56SK28	埋土	(8.8)	-	1.6	56-16
221	2	かわらけ	手づくね大	56SK28	埋土	(14.4)	-	3.5	56-14
221	3	かわらけ	手づくね大	56SK28	埋土	13.6	-	3.0	56-15
221	4	かわらけ	手づくね大	56SK28	埋土	13.4	-	2.9	56-18
224	1	かわらけ	手づくね小	56SK33	8層⑨	9.3	-	1.7	56-32
224	2	かわらけ	手づくね小	56SK33	8層	(9.0)	-	1.5	56-34
224	3	かわらけ	手づくね大	56SK33	7層	12.6	-	2.6	56-26
224	4	かわらけ	手づくね大	56SK33	6層①	13.3	-	3.1	56-27
224	5	かわらけ	手づくね大	56SK33	10層⑩	14.2	-	3.4	56-29
224	6	かわらけ	手づくね大	56SK33	56SK33	(14.0)	-	3.0	56-31
224	7	かわらけ	手づくね大	56SK33	11層	12.7	-	3.1	56-30
228	1	かわらけ	ロクロ小	70SK22	6層	(8.6)	5.8	1.7	70-158・70RO k 54
228	2	かわらけ	ロクロ大	70SK22	6層	(12.6)	7.2	3.7	70-159・70RO k 56
228	3	かわらけ	ロクロ大	70SK22	3層	(13.2)	7.3	3.3	70-160・70RO k 61
228	4	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	8.2	-	1.6	70-161・70RO k 46
228	5	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	8.4	-	1.2	70-163・70RO k 49
228	6	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	8.1	-	1.3	70-164・70RO k 50
228	7	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	8.2	-	1.4	70-165・70RO k 51
228	8	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	7.8	-	1.7	70-166・70RO k 52
228	9	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	7.6	-	1.6	70-167・70RO k 53
228	10	かわらけ	手づくね小	70SK22	6層	8.2	-	1.9	70-168・70RO k 55
228	11	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	12.0	-	2.4	70-169・70RO k 47
228	12	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	12.8	-	2.5	70-170・70RO k 57
228	13	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	12.1	-	2.6	70-171・70RO k 58
228	14	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	11.8	-	2.5	70-172・70RO k 59
228	15	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	12.8	-	2.5	70-173・70RO k 60
228	16	かわらけ	手づくね大	70SK22	6層	14.5	-	2.8	70-174・70RO k 62
228	17	木製品	折敷	70SK22	6層	12.2	11.9	0.4	70-360・70RW732
228	18	木製品	折敷	70SK22	6層	8.1	4.6	0.6	70-361・70RW735
228	19	木製品	折敷	70SK22	6層	9.7	5.2	0.5	70-365・70RW733
228	20	木製品	折敷	70SK22	6層	10.4	1.8	0.2	70-366・70RW734
228	21	木製品	椀	70SK22	6層	16.2	-	(5.6)	70-517・70RW737
228	22	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.4	0.9	0.5	70-380・70RW37
228	23	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.7	2.3	0.5	70-381+382・ 70RW32・35+70RW38
228	24	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.7	0.8	0.5	70-383・70RW36・39
228	25	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.6	1.4	0.4	70-388・70RW65
228	26	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.6	1.3	0.4	70-389・70RW192
228	27	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	29.0	0.7	0.1	70-406・70RW125
228	28	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	24.9	1.0	0.6	70-407・70RW99
228	29	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	25.6	0.9	0.3	70-408・70RW146
228	30	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.2	2.3	0.4	70-429・70RW520
228	31	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.2	2.2	0.4	70-430・70RW30
228	32	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.4	1.3	0.3	70-431・70RW449
228	33	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	27.5	1.3	0.4	70-432・70RW43
228	34	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	26.1	1.3	0.5	70-433・70RW96
228	35	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	25.9	1.0	0.4	70-442・70RW140
228	36	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	25.1	1.5	0.3	70-443・70RW189
228	37	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.7	1.3	0.5	70-444・70RW109
228	38	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.9	0.7	0.5	70-445・70RW215
228	39	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	22.9	0.7	0.6	70-446・70RW191
228	40	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	24.2	0.8	0.3	70-447・70RW429

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (ID掲載番号)
228	41	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	23.6	0.9	0.5	70-448・70RW507
228	42	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	20.3	0.5	0.3	70-472・70RW219
228	43	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	19.7	0.6	0.6	70-473・70RW236
228	44	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	19.8	0.8	0.6	70-474・70RW218
228	45	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	20.4	0.6	0.5	70-475・70RW222
228	46	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	19.9	0.5	0.5	70-476・70RW269
228	47	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	20.3	0.6	0.4	70-477・70RW285
228	48	木製品	ちゆう木	70SK22	6層	19.8	0.6	0.5	70-478・70RW227
230	1	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.3	9.4	6.8	1.9	50-94
230	2	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.3	8.8	6.3	1.6	50-95
230	3	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.9	9.9	7.2	1.9	50-96
230	4	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.12	9.0	6.3	1.9	50-97
230	5	かわらけ	ロクロ小	50SE1	NO.13	9.0	6.2	2.0	50-99
230	6	かわらけ	ロクロ小	50SE1	N●13	9.5	6.1	1.8	50-100
230	7	かわらけ	ロクロ小	50SE1	N●13	10.6	7.0	1.8	50-101
230	8	かわらけ	ロクロ小	50SE1	N●15	9.0	6.6	1.8	50-104
230	9	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.1	14.6	6.3	4.0	50-107
230	10	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.2	15.4	7.9	3.4	50-108
230	11	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.4	13.8	7.0	3.1	50-109
230	12	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●5	15.8	8.5	3.1	50-110
230	13	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●7	15.0	8.2	3.2	50-112
230	14	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●8	15.3	8.0	4.0	50-113
230	15	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●8	15.0	7.0	3.8	50-114
230	16	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●9	15.1	8.7	3.4	50-115
230	17	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.11	14.0	7.5	3.8	50-118
230	18	かわらけ	ロクロ大	50SE1	NO.12	15.2	7.3	3.4	50-119
230	19	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●13	16.0	7.8	3.4	50-120
230	20	かわらけ	ロクロ大	50SE1	N●14	15.0	6.5	3.6	50-122
230	21	かわらけ	手づくね大	50SE1	N●14	15.8	-	2.8	50-106
231	1	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	9.2	-	1.7	55-121
231	2	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	8.4	-	2.0	55-124
231	3	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	8.3	-	1.8	55-125
231	4	かわらけ	手づくね小	55SK29	2層	9.0	-	2.2	55-126
231	5	かわらけ	手づくね大	55SK29	埋土	13.4	-	3.0	55-129
231	6	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.5	-	2.8	55-130
231	7	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	12.4	-	2.4	55-131
231	8	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.8	-	3.6	55-133
231	9	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	14.1	-	2.8	55-135
231	10	かわらけ	手づくね大	55SK29	2層	13.0	-	2.6	55-140
231	11	木製品	折敷?	55SK29	2層	33.8	12.1	0.6	55-4054
231	12	木製品	折敷?	55SK29	2層	27.0	2.7	0.3	55-4055
231	13	木製品	折敷?	55SK29	2層	26.7	3.2	0.4	55-4059
231	14	木製品	不明	55SK29	埋土	10.9	5.5	0.4	55-4069
231	15	木製品	墨書木片	55SK29	2層	12.4	1.0	0.1	55-4067
231	16	木製品	不明	55SK29	埋土	17.8	3.4	0.5	55-4070
231	17	木製品	不明	55SK29	埋土	7.8	3.4	0.4	55-4071
232	1	かわらけ	手づくね小	50SD8	集中東	8.9	-	1.9	55-145
232	2	かわらけ	手づくね小	50SD8	埋土	8.7	-	1.8	55-146
232	3	かわらけ	手づくね大	50SD8	埋土	14.7	-	3.3	55-148
232	4	かわらけ	手づくね大	50SD8	埋土	14.4	-	3.0	55-149
232	5	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中東	13.3	-	3.1	55-153
232	6	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中西	14.0	-	3.4	55-155
232	7	かわらけ	手づくね大	50SD8	集中東	14.8	-	3.0	55-156
241	1	かわらけ	ロクロ小	68SK35	68SK35	(9.1)	6.3	1.9	68-1・68ROk18
241	2	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo25	(9.4)	6.8	1.9	68-2・68ROk21
241	3	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo27	9.2	6.4	1.8	68-3・68ROk22
241	4	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo23	9.1	6.3	1.9	68-4・68ROk28
241	5	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo38	9.3	7.3	1.9	68-5・68ROk25
241	6	かわらけ	ロクロ小	68SK35		9.1	6.3	2.0	68-6・68ROk19
241	7	かわらけ	ロクロ小	68SK35	取り上げNo9	9.0	1.6	6.1	68-7・68ROk20
241	8	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo10	13.8	8.1	4.0	68-23・68ROk60
241	9	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo12	13.9	6.7	3.8	68-24・68ROk57
241	10	かわらけ	ロクロ大	68SK35	1層	(13.7)	(5.5)	4.5	68-25・68ROk66
241	11	かわらけ	ロクロ大	68SK35	2層	(13.4)	(7.2)	4.1	68-26・68ROk64
241	12	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo1	(13.9)	7.4	3.8	68-27・68ROk51
241	13	かわらけ	ロクロ大	68SK35	1層	14.3	7.0	4.4	68-28・68ROk45
241	14	かわらけ	ロクロ大	68SK35	1層	(14.8)	6.7	4.5	68-30・68ROk63
241	15	かわらけ	ロクロ大	68SK35	取り上げNo3	14.9	7.9	4.1	68-33・68ROk53
241	16	かわらけ	ロクロ大	68SK35	2層	(14.9)	(7.1)	4.6	68-38・68ROk65
241	17	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo28	9.9	-	1.9	68-40・68ROk4
241	18	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo33	9.4	-	2.0	68-41・68ROk1
241	19	かわらけ	手づくね小	68SK35	取り上げNo40	9.7	-	1.7	68-42・68ROk3
241	20	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo41	14.0	-	3.1	68-45・68ROk44
241	21	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo18	15.5	-	2.9	68-47・68ROk58
241	22	かわらけ	手づくね大	68SK35	1層	15.0	-	2.7	68-48・68ROk47
241	23	かわらけ	手づくね大	68SK35	2層	15.8	-	3.0	68-50・68ROk46
241	24	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo15	14.4	-	3.1	68-51・68ROk39
241	25	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo39	14.8	-	3.0	68-52・68ROk43

圃	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
241	26	かわらけ	手づくね大	68SK35		15.8	-	3.7	68-53・68ROk35
241	27	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo31	15.8	-	3.3	68-51・68ROk40
241	28	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo8	15.6	9.1	3.2	68-55・68ROk42
241	29	かわらけ	手づくね大	68SK35	取り上げNo4	16.2	10.1	3.1	68-56・68ROk36
251	1	かわらけ	ロクロ小	23SA1		(8.0)	(6.0)	2.0	89-81 0731
251	2	かわらけ	手づくね大	23SA1		(12.4)	-	2.3	89-81 0808
251	3	かわらけ	手づくね小	28SA1		(8.6)	5.0	1.6	79-90 901119
251	4	かわらけ	手づくね大	28SA1		(12.2)	-	2.6	75-68 901121
251	5	かわらけ	手づくね大	28SA1		(14.0)	-	3.1	79-70 0118
251	6	かわらけ	ロクロ小	50SA1	86-63	(7.8)	6.4	1.2	
251	7	かわらけ	手づくね大	50SA1	86-63	(12.0)	-	2.3	
251	8	かわらけ	ロクロ小	50SA1	86-63	-	6.5	1.8	
251	9	かわらけ	ロクロ大	50SA1	88-63	-	(7.0)	2.4	88-63 990701
251	10	かわらけ	ロクロ大	50SA1	85-62	-	(7.0)	2.5	85-62
251	11	かわらけ	ロクロ小	52SA1	埋土	7.6	6.6	1.3	52-595
256	1	かわらけ	ロクロ小	21SD7		(8.4)	(6.5)	1.6	103-92 4
256	2	かわらけ	ロクロ大	21SD7		(13.5)	8.0	3.5	103-92 2 2
256	3	かわらけ	ロクロ大	21SD7		(13.0)	6.5	3.0	100-92 49 1
256	4	かわらけ	ロクロ大	21SD7		(13.6)	7.6	3.5	101-92 38 2
256	5	かわらけ	手づくね小	21SD7		(8.2)	-	1.7	103-92 1 2
256	6	かわらけ	手づくね大	21SD7		(13.0)	-	3.0	100-92 49 2
256	7	かわらけ	手づくね大	21SD7		(13.6)	-	3.1	101-92 38 1
256	8	かわらけ	手づくね大	21SD7		(12.6)	-	2.7	101-92 24
256	9	かわらけ	手づくね大	21SD7		(13.6)	-	2.6	103-92 2 1
256	10	かわらけ	手づくね大	21SD7		(13.2)	-	2.7	103-92 1 1
256	11	かわらけ	手づくね大	21SD7		(13.0)	-	3.0	102-92 23
256	12	かわらけ	手づくね小	21SD7		(9.4)	-	2.5	103-92 3
256	13	かわらけ	ロクロ小	52SD29	埋土	6.8	5.3	1.5	52-590
256	14	かわらけ	ロクロ大	52SD29	埋土	(14.0)	7.2	4.1	52-593
256	15	かわらけ	ロクロ大	52SD29	埋土	14.2	7.0	3.3	52-591
256	16	かわらけ	ロクロ大	52SD29	埋土	(15.4)	7.5	3.7	52-592
256	17	かわらけ	ロクロ大	52SD30	埋土	-	7.2	2.1	52-591
256	18	かわらけ	手づくね小	52SD32	埋土	8.4	-	1.9	52-596
256	19	かわらけ	ロクロ小	52SD32	埋土	(8.6)	5.2	2.1	52-597
257	1	かわらけ	ロクロ小	55SX1	2層	9.0	6.0	1.7	55-338
257	2	かわらけ	ロクロ小	55SX1	2層	9.6	6.5	1.5	55-339
257	3	かわらけ	ロクロ小	55SX1	2層	9.2	6.6	1.9	55-340
257	4	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	14.0	7.7	2.8	55-343
257	5	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	14.1	7.6	3.4	55-345
257	6	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	13.4	7.8	3.6	55-346
257	7	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	14.2	7.0	3.1	55-348
257	8	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	14.0	6.6	3.4	55-349
257	9	かわらけ	ロクロ大	55SX1	2層	12.6	7.2	3.2	55-351
258	10	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	8.2	-	1.6	55-352
258	11	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	7.7	-	1.5	55-353
258	12	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.1	-	1.4	55-354
258	13	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.2	-	1.8	55-360
258	14	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	8.8	-	1.6	55-366
258	15	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.6	-	1.6	55-371
258	16	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.2	-	2.7	55-355
258	17	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.3	-	2.6	55-356
258	18	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.8	-	2.9	55-357
258	19	かわらけ	手づくね大	55SX1	1層	13.4	-	3.2	55-358
258	20	かわらけ	手づくね大	55SX1	1層	13.5	-	2.3	55-359
258	21	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.0	-	2.5	55-361
258	22	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.6	-	2.9	55-362
258	23	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.7	-	3.4	55-363
258	24	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.6	-	3.1	55-364
258	25	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.7	-	3.4	55-365
258	26	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.0	-	2.9	55-367
258	27	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.7	-	2.9	55-368
258	28	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.2	-	2.8	55-369
258	29	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.2	-	3.1	55-370
258	30	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.8	-	2.9	55-371
258	31	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	12.8	-	2.4	55-372
258	32	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.2	-	2.6	55-373
258	33	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	13.5	-	3.2	55-375
258	34	かわらけ	手づくね大	55SX1	2層	14.0	-	3.2	55-376
258	35	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.7	-	2.0	55-377
258	36	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.6	-	2.2	55-378
258	37	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	8.8	-	2.0	55-379
258	38	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	8.9	-	2.0	55-380
258	39	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.0	-	1.8	55-381
258	40	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.4	-	2.0	55-382
258	41	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.2	-	1.9	55-383
258	42	かわらけ	手づくね小	55SX1	2層	9.4	-	2.0	55-384
258	43	かわらけ	手づくね小	55SX1	埋土	9.2	-	2.0	55-385
259	1	かわらけ	ロクロ大	70SX1	検出面	(14.4)	(7.4)	3.5	70-205・70ROk73

図	番号		種別	出土遺構	層位	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	備考・登録番号 (旧掲載番号)
259	2	かわらけ	ロクロ大	70SX1	検出面	(13.8)	6.6	3.9	70-206・70RO k77
259	3	かわらけ	ロクロ大	70SX1	検出面	(13.9)	7.5	3.3	70-207・70RO k78
259	4	かわらけ	手づくね大	70SX1	検出面	15.1	-	-	70-208・70RO k72
259	5	国産陶器	渥美壺	70SX1		-	9.1	(23.6)	70-215・70ROt210
259	6	国産陶器	渥美壺	70SX1		-	-	-	70-216・70ROt186
261	1	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.4	-	1.6	28-4075
261	2	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.9	-	1.8	28-4076
261	3	かわらけ	手づくね小	28SX1		9.0	-	2.1	28-4077
261	4	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.0	-	1.7	28-4078
261	5	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.2	-	1.7	28-4079
261	6	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.5	-	1.7	28-4080
261	7	かわらけ	手づくね小	28SX1		8.3	-	1.6	28-4081
261	8	銅製品	輪宝	28SX1	埋土下部	10.2	4.3	-	28-4082
261	9	鉄製品	椀	28SX1	埋土下部	27.0	2.2	-	28-4083

図	番号		種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載報告書登録番号			
262	埋-197	国産陶器	渥美 甕	21SD1		岩手埋文1995			
262	埋-198	国産陶器	渥美 甕	21SD1		岩手埋文1995			
262	70-215	国産陶器	渥美 壺	70SX1		図260-5			
262	55-1087	国産陶器	渥美 壺	55SK45	埋土	55次調査概報 (岩手県教委20029)			
262	52-1064	国産陶器	渥美 壺	52SD26	埋土	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
262	52-1066	国産陶器	渥美 壺	52SD26	埋土	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
262	埋-1982	国産陶器	渥美 甕	21SE4	埋土	岩手埋文1995			
262	52-1067	国産陶器	渥美 壺	52SD26	埋土	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
262	52-1058	国産陶器	渥美 片口鉢	52SE1	12層下部	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
262	埋-253	国産陶器	渥美 山茶碗	21SD1		岩手埋文1995			
262	72-207	国産陶器	渥美 山茶碗	72SD2 ⑤	底面直上	図60-14			
262	埋-195	国産陶器	常滑 甕	21SD1		岩手埋文1995			
262	埋-202	国産陶器	常滑 甕	21SD1		岩手埋文1995			
262	55-1014	国産陶器	常滑 広口壺	55SK49	2層	55次調査概報 (岩手県教委20029)			
262	72-66	国産陶器	常滑 甕	72SD1 ①	6・25層	72次調査概報 (岩手県教委2012)			
262	52-1010	国産陶器	常滑 不明	52SD26	埋土	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
263	埋-203	国産陶器	常滑 甕	21SD1		岩手埋文1995			
263	52-1005	国産陶器	常滑 片口鉢	52SE8	9層	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
263	74-399	国産陶器	常滑 片口鉢	72SD1 ③	23層中～下位	74次調査概報 (岩手県教委2014)			
263	76-355	国産陶器	常滑 片口鉢	76SD1	A4	76次調査概報 (岩手県教委2016)			
263	76-281	国産陶器	常滑? 片口鉢	76SD1	B6	76次調査概報 (岩手県教委2016)			
263	埋-217	国産陶器	渥美 三筋壺	21SD1		岩手埋文1995			
263	埋-228	国産陶器	須恵器系 壺	21SD1		岩手埋文1995			
263	52-1113	国産陶器	須恵器系 壺	52SE3	埋土	52次調査概報 (岩手県教委2001)			
263	52-1141	国産陶器	水沼 壺	調査区表採		52次調査概報 (岩手県教委2001)			
263	50-1188	国産陶器	水沼 片口鉢	37SE2	2層	50次調査概報 (岩手県教委2000)			
263	52-1140	国産陶器	水沼 壺	64-59検出		52次調査概報 (岩手県教委2001)			
264	77-19	国産陶器	渥美 甕	21SD1	黒色土下層青灰色土	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-62	国産陶器	渥美 甕	21SD1	黒色土4下層	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-233	国産陶器	渥美 甕	21SD1	埋土最上部	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-349	国産陶器	渥美 甕	21SD1	埋土上部	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-491	国産陶器	常滑 甕	pp31	埋土	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-526	国産陶器	渥美 甕	85-104	旧道上位攪乱層	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-565	国産陶器	渥美 甕	南西部整地層	上面(検出面) クリーニング時	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-617	国産陶器	渥美 甕	北区東半	検出面以上	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-662	国産陶器	渥美 甕	北区一拵	検出面	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	77-734	国産陶器	渥美 甕	北区一拵	一拵	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	70-296	国産陶器	渥美 甕	北側	表土	70次調査概報 (岩手県教委2011)			
264	70-349	国産陶器	須恵器系 甕	北区 堀トレンチ	検出面	70次調査概報 (岩手県教委2011)			
264	78-189	国産陶器	渥美 甕	21SD1	表土・2～5層以上相当	78・79次調査概報 (岩手県教委2018)			
264	78-427	国産陶器	常滑 甕	表土		78・79次調査概報 (岩手県教委2018)			
264	79-679	国産陶器	渥美 甕	高位区	トレンチ・カクラン層一拵	78・79次調査概報 (岩手県教委2018)			
264	77-405	国産陶器	渥美 甕	21SD2 T1	埋土上部	77次調査概報 (岩手県教委2017)			
264	76-291	国産陶器	渥美 甕	76SD1	B5～B6	76次調査概報 (岩手県教委2016)			
264	73-71	国産陶器	渥美 甕	72SD2 ⑩・4区	14・18層 褐灰色土	73次調査概報 (岩手県教委2013)			
264	73-371	国産陶器	渥美 甕	B3区 北ベルト	II層	73次調査概報 (岩手県教委2013)			
264	75-374	国産陶器	常滑 甕		1	75次調査概報 (岩手県教委2015)			
264	73-357	国産陶器	常滑 甕	55-47	盛土	73次調査概報 (岩手県教委2013)			
264	69-73	国産陶器	渥美 甕	21SD1	6層	69次調査概報 (岩手県教委2010)			
264	69-67	国産陶器	渥美 甕	21SD1	2層	69次調査概報 (岩手県教委2010)			
269	77-448	中国産陶磁器	白磁四耳壺	21SD2	8層相当層	図34-92			
269	50-2008	中国産陶磁器	白磁四耳壺	30SE3	3層	図180-30			
269	埋-1987	中国産陶磁器	白磁壺類	21SE4	埋土 (89-83)	岩手埋文1995			
269	埋-499	中国産陶磁器	白磁壺類	21SD1	95-95	岩手埋文1995			
269	55-2024	中国産陶磁器	白磁壺	75-62	検出時	55次調査概報 (岩手県教委20029)			
269	57-2027	中国産陶磁器	白磁碗	57SD41	⑤	57次調査概報 (岩手県教委2004)			

図	番号		種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載報告書登録番号
269	埋-477	中国産陶磁器	白磁碗	21SD1	107-89	岩手埋文1995
269	52-2034	中国産陶磁器	白磁壺	52SD6	埋土	52次調査概報(岩手県教委2001)
269	埋-478	中国産陶磁器	白磁碗	21SD1	98-96	岩手埋文1995
269	55-2003	中国産陶磁器	白磁碗	55SK44	11層	55次調査概報(岩手県教委2002)
269	75-61	中国産陶磁器	白磁壺	整地1トレンチ	整地層(新)	75次調査概報(岩手県教委2015)
269	52-2068	中国産陶磁器	青磁碗	52SD26	埋土	52次調査概報(岩手県教委2001)
269	56-2031	中国産陶磁器	陶器 瓶類	56SK31	1層	56次調査概報(岩手県教委2003)
269	74-909	中国産陶磁器	高麗青磁	72SD1 ③	1・2層	74次調査概報(岩手県教委2014)
269	74-910	中国産陶磁器	高麗青磁	72SD1 ③	2層	74次調査概報(岩手県教委2014)
269	74-908	中国産陶磁器	青磁皿	72SD1 ③	18・19層・23・29層西端No.35	74次調査概報(岩手県教委2014)
269	55-2044	中国産陶磁器	青磁皿	調査区表採		55次調査概報(岩手県教委2001)
269	75-140	中国産陶磁器	絞胎陶器 瓶	857-76)	C1-C2	75次調査概報(岩手県教委2002)
269	75-138	中国産陶磁器	青磁皿	75SD3 1-2グ リットベルト	A1-A2	75次調査概報(岩手県教委2015)
269	75-141	中国産陶磁器	青磁皿	75SD4か(58 -78)	B1-B3	75次調査概報(岩手県教委2015)
269	69-122	中国産陶磁器	青磁皿	21SD1	3層	69次調査概報(岩手県教委2010)
269	56-2003	中国産陶磁器	青磁袋物	56SK19	検出時	56次調査概報(岩手県教委2003)
269	52-2075	中国産陶磁器	青白磁梅瓶?	52SK23	埋土	52次調査概報(岩手県教委2001)
269	72-180	中国産陶磁器	青白磁小壺?	72SD1 Cトレン チ	14層	72次調査概報(岩手県教委2012)
269	68-180	中国産陶磁器	中国陶器 壺類	90-70.71	2-5層	68次調査概報(岩手県教委2009)
269	埋-471	中国産陶磁器	中国陶器 四耳壺	21SD1	108-90	岩手埋文1995
281	埋-1645	木製品	刀子 柄	21SE2	埋土下部	岩手埋文1995
281	埋-1647	木製品	刀子 柄	21SE2	埋土最下部	岩手埋文1995
281	埋-2748	木製品	刀子 柄	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2749	木製品	刀子 柄	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2863	木製品	小刀 柄	31SE2	9層	岩手埋文1995
281	52-5059	木製品	刀子 柄	52SE8	9層下部	図185-71
281	74-1056	木製品	刀子 柄	72SD1 ③	32層	図64-88
281	74-1061	木製品	刀子 柄	72SD1 ③	29・30層	74次調査概報(岩手県教委2014)
281	74-1062	木製品	刀子 柄	72SD1 ③	29・30層	74次調査概報(岩手県教委2014)
281	埋-2507	木製品	小刀 鞘	28SE11	15層	岩手埋文1995
281	52-5058	木製品	刀子 鞘	52SE8	9層下部	図185-72
281	69-246	木製品	鞘	21SD2 (69SX3)	C層	69次調査概報(岩手県教委2010)
281	75-503	木製品	鞘	72SD1	10・15層	図53-13
281	埋-2746	木製品	刷毛 柄	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-542	木製品	漆刷毛	21SD1	97-95	岩手埋文1995
281	52-5063	木製品	木槌	52SE8	9層下部	図185-74
281	埋-3824	木製品	木槌状木製品	31SK08	3層	32.0・11.5・2.6cm。岩手埋文1995
281	76-993	木製品	杵	21SD2	20	図35-131
281	56-4044	木製品	鉄	56SD38	28層	図53-7
281	埋-2756	木製品	糸巻 枠木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2757	木製品	糸巻 枠木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2758	木製品	糸巻 枠木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	69-258	木製品	糸巻 枠木	21SD2 (69SX3)	C層	図35-135
281	埋-2760	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2761	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2762	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2767	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2768	木製品	糸巻 横木	28SE16	4層	岩手埋文1995
281	埋-2769	木製品	糸巻 横木	28SE16	4層	岩手埋文1995
281	埋-2770	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	埋-2771	木製品	糸巻 横木	28SE16	3層	岩手埋文1995
281	69-257	木製品	糸巻 横木	21SD2 (69SX3)	C-F層	図35-133
281	埋-558	木製品	御簾錘	21SD1	95-95	15.6・1.8・1.7cm。岩手埋文1995
281	埋-559	木製品	御簾錘	21SD1	97-95	17.9・1.8・1.9cm。岩手埋文1995
281	70-497	木製品	紡輪	70SK22	6層	3.7・1.7・0.4cm。70次調査概報(岩手県教委2011)
281	74-976	木製品	紡輪	72SD1 ③	18-23層	7.2・4.1・1.0cm。74次調査概報(岩手県教委2014)
281	50-4011	木製品	不明	50SE3	3層	図181-37
281	69-261	木製品	不明木製品(機織 具カ)	21SD2 (69SX 3)	C層	図35-135
281	埋-3262	木製品	不明	31SE7	5層	37.9・2.0・1.5cm。岩手埋文1995
282	埋-560	木製品	網針	21SD1	105-95	(15.5)・4.3・0.8cm。岩手埋文1995
282	52-5050	木製品	扇骨	52SE8	9層	図185-68
282	74-1048	木製品	扇骨	72SD1 ③	30b層	74次調査概報(岩手県教委2014)
282	75-694	木製品	扇骨	2-3ベルト	C1-C3	74次調査概報(岩手県教委2014)
282	74-1085	木製品	扇骨	72SD1 中央ト レンチ	30b層	74次調査概報(岩手県教委2014)
282	52-5056	木製品	櫛	52SE8	9層下部	図185-70
282	52-5057	木製品	櫛	52SE8	9層	図185-71
282	埋-1156	木製品	差歯下駄	41SD2	Bトレンチ	岩手埋文1995
282	埋-2940	木製品	連歯下駄	31SE3	6層	岩手埋文1995
282	埋-2941	木製品	連歯下駄	31SE3	6層	岩手埋文1995
282	50-4001	木製品	下駄	50SE3	3層	図181-32
282	埋-2957	木製品	連歯下駄	31SE4	4層	岩手埋文1995
282	74-1044	木製品	下駄	72SD1 ③	30b層	図64-85

図	番号		種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載報告書登録番号
282	74-1047	木製品	下駄	72SD1 中央トレンチ	31層	図64-86
282	75-513	木製品	漆塗り下駄	SD1	16層	図53-17
283	埋-1585	木製品	円形曲物	21SE1	底面	30.6・29.6・1.3cm。岩手埋文1995
283	埋-1586	木製品	円形曲物	21SE1	埋土中部	30.5・27.7・1.3cm。岩手埋文1995
283	埋-3406	木製品	円形曲物	21SK23	埋土下部	25.2・高さ21.3cm。岩手埋文1995
283	埋-3407	木製品	円形曲物	21SK23		25.0・高さ19.2cm。岩手埋文1995
283	埋-2364	木製品	長方形曲物 底板	28SE4	21層	47.8・41.4・0.8cm。岩手埋文1995
283	52-5081	木製品	栓	52SE8	6層	図185-75
283	52-5083	木製品	栓	52SE8	9層	図185-76
283	52-5082	木製品	栓	52SE8	9層下部	図185-77
283	69-264	木製品	栓	21SD1	10・11・14層	69次調査概報(岩手県教委2010)
283	70-496	木製品	栓	70SK22	6層	70次調査概報(岩手県教委2011)
283	埋-1169	木製品	腕 未製品	41 S D2	Bトレンチ	18.2・10.3・7.0 cm。岩手埋文1995
283	74-1057	木製品	別り物	72SD1 ③	29・30層	図64-89
283	74-979	木製品	箸	72SD1 ③	23層中～下位	20.8・0.6・0.5cm。74次調査概報(岩手県教委2014)
283	74-980	木製品	箸	72SD1 ③	23層中～下位	20.2・0.5・0.5cm。74次調査概報(岩手県教委2014)
283	埋-676	木製品	杓子	21SD1	95-95	岩手埋文1995
283	52-5062	木製品	杓子	52SE8	9層	52次調査概報(岩手県教委2001)
283	埋-2822	木製品	杓子	31SE1	2S層	岩手埋文1995
283	74-1004	木製品	筵状	72SD1 ③	23層中～下位	74次調査概報(岩手県教委2014)
284	50-4025	木製品	折敷 底板	50SE3	3層	図181-51
284	埋-2996	木製品	折敷 底板	31SE6	8層	25.0・19.8・0.7cm。岩手埋文1995
284	56-4109	木製品	折敷(底板・縁)	56SD39 T4	14～15層	図53-11
284	50-4028	木製品	折敷 底板	50SE3	3層	図181-40
284	74-986	木製品	形代	72SD1 ③	23層中～下位	図64-99
284	埋-682	木製品	物差	21SD1	95-95	47.6・2.4・1.0cm。岩手埋文1995
284	埋-2745	木製品	物差	28SE16	3層	-・1.9・0.8cm。岩手埋文1995
284	52-5236	木製品	物差か	52SK11		図205-14
284	埋-3959	木製品	硯	31SK80	3層	13.7・6.2・1.4cm。岩手埋文1995
284	埋-694	木製品	毬	21SD1	105-95	3.9・4.2・4.9cm。岩手埋文1995
284	埋-1533	木製品	将棋駒	23SG1	CV区	2.9・2.2・0.4cm。岩手埋文1995
284	78-560	木製品	将棋駒	21SD1 T2	7層	3.0・2.0・0.5cm。78・79次調査概報(岩手県教委2018)
284	埋-1208	木製品	独楽	41 S D2	Bトレンチ	径6.9×(5.9)・高5.0cm。岩手埋文1995
284	74-1058	木製品	独楽	72SD1 ③	29・30層	図64-90
284	52-5087	木製品	木トンボ	52 S E8	10層	図185-80
284	埋-1207	木製品	木トンボ	41 S D2	Bトレンチ	11.4・3.0・0.6cm。岩手埋文1995
284	埋-1206	木製品	羽子板状木製品	41 S D2	Bトレンチ	32.0・8.7・1.0cm。岩手埋文1995
284	埋-2130	木製品	宝塔	28SE3	4層	高(11.0)・台部4.6×5.1cm。岩手埋文1995
284	50-4013	木製品	宝塔	50SE3	3層	図181-38
284	埋-1212	木製品	不明	41 S D2	Bトレンチ	29.8・14.4・0.5cm。岩手埋文1995
284	52-5089	木製品	形代	52 S E8	10層	図185-83
284	52-5090	木製品	形代	52 S E8	10層	図185-84
284	74-1055	木製品	形代	72SD1 ③	29・30層	図64-87
284	埋-690	木製品	笹塔婆	21SD1	96-95	岩手埋文1995
284	埋-1211	木製品	笹塔婆	41 S D2	Bトレンチ	岩手埋文1995
284	50-4012	木製品	笹塔婆?	50SE3	3層	図181-39
284	埋-2742	木製品	呪符	28SE16	3層	17.6・1.7・0.4cm。岩手埋文1995
284	埋-2743	木製品	呪符	28SE16	3層	18.3・1.9・0.3cm。岩手埋文1995
285	75-535	木製品	部材	72SD1 1トレンチ	16層	図53-15
285	74-982	木製品	腕底	72SD1 ③	23層中～下位	図64-102
285	74-983	木製品	円形板	72SD1 ③	23層	図64-105
285	74-1106	木製品	板材(杭付?)	72SD1 ③	29層上面西側	11.6・9.5・0.5cm。74次調査概報(岩手県教委2014)
285	74-1006	木製品	曲物底	72SD1	23層中～下位	図64-103
285	74-1009	木製品	円形板	72SD1 ③	18層・19層上位	図64-104
285	52-5091	木製品	部材	52 S E8	9層	図185-81
285	52-5092	木製品	部材	52 S E8	9層下部	図185-82
285	69-262	木製品	脚	21SD1	10・11・14層	69次調査概報(岩手県教委2010)
285	50-4010	木製品	不明	50SE3	3層	図181-36
285	78-535	木製品	加工木材	21SD1 T2	7層	19.0・8.5・0.6cm。78・79次調査概報(岩手県教委2018)
285	埋-711	木製品	火鑽板	21SD1	96-95	(20.3)・2.9・0.9cm。岩手埋文1995
285	69-247	木製品	火鑽板	21SD2 (69 S X3)	C層	19.1・2.2・1.4cm。69次調査概報(岩手県教委2010)
285	埋-561	木製品	櫛歯状木製品	21SD1	105-95	17.7・(5.8)・1.2cm。岩手埋文1995
285	埋-745	木製品	飾り具?	21SD1	96-96	27.0・13.2・0.3cm。岩手埋文1995
285	埋-782	木製品	蜜柑玉状木製品	21SD1	103-95	4.8・4.3・3.0cm。岩手埋文1995
285	埋-2747	木製品	鋸歯縁状木製品	28SE16	3層	(14.5)・3.8~4.1・0.6cm。岩手埋文1995
285	埋-1257	木製品	栓状木製品	41 S D2	Bトレンチ	8.6・8.3cm。岩手埋文1995
285	69-250	木製品	飾具	21SD2 (69SX3)	C層	5.2・5.1・0.5cm。69次調査概報(岩手県教委2010)
285	74-1113	木製品	不明	72SD1 ③	29・30層	2.6・3.6・2.5cm。74次調査概報(岩手県教委2014)
285	74-1114	木製品	不明	72SD1 ③	29・30層	高3.9・4.8・4.4cm。74次調査概報(岩手県教委2014)

図	番号		種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載報告書登録番号
285	74-977	木製品	箸	72SD1 ③	23層中～下位	23.3・1.2・1.1cm。74次調査概報（岩手県教委2014）
285	74-978	木製品	箸	72SD1 ③	23層中～下位	23.2・1.1・1.1cm。74次調査概報（岩手県教委2014）
285	50-4009	漆製品	部材	50SE3		図181-35
285	埋-3265	漆製品	不明	31SE7	北半5層	(24.8)・2.8・1.7cm。岩手埋文1995
285	埋-4000	漆製品	不明	41SK7	北半10層	(20.4)・1.7・0.8cm。岩手埋文1995
286	69-351	木製品	橋部材	69SX3		図35-146
286	69-352	木製品	橋部材	69SX3		図35-147
286	69-353	木製品	橋部材	69SX3		55.4・19.2・17.2cm。69次調査概報（岩手県教委2010）
286	69-354	木製品	橋部材	69SX3		62.0・17.9・14.6cm。69次調査概報（岩手県教委2010）
286	69-355	木製品	橋部材	69SX3		図35-148
286	69-356	木製品	橋部材	69SX3		図35-149
286	埋-1650	木製品	井戸枠	21SE2		177.5・22.5・13.5cm。岩手埋文1995
286	埋-1652	木製品	井戸枠	21SE2		152.0・22.0・11.5cm。岩手埋文1995
286	埋-2877	木製品	板材	31SE2	9層	149.2・13.5・16.5cm。岩手埋文1995
286	埋-2878	木製品	板材	31SE2	9層	148.5・13.8・1.2cm。岩手埋文1995
286	埋-2879	木製品	板材	31SE2	9層	139.5・17.1・1.2cm。岩手埋文1995
286	埋-2881	木製品	板材	31SE2	9層	148.8・14.4・1.2cm。岩手埋文1995
286	埋-1649	木製品	井戸枠	21SE2		117.0・18.5・16.0cm。岩手埋文1995
286	埋-2821	木製品	部材	31SE1	2S層	55.6・5.0・4.6cm。岩手埋文1995
286	埋-2817	木製品	部材	31SE1	2S層	58.4・4.8・4.8cm。岩手埋文1995
286	埋-2818	木製品	部材	31SE1	2S層	85.0・13.4・2.4cm。岩手埋文1995
286	埋-2819	木製品	部材	31SE1	2S層	80.4・15.4・3.4cm。岩手埋文1995
286	埋-2820	木製品	部材	31SE1	2S層	80.6・14.8・2.8cm。岩手埋文1995
286	埋-2862	木製品	破風板	31SE2	9層	175.8・9.6～12.6・1.6～1.8cm。岩手埋文1995
286	埋-5086	木製品	部材	52SE8	9層下部	図185-79
286	埋-3259a	木製品	格子	31SE7	5層	岩手埋文1995
287	埋-1663	漆製品	椀	21SE2	埋土下部	岩手埋文1995
287	埋-1665	漆製品	椀	21SE2	埋土下部	岩手埋文1995
287	75-602	漆製品	漆椀	72SD2 2-3ゲリッド	E9～E10	図53-3
287	埋-1177	漆製品	椀	41SD2	Bトレンチ	岩手埋文1995
287	52-5007	漆製品	漆器椀	52SE8	9層下部	図185-64
287	55-4001	漆製品	漆器椀	55SE1	19層	図188-24
287	74-961	漆製品	漆椀	72SD1 ③	18・19層・23・29層西端 No.61	図64-98
287	74-1021	漆製品	漆椀	72SD1 ③	29・30層	図64-80
287	74-1022	漆製品	漆椀	72SD1 ③	32層	図64-81
287	75-601	漆製品	漆椀	72SD2 2-3ベルト	E9～E10	図53-2
287	74-1023	漆製品	漆椀	72SD1 ③	29・30層	図64-82
287	74-1024	漆製品	漆椀	72SD1 ③	32層	図64-83
287	74-982	漆製品	椀底	72SD1 ③	23層中～下位	図64-102
287	埋-787	漆製品	漆漉布	21SD1	-	岩手埋文1995
287	埋-3297	漆製品	手づくね大	21SD1	3層最下部	岩手埋文1995
287	埋-1583	漆製品	筥	21SE1	埋土下部	長(6.7)・外径2.1cm。岩手埋文1995
288	埋-1599	金属製品	刀子	21SE1	埋土中部	岩手埋文1995
288	埋-3717	金属製品	金槌	28SK14	底面	13.9・2.3～3.4・0.8～2.6cm。岩手埋文1995
288	埋-3718	金属製品	鑿	28SK14	底面	全長(25.2)・袋部径3.3・柄部径3.0×3.2cm。岩手埋文1995
288	埋-2505a	金属製品	簪	28SE11	15層	長(10.6)・幅(推定10.8)・0.4。岩手埋文1995
288	埋-2505b	金属製品	香薬			岩手埋文1995
288	埋-826	金属製品	鉄斧	21SD1	101-95。中部	長(14.8)・刃部幅5.5・厚4.4cm。岩手埋文1995
288	埋-4001	金属製品	手斧	41SK7	埋土最下部 12層	全長10.5・刃部[長4.9・幅3.5～5.9・厚0.1～0.7]・袋部[最長3.7・外径2.4×3.0・内径2.0×2.3・厚0.5]cm。岩手埋文1995
288	77-770	金属製品	鋤先	77SK3	2a層	11.8・9.8・1.5cm。77次調査概報（岩手県教委2017）
288	埋-827	金属製品	環状金具	21SD1	98-95	長(5.0)・頸部幅2.1・身部0.8×0.9cm。岩手埋文1995
288	69-370	金属製品	釘	21SD2	C層	69次調査概報（岩手県教委2010）
288	52-6026	金属製品	小札	52SK24	6層	図210-9
288	52-6027	金属製品	小札	52SK24	6層	図210-10
288	50-5012	金属製品	提子金具	90-67検出時		
288	埋-4082	金属製品	輪宝	28SX1	底面	図262-9
288	埋-4083	金属製品	轆	28SX1	底面	図262-8
288	埋-2902	金属製品	松鶴鏡	31SE2	底部直上 11層	径11.5・内区系8.25・重量26.4g・縁高0.8・縁幅0.8・紐座径2.0cm。岩手埋文1995
288	埋-2481	金属製品	八稜鏡	28SE9	北半灰色土	縁高1.1・厚0.3～0.6cm。岩手埋文1995
288	埋-823	金属製品	掛金具	21SD1	95-95。下部	長8.6・径0.6・環状部径1.3cm。岩手埋文1995
288	埋-3676	金属製品	鉄鈴	23SK83	埋土下部	4.9・4.8・-cm。岩手埋文1995
288	50-5003	金属製品	印章	50SE3		図180-31
288	埋-824	金属製品	飾り具	21SD1	94-96。底面直上	長15.2・幅1.4・厚0.1・目釘孔径0.2cm。岩手埋文1995



図	番号		種別	出土遺構	層位	備考・掲載図版・掲載報告書登録番号
289	埋-3617	金属製品	火舎	21SK108	埋土下部	外径40.0・内径30.0・高13.2・鐫幅5.1・径2.1×2.5cm。岩手埋文1995
289	埋-3618	金属製品	花瓶	21SK108	埋土下部	高29.7・最大径32.2cm。岩手埋文1995
289	埋-822	金属製品	内耳鉄鍋	21SD1	95-95 底面	口径33.6・器高16.9・器厚0.5cm。岩手埋文1995
290	埋-3539a	木製品	木箱	21SK78	埋土下部	12.2・10.6・0.2cm。岩手埋文1995
290	埋-3539b	石製品	温石	21SK78	埋土下部	12.7・9.5・1.5cm。岩手埋文1995
290	埋-3959	木製品	硯	31SK80	3層	13.7・6.2・1.4cm。岩手埋文1995
290	埋-3857	石製品	石硯	31SK42	2層	8.6・4.7・1.5cm。岩手埋文1995
290	52-528	土製品	埴塼	52SE10	5層	図187-32
290	埋-1360	石製品	石鍋	97-92-pp5		口唇部厚1.3・耳厚1.0cm。岩手埋文1995
290	埋-4838	石製品	石鍋	97-94	I層	高(3.3)・幅(7.9)・厚1.3cm。岩手埋文1995
290	埋-4839	石製品	石鍋	77-66	I層	高(7.1)・幅(5.0)・厚1.3cm。岩手埋文1995
290	埋-1672	石製品	石帯	21SE2	最下部	4.0・(3.1)・0.7cm。岩手埋文1995
290	49-485	石製品	砥石	88-77 SX10		(3.7)・(3.8)・0.7cm。岩手埋文1995
290	49-487	石製品	砥石	87-72	Ⅲ b層	(11.0)・6.3・1.6cm。岩手埋文1995
290	埋-1334	瓦	鬼瓦	41SD2	58-68	

関連年表

年号	西暦	事 項
天喜四	1056	この頃、藤原経清の子として藤原清衡が生まれる。
康平五	1062	前九年合戦が終わり、清衡は母とともに清原氏へ。
延久二	1070	延久合戦起こる。
応徳三	1086	白河院政が始まる。
寛治元	1087	後三年合戦終わる。
寛治五	1091	清衡が摂関家に馬を進上する。
	1100頃	江刺郡豊田館から岩井郡平泉に拠点を移す。
長治二	1105	清衡が中尊寺最初院を建立。
天治元	1124	中尊寺に金色堂が建立される。
大治元	1126	中尊寺に鎮護国家大伽藍一区を建立（落慶法要）。
大治三	1128	清衡没（73歳）
大治四	1129	鳥羽院政が始まる 清衡長男惟恒と次男基衡の跡目争いがあり、基衡が勝利。
康司元	1142	信夫郡の検注をめぐって陸奥守藤原師綱と基衡が対立する。
康司二	1143	藤原基成が陸奥守となる。これ以降、基成一族が数代にわたって陸奥守となる。
久安三	1148	この頃から仁平三（1153）年にかけて陸奥・出羽の摂関家領荘園をめぐり、基衡と左大臣藤原頼長の交渉が行われる。
久安六	1150	この頃、毛越寺園隆寺が建立される。
久寿元	1154	鳥羽城南宮祭競馬に基衡進上の馬がみえる。
保元元	1156	保元の乱
保元二	1157	この頃に基衡没。秀衡が当主に。
保元三	1158	後白河院政が始まる。
平治元	1159	平治の乱
仁安二	1167	平清盛が太政大臣に。
嘉応元	1169	中尊寺釈尊院五輪塔銘
嘉応二	1170	秀衡、従五位下に昇り、鎮守府将軍に任ぜられる。
承安四	1174	源義経、奥州に下る。
治承四	1180	源頼朝が挙兵。義経、平泉を出る。
養和元	1181	秀衡、陸奥守に補任。
元暦元	1184	秀衡、東大寺大仏の鍍金のため、金5000両を進上する。
文治元	1185	平家滅亡。
文治二	1186	奥州藤原氏の貢馬、貢金が鎌倉を経由することとなる。
文治三	1187	源義経、奥州に下る。 秀衡没（66歳）。
文治五	1189	文治5年奥州合戦。藤原泰衡没。 大河兼任の乱。
建久六	1195	葛西清重、伊沢家景に源頼朝が平泉寺塔の修理を命ずる。
正応元	1288	鎌倉幕府が中尊寺金色堂に覆堂を建てる。

## 報告書抄録

ふりがな	ひらいずみいせきぐんはつくつちょうさほうこくしょ やなぎのごしょいせき							
書名	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡							
副書名	堀内部地区内容確認調査							
巻次	本文編							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第155集							
編著者名	櫻井友梓							
編集機関	岩手県教育委員会							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1							
発行年月日	西暦2019年3月29日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
やなぎのごしょいせき 柳之御所遺跡	いわてけん 岩手県 にしいわいぐん 西磐井郡 ひらいずみちやう 平泉町 ひらいずみあざ 平泉字 やなぎのごしょくない 柳御所地内	03402	NE76-0190	38度 59分 28秒	141度 7分 35秒	—	—	史跡整備に 向けた内容 確認調査
所収遺跡名	種別	おもな 時代	おもな遺構	おもな遺物		特記事項		
柳之御所遺跡	居館跡	平安 時代	・堀跡2条 ・池跡 ・掘立柱建物跡 ・堀跡 ・橋跡 ・井戸跡 ・トイレ状土坑 ・祭祀遺構 など	かわらけ 国産陶器（渥美・常 滑など） 中国産陶磁器（白 磁・青白磁・中国陶 器） 木製品 木簡など		・柳之御所遺跡堀内部 の遺構の様相が把握 できた。 ・土器や木製品など宴 会儀礼に用いられた 遺物が多く出土し、 文字資料を含め、遺 跡がもつ政治行政に 関わる機能が把握で きた。		
要約	<p>柳之御所遺跡の堀内部地区に係る内容確認調査の発掘調査報告である。本報告書は本文編と図版編から構成され、本書は本文編にあたる。</p> <p>これまでの調査成果により、奥州藤原氏が平泉に拠点を置いた12世紀代の100年間を通して遺構・遺物が濃密に分布する範囲であることが判明した。遺跡を区画する大規模な堀跡や掘立柱建物、園池から構成される区画が確認された。内容確認調査の成果により100年間の中での変遷が遺構・遺物の両面で確認されたことは大きな成果である。また、出土遺物には多量のかわらけや国産・輸入の陶磁器類のほか、折敷などの木製品がある。かわらけや折敷など宴会儀礼に伴う遺物の集中的な出土は遺跡内における儀礼とその背景となる遺跡の機能との関連が想定できる。また、墨書資料などの出土文字資料には、政治行政機能と関連する内容を含んでおり、これらからも、柳之御所遺跡の堀内部の範囲が政治行政に関連する範囲であったことが理解できる。また、奥州藤原氏の治世を通して機能した可能性が高いことも、遺跡の性格や当時の平泉における位置と関連する重要な特徴である。</p>							

表表紙 墨書折敷（「人々給絹日記」） 28SE16出土  
裏表紙 墨書木片（タラウタユニ丈） 21SD2（69SX3）出土

---

岩手県文化財調査報告書 第155集

平泉遺跡群発掘調査報告書

## 柳之御所遺跡

－堀内部地区内容確認調査－

印刷日 平成31年3月29日

発行日 平成31年3月29日

発行 岩手県教育委員会生涯学習文化財課  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 (019) 629-6171 (代表)

印刷 河北印刷株式会社  
〒020-0015 岩手県盛岡市本町通2丁目8-7  
電話 (019) 623-4256











# Yanaginogosho Site

The excavation Report of the Local Government Office in Hiraizumi of the 12<sup>th</sup> Century



2019年3月

Iwate Board of Education, JAPAN